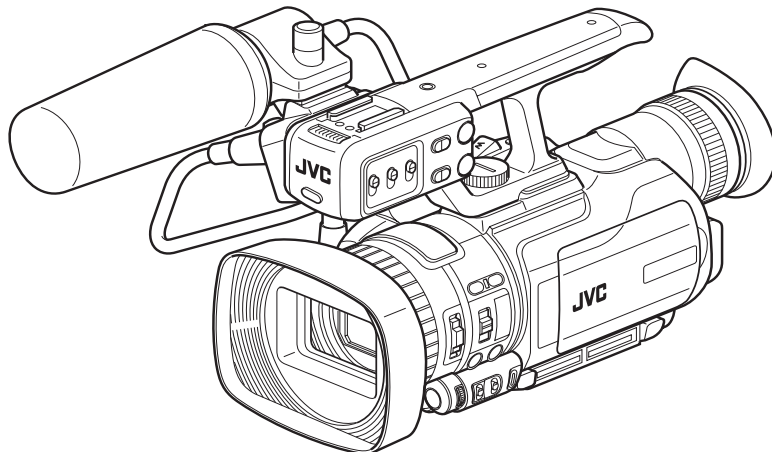


JVC

HD メモリーカードカメラレコーダー

型
名 **GY-HM150**

取扱説明書



* イラストは GY-HM150 に付属のマイクを取り付けた例です。

お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

もくじ

はじめに

- 正しくお使いいただくためのご注意6
- 付属品について9
 - オーディオユニットを取り付ける9
- 各部の名称10
- リモコンの名称とはたらき14

準備

- 使用前の設定・調整15
 - グリップベルトを調整する15
 - リモコンを準備する15
 - 外部マイクを取り付ける15
 - 三脚に取り付ける15
 - フードをはずす16
 - レンズカバー16
- バッテリーについて16
- 時計をあわせる（初期設定）18
- [USER] ボタンへ機能を割り付ける19
- タリーを設定する19
- SDHC/SDXC カードについて20
 - SDHC/SDXC カードを入れる20
 - SDHC/SDXC カードの記録可能時間のめやす20
 - SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチについて21
 - SDHC/SDXC カードをフォーマット（初期化）する21
- LCD モニター/ビューファインダーについて22
 - ビューファインダー/LCD 画面を見る22
 - ビューファインダー/LCD 画面の表示22
 - ステータス画面22
 - オートホワイト時の表示（カメラモード時のみ）24
 - メニュー設定画面24
 - アラーム表示24
 - ゼブラパターンの表示24

撮影

- 撮影モードを選択する25
 - フルオート/マニュアル撮影モードを選択する25
 - フォーカス調整モードを選択する25
- 記録映像の解像度、ファイルフォーマットおよびビデオフォーマットを選択する26
 - SD 記録映像のアスペクト比を選択する26
- 撮影する27
- 記録した映像をすぐに見る（クリップレビュー）28
- ズームする28
- 手でピントをあわせる29
 - フォーカスアシスト機能を使う29
- 場面や状況にあわせる（プログラム AE）30
 - Lolux モードにする30
- 内蔵の ND フィルターを使う30
- 明るさを手動補正する31
- テレマクロ機能を使う32
- ゼブラパターンを表示する32
 - ゼブラパターンを表示する32
 - ゼブラパターン表示する明るさの範囲を指定する33
- ホワイトバランスを調整する33
 - オートホワイトバランス調整をする33
 - フルオートホワイト (FAW) 機能を使う34
 - ホワイトペイント調整をする34
- マニュアルゲイン調整をする35
- シャッター速度を調整する35
- 絞りを調整する36
- 測光エリアを設定する36
- カラーバーを表示する37
- カメラ画を調整する37
- 手振れ補正機能を使用する37
- 録音する38
 - 基準録音レベルを設定する38
 - 内蔵マイクを使用する38
 - [INPUT1/INPUT2] 端子の外部マイクを使用する38
 - 風きり音を減らす38
- ヘッドホンで音声をモニターする39
- タイムコード記録の設定を行う39
 - タイムコード/ユーザーズビットを表示する39
 - タイムコードを記録する39
 - タイムコード/ユーザーズビットをプリセットする40
 - ユーザーズビットをプリセットする40
- 重要なシーンを保護（OK マーク機能）41
- クリップを任意のタイミングで分割する（クリップカッター記録）41
- デュアルレック42
- バックアップレック43
- 特殊記録について45
 - プリレック45
 - クリップコンティニュースレック45
 - フレームレック46
 - インターバルレック47

再生

記録したクリップの再生	48
サムネイル（縮小画）画面から再生する	48
サムネイル画面	50
サムネイルメニュー	53
クリップの削除	54
OK マークの付加と削除	56

メニュー表示と詳細設定

メニュー画面での基本操作	58
メニュー画面の表示と説明	58
ソフトウェアキーボードでの文字入力	59
メニュー画面の階層一覧	60
Main Menu 画面	62
Record Set メニュー	63
Record Format メニュー	63
Rec Mode メニュー	64
Slot Mode メニュー	64
Clip Set メニュー	64
Audio Set メニュー	65
Camera Function メニュー	65
Switch Set 項目	66
Camera Process メニュー	67
TC/UB メニュー	69
LCD/VF メニュー	70
Shooting Assist 項目	70
Marker Setting 項目	71
Status Display 項目	71
A/V Out メニュー	73
Others メニュー	74
Media メニュー	75
Setup File Manage メニュー	75
よく使うメニュー項目を登録・編集する (Favorites Menu)	76
メニュー項目を Favorites Menu に登録する	76
Favorites Menu の編集	77

ステータス画面

カメラモード時のステータス画面	80
メディアモード時のステータス画面	85

カメラの各機能について


マーカー表示およびセーフティーゾーン表示	87
セットアップファイルの設定方法	87
セットアップファイルの保存	87
セットアップファイルの呼び出し	88
パソコンでクリップを管理・編集する	89
パソコンが SDXC カードを認識しないとき	90
モニターで映像を見る	90
ワイヤードリモコンの接続	91
SDHC/SDXC カードを修復する	91
SDHC/SDXC カードを修復する	91
SDHC/SDXC カードに記録されるクリップについて	92
SDHC/SDXC カード内のフォルダー	92
クリップ（記録データ）とクリップ名	92
記録されるクリップについて	92

その他


エラー表示と対応	93
タリールランプについて	94
こんなときは	95
保証とアフターサービス	97
仕様	98

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意** : 操作上の注意が書かれています。
- メモ** : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
-  : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- HDMI(High-Definition Multimedia Interface)と  は、HDMI Licensing, LLC の商標です。
- QuickTime と Final Cut Pro は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™ マークと ® マークを明記していません。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

特長

本機は、HD/SD フォーマット映像を SDHC/SDXC カードに記録し、再生できるカメラレコーダーです。

新機能 [デュアルレック/バックアップレック] 搭載

2つのカードスロットを装備し、2枚の SDHC/SDXC カードへ同時に記録する [デュアルレック] 機能および、2枚の SDHC/SDXC カードについて個別に記録の開始/停止ができる [バックアップレック] 機能を新たに搭載。カメラ本体のみでバックアップ記録が可能です。

- ※ デュアルレック：[Slot Mode] が “Dual” に設定時 (☞ 42、64 ページ)
- ※ バックアップレック：[Slot Mode] が “Backup” に設定時 (☞ 43、64 ページ)

新特殊記録機能 [プリレック/フレームレック/インターバルレック] 搭載

最大 5 秒までさかのぼって記録できる [プリレック] 機能、設定したフレーム数を任意で記録できる [フレームレック] 機能および、設定したフレーム数を間欠で記録できる [インターバルレック] 機能を搭載。

デュアルメディアスロットによる長時間記録

記録メディア 2 枚を本機に挿入して、連続記録や SDHC/SDXC カードを交換しながらの長時間記録ができます。

- ※ [Slot Mode] が “Series” に設定時 (☞ 64 ページ)

SD(スタンダードディフィニション) 記録

SD 映像を DV 圧縮し QuickTime ファイルフォーマット、または AVI ファイルフォーマットで記録することができます。幅広いノンリニア編集ソフトウェアであつかうことが可能で、DVD など SD 映像制作の利便性が向上します。

QuickTime (MOV) ファイルフォーマット記録

Apple Inc. 製の映像編集ソフトウェア Final Cut Pro のファイルフォーマットである QuickTime (MOV) ファイルフォーマットでの記録が可能です。

これによって、記録したクリップをダイレクトに Final Cut Pro で編集することができます。

MP4 ファイルフォーマット記録

Windows 系 NLE システムの MP4 ファイルフォーマットでの記録が可能であり、幅広いノンリニア編集環境で活躍します。

SDHC/SDXC カード (Class6/10) での記録

記録メディアに SDHC/SDXC カード (Class6/10) を採用し、メカレス化による動作信頼性を向上させました。また、パソコンとの親和性が向上することによって、NLE への高速データ転送を可能にするなど、作業コストを抑制することができます。

HD 信号の 60Hz/50Hz 方式に対応

フォーカスアシスト機能

撮影時のピントあわせが簡単かつ正確に行えます。

豊富なユーザーボタンを装備

撮影条件にあわせてカメラ設定を瞬時に切り換えることができます。

タイムコードリーダー/ジェネレーター内蔵

タイムコードおよびユーザーズビットの記録/再生が可能です。

ビューファインダーおよびカラー LCD モニター搭載

カメラ映像、再生画の他にステータス画面、メニュー設定画面やアラームを表示します。

音声の確認が容易なモニタースピーカー内蔵

記録の確認に便利なクリップレビュー機能

カメラ部は 3-CCD 方式による高画質設計

ゼブラパターンによってビデオレベルを表示

フルオート撮影機能

屋内から野外へ、明るい場所から暗い場所へ、いろいろな撮影条件に対し、わずらわしいスイッチの操作なしで、自動的に対応する機能です。

手ぶれ補正機能

手ぶれによる映像のブレを低減します。

ND フィルターを装備

プログラム AE 機能

お好みのシーンに応じた撮影条件を選択できます。

ホワイトバランス調整機能

自動および手動で調整できます。

カラーバー内蔵 (マルチフォーマットカラーバー)

スローシャッター

映像を蓄積することで、暗くて動きの少ない被写体の映像を明るく撮影できます。

音声入力用端子を 2 系統装備

内蔵マイクのほかに、マイクなどの音声入力端子として XLR 端子 (2 系統) を備えています。

映像出力端子を 3 系統装備

HDMI 端子、コンポーネント端子、A/V OUT(映像 / 音声出力) 端子を備えています。各種モニターテレビに対応します。

ワイヤードリモコン対応

USB 端子でパソコン接続可能

パソコンで SDHC/SDXC カードのファイルを読み出すことができます。

設定ファイルの保存および取り込み

現在のメニュー設定や本体設定の内容を SDHC/SDXC カードに保存できます (最大 8 ファイル)。必要に応じて、SDHC/SDXC カードに保存した設定ファイルを本機に取り込み、撮影シーンに応じた最適な設定を再現できます。

アプリケーションソフトを添付

記録したクリップを Windows や Macintosh のパソコンにコピーしたり、映像を確認したりするためのアプリケーションソフト [JVC ProHD Clip Manager] を添付しています。(MP4 ファイルフォーマット用)

本機に添付される CD-ROM には [JVC ProHD Clip Manager] などのアプリケーションソフトウェアやご使用方法を説明するユーザーズガイドが収録されています。

※ 詳しくは各アプリケーションソフトウェアのユーザーズガイドをご覧ください。

正しくお使いいただくため のご注意

保管および使用場所

■ 周囲温度、湿度

許容周囲温度は 0°C ~ 40°C、湿度 30 %RH ~ 80 %RH の範囲を守ってご使用ください。許容周囲温度の範囲外でご使用されると、故障の原因となるばかりでなく、CCD に重大な影響をあたえ画面上に白い点があらわれる現象が発生することがあります。十分ご留意ください。

■ 強い電波や磁気の影響

ラジオやテレビの送信アンテナに近いところ、変圧器、モーターなど強い磁気が発生するところやトランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近くでは、画像や音声にノイズが入ったり色彩に変化を生じたりすることがあります。

■ ワイヤレスマイクをカメラの近くで使用するとき

本機で撮影中、ワイヤレスマイクおよび受信機を使用すると、ノイズがワイヤレス受信機に飛び込むことがありますので、ご注意ください。

■ 次の場所での使用や保管は避けてください。

- ・ 極端に暑いところや寒いところ
- ・ ゴミやほこりの多いところ
- ・ 湿気の多いところ
- ・ 調理台の近くなど油煙や湯気のアたる場所
- ・ 振動の激しいところや不安定なところ
- ・ 直射日光のアたる車の中や暖房機の近くに長時間放置しないでください。

■ 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。

■ 本機を水でぬらさないでください。 (雨の日の撮影では、特にご注意ください)

■ 海辺で使用する場合は、本機をぬらさないようご注意ください。また、塩分、砂などがボディに付着していることがあります。撮影後のお手入れをお忘れなく。

■ 砂浜など、砂ぼこりが多い場所でご使用になるときは、内部に砂などが入らないよう、十分注意してください。

■ 本機やリモコンを直射日光や火などの過度の熱にさらさないでください。高温になると、内部の電池が破裂することがあります。

■ カードスロットのカバーをあけた状態で長時間放置しないでください。内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。

移動について

■ 持ち運ぶ場合、本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないようご注意ください。

省エネについて

■ ご使用にならないときは、節電のため、電源を切ってください。

お手入れについて

■ お手入れは、電源を切ってから行なってください。

■ 本機清掃時は外装キャビネット部はやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンなどではふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。よごれがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきをしてください。

バッテリー（充電式電池）について

■ 必ず専用のバッテリーをお使いください。

専用バッテリー以外をご使用になると、安全面、性能面について保証いたしかねます。

■ ご購入時は充電されていません。

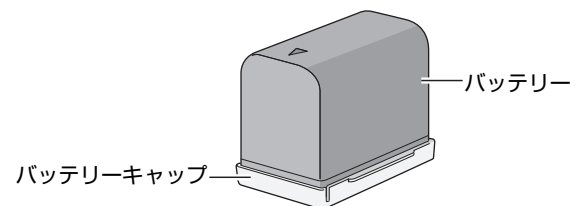
■ 低温（10°C 以下）で使用する場合、使用できる時間が短くなったり、動作しなくなったりすることがあります。冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。

■ 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

■ 長時間使わないときは…

- ① 劣化を防ぐため、使い切ってから取りはずします。
(撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ)
- ② 半年に 1 回程度は充電し、使い切って保管する。

■ 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約 15°C ~ 25°C の乾燥したところで保管してください。



■ バッテリーを処分するとき



Li-ion

不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

SDHC/SDXC カードについて

■ 本機では、撮影した映像・音声をカードスロット内のSDHC/SDXC カード(別売)に記録します。

■ 本機でフォーマットしたClass 6以上対応のSDHC/SDXC カード(4 GB ~ 128 GB)を使用してください。

※ Panasonic、TOSHIBA、SanDisk 以外のカードでは正しく記録できなかつたり、データが消えたりすることがあります。

■ SDHC/SDXC カード内に本機以外で記録したファイルやパソコンなどで書き込んだファイルが存在する場合、記録時間が短くなったり、正常に記録できない場合があります。また、パソコンなどでファイルを削除しても残量が増えない場合があります。

SDHC/SDXC カードの取り扱いについて

■ アクセス中、アクセスランプおよび状態表示ランプが緑に点滅します。アクセス中(記録、再生、フォーマットなど)にSDHC/SDXC カードを抜かないでください。また、アクセス中、電源を切ったり、バッテリーやACアダプターをはずさないでください。

■ 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用や保管しないでください。

■ 強い磁気や電波の発生する機器の近くには置かないでください。

■ 挿入方法を間違えると、本機やSDHC/SDXC カードの故障の原因となります。

■ 万一の事故による保存データの損害は、弊社で一切の責任を負わないものとします。データのバックアップをおねがいいたします。

■ 使用条件の範囲で使用ください。

次の場所では使用しないでください。

直射日光の当たる場所、熱機器の近く、炎天下の窓を閉め切った車の中、高温多湿の場所や腐食性のある場所、ほこりや砂ぼこりの立つところ。

■ 曲げたり、落としたり、また、強い力や衝撃、振動を与えないでください。

■ 水でぬらさないでください。

■ 分解や改造しないでください。

■ 端子部を手や金属で触らないでください。

■ 端子部にほこりやゴミ、水分や異物を付着させないでください。

■ 貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールをはったりしないでください。

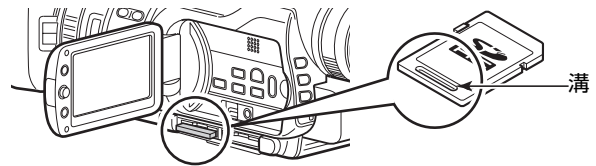
■ SDHC/SDXC カードに文字を書く場合は鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。

■ フォーマット(初期化)を実行すると、SDHC/SDXC カード内の記録された映像データ、セットアップファイルなどを含むすべてのデータが消去されます。

■ 破棄するためにすべてのデータを完全に消去したい場合は、市販のデータ消去ソフトを使用するか、またはSDHC/SDXC カードを金槌などで物理的に破壊することをおすすめします。カメラによるフォーマットや削除ではファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。

■ 市販のSDHC/SDXC カードによっては、本体から取り出しにくいものがあります。カードの溝に引っ掛けて、取り出してください。

- 何度か出し入れすると取り出しやすくなります。
- シールなどをはらないようにしてください。



■ SDHC/SDXC カードを取り出す場合、勢いよく飛び出ることがあります。失くさないよう十分に注意してください。

正しくお使いいただくため のご注意（つづき）

その他

- カードスロットに異物などを入れないでください。
- 記録や再生中に、電源を切ったり、電源ケーブルをはずさないでください。
- 電源投入直後は数秒間、安定した映像が見られませんが故障ではありません。
- 精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えないでください。
- レンズ光学性能について
レンズの光学性能上、画面周辺において色ズレ現象（倍率色収差）を起こす場合があります。カメラの故障ではありません。
- モード切り換え時、画面にノイズがでることがあります。
- 横にして使用すると放熱効果が悪くなります。
- 電源は付属の AC アダプターをご使用ください。また付属の AC アダプターは、他で使用しないでください。
- 端子カバーがある端子を使用しない場合は、端子の破損を防ぐため端子カバーを取り付けてください。

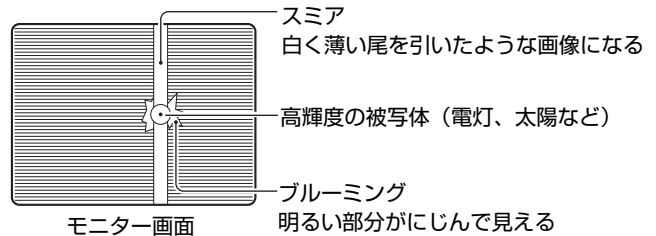
LCD モニターおよびビューファインダーについて

- LCD モニターやビューファインダー画面は精度の高い技術で作られています。LCD モニターやビューファインダー画面に黒い点が現れたり、赤、青、白の点が消えないことがあります。故障ではありません。これらの点は、記録されません。
- 長時間連続して使用した場合、ビューファインダー画面に表示した文字などが、一定時間残ることがあります。これは、SDHC/SDXC カードには記録されません。また、一度電源を入れ直すと、消えます。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。故障ではありません。この残像は記録されません。
- 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。
- ビューファインダー表示のデバイスの特性上、まばたきをした瞬間など、映像に色がのって見えるときがありますが、故障ではありません。また、記録される映像、HDMI 出力、コンポーネント出力などには影響ありません。

CCD 固有の現象について

■ スミアとブルーミング

CCD は高輝度の光源を撮影すると、その光源の垂直方向上下に白いスジが入る現象（スミア）および、光源が非常に明るい場合、その周囲に光が広がって見える現象（ブルーミング）が発生します。本機では、スミアおよびブルーミングが特に少ない CCD を使用していますが、高輝度の光源の撮影時には発生します。



■ 折り返しひずみ

縞模様、線などを写すと、ギザギザに見えることがあります。

■ 白点

高温時に動作させると、画面に白点が現れることがあります。特に増感時に目立ってきます。これは固体撮像素子 CCD の特性です。できるだけ本機の温度が上らない状態で使用してください。

レンズ固有の現象について

■ 高輝度の光源を撮影すると、ゴースト現象が起きることがあります。これはレンズの特性で故障ではありません。

著作権について

- 本機で記録・録音したものを営利目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 記録（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

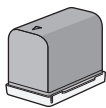
付属品について

本機には、下記の付属品が添付されています。

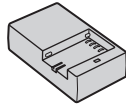
AC アダプター
AP-V20



バッテリー
BN-VF823



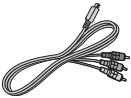
バッテリー
チャージャー
AA-VF8



リモコン



専用コンポーネント
ケーブル



AV コード



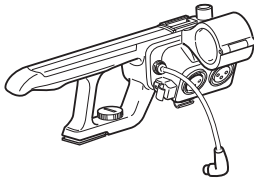
電源コード



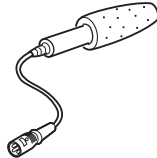
CD-ROM



オーディオユニット



マイク



オーディオユニットを取り付ける

工場出荷時、オーディオユニット（ハンドル付き）は、本体から分離されています。
オーディオユニットを下記の手順で本体に取り付けてください。

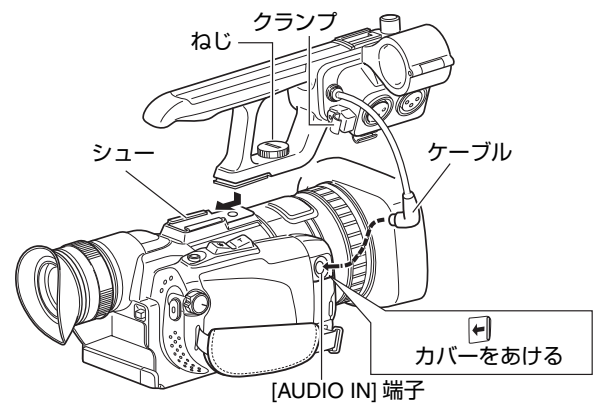
1 本体上部のシューにオーディオユニットを突き当たるまでスライドして取り付ける

2 オーディオユニットに付いているねじを時計方向にまわして最後まで確実に締め込んで本体に固定する

締め付けがゆるいと、オーディオユニットがグラツいたり、使用中に本体からはずれる恐れがあります。

3 オーディオユニットのケーブルを本体の [AUDIO IN] 端子に接続する

■ オーディオユニット



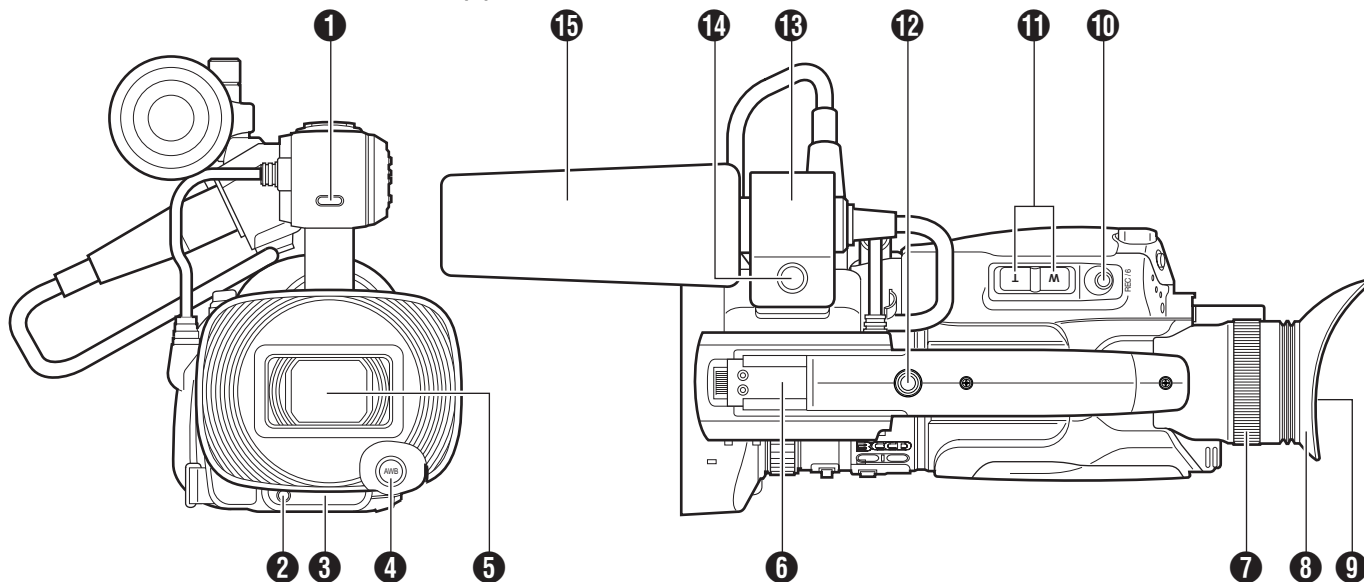
メモ：

- オーディオユニットのケーブルはクランプでの固定はできません。クランプはマイクのケーブルを固定するためのものです。(P. 15 ページ)

各部の名称

■ 前面

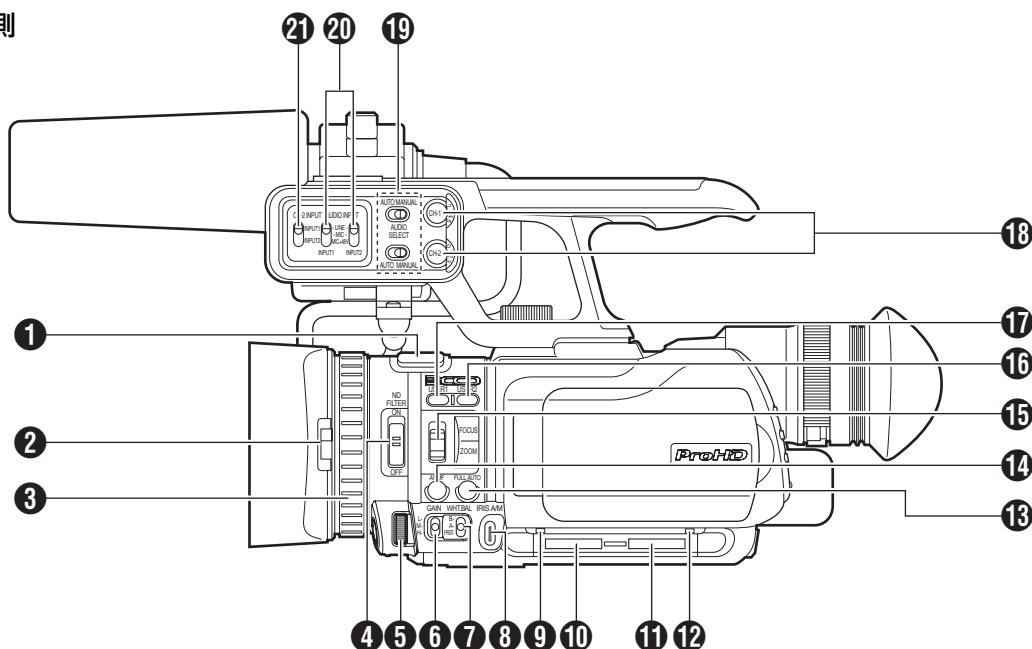
■ 上面



- ① タリーランプ (☞ 19 ページ)
- ② タリーランプ (☞ 19 ページ)
- ③ リモコン受光部 (☞ 15 ページ)
- ④ [AWB] オートホワイトバランスボタン (☞ 33 ページ)
- ⑤ レンズ・レンズカバー (☞ 18 ページ)

- ⑥ シュー
別売のライトやアクセサリを取り付けることができます。
- ⑦ 接眼部 (アイピース) フォーカスレバー
視度調整するためのレバーです。レバーは下側にあります。
- ⑧ 接眼部 (アイピース)
- ⑨ ビューファインダー (☞ 22 ページ)
- ⑩ [REC/6] 記録トリガー/ユーザー6 ボタン (☞ 27 ページ)
記録を開始または停止するためのボタンです。
また、メニュー設定で特定機能の1つを割り付け、ユーザーボタンとして機能させることもできます。
(☞ 19 ページ)
- ⑪ ズームレバー (☞ 28 ページ)
望遠 (T) または広角 (W) 側にズームします。
- ⑫ アクセサリ取り付け用ネジ穴
- ⑬ マイクホルダー (☞ 15 ページ)
外部マイクを取り付けます。
- ⑭ ノブ
マイクの固定ノブです。
- ⑮ 外部マイク (☞ 15 ページ)

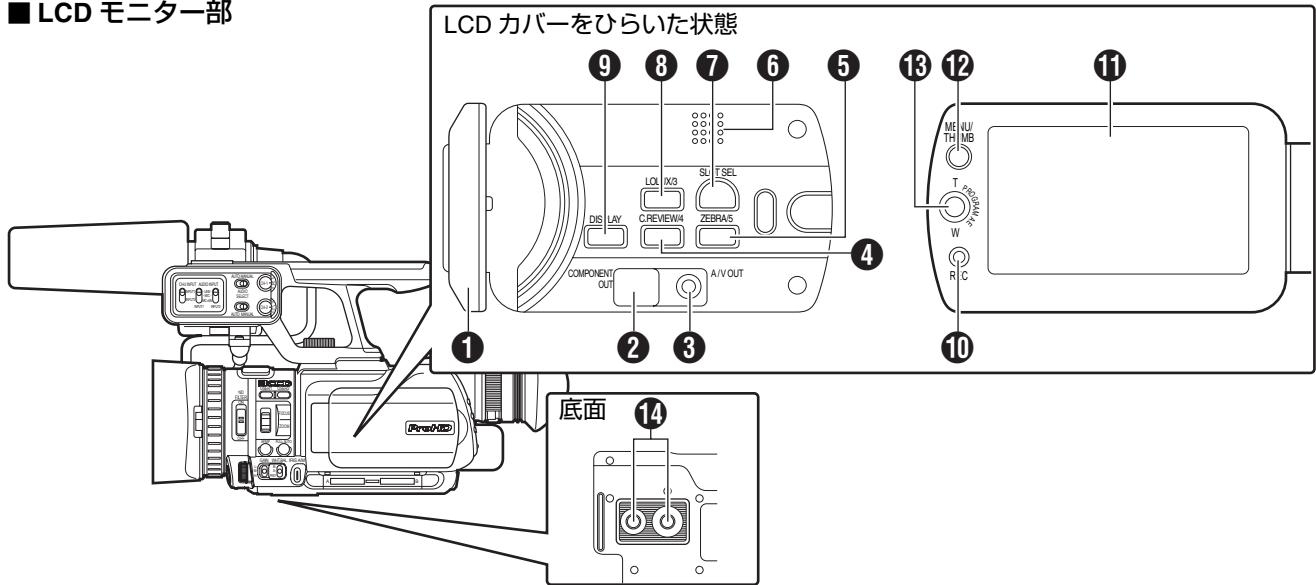
■ LCD 画面側



- ① 内蔵マイク (☞ 38 ページ)
 - ② レンズカバースイッチ (☞ 18 ページ)
 - ③ マニュアルリング (☞ 28 ページ)
 - ④ [ND FILTER] 切換スイッチ (☞ 30 ページ)
光量を約 1/10 にします。
 - ⑤ アイリスダイヤル (☞ 36 ページ)
絞りを手で調整します。
 - ⑥ [GAIN] ゲインスイッチ (☞ 35 ページ)
3 段階の感度から選択します。
 - ⑦ [WHT. BAL] ホワイトバランス選択スイッチ (☞ 33 ページ)
3 種類のホワイトバランスから選択します。
 - ⑧ [IRIS A/M] アイリスモード選択ボタン (☞ 36 ページ)
マニュアルアイリスとオートアイリスを切り換えます。
 - ⑨ カードスロット A 状態表示ランプ (☞ 20 ページ)
 - ⑩ カードスロット A (☞ 20 ページ)
SDHC/SDXC カードの挿入口です。ドアをあけて SDHC/SDXC カードを挿入します。
 - ⑪ カードスロット B (☞ 20 ページ)
SDHC/SDXC カードの挿入口です。ドアをあけて SDHC/SDXC カードを挿入します。
 - ⑫ カードスロット B 状態表示ランプ (☞ 20 ページ)
 - ⑬ [FULL AUTO] フルオートモード選択ボタン (☞ 25 ページ)
撮影調整モードをフルオートモードにするかマニュアルモードにするかを選択します。
 - ⑭ [AF/MF] フォーカス調整モード選択ボタン (☞ 25 ページ)
フォーカス調整モードをオートモードにするかマニュアルモードにするかを選択します。
 - ⑮ [FOCUS/ZOOM] リング切換スイッチ
マニュアルリングの機能をフォーカス調整 (☞ 29 ページ) にするかズーム調整 (☞ 28 ページ) にするかを選択します。
 - ⑯ [USER2] ユーザー 2 ボタン (☞ 19 ページ)
メニュー設定で特定機能の 1 つを任意に割り付けられます。
 - ⑰ [USER1] ユーザー 1 ボタン (☞ 19 ページ)
メニュー設定で特定機能の 1 つを任意に割り付けられます。
 - ⑱ [CH-1/CH-2] CH-1/CH-2 録音レベル調整ボリューム (☞ 38 ページ)
CH-1 または CH-2 の入力音声レベルを調整します。
 - ⑲ [CH1/CH2 AUDIO SELECT] CH-1/CH-2 オーディオ選択スイッチ (☞ 38 ページ)
CH-1 または CH-2 の録音レベルの調整方法をオートモードにするかマニュアルモードにするかを選択します。
 - ⑳ [AUDIO INPUT 1/2] INPUT1/INPUT2 オーディオ入力信号選択スイッチ (☞ 38 ページ)
[INPUT1] 端子または [INPUT2] 端子の入力信号を選択します。
 - ㉑ [CH-2 INPUT] CH-2 オーディオ入力端子選択スイッチ (☞ 38 ページ)
CH-2 オーディオに入力する信号を [INPUT1] 端子か [INPUT2] 端子かを選択します。
- メモ : _____
- [INPUT1] 端子、[INPUT2] 端子 : 13 ページの ⑩、⑪

各部の名称 (つづき)

■ LCD モニター部



① LCD カバー

② [COMPONENT OUT] コンポーネント出力端子
(☞ 90 ページ)

③ [A/V OUT] 音声 / 映像出力端子 (☞ 90 ページ)

④ [C.REVIEW/4] クリップレビュー / ユーザー 4 ボタン
(☞ 28 ページ)

直前に撮影した映像を確認します。

また、メニュー設定で特定機能の 1 つを割り付け、ユーザーボタンとして機能させることもできます。
(☞ 19 ページ)

⑤ [ZEBRA/5] ゼブラ / ユーザー 5 ボタン (☞ 32 ページ)

被写体の輝度のめやすとなるゼブラ模様の表示、解除を行います。また、メニュー設定で特定機能の 1 つを割り付け、ユーザーボタンとして機能させることもできます。
(☞ 19 ページ)

⑥ 内蔵スピーカー (☞ 39 ページ)

音量は、背面 [ADJ./VOL.] ダイアルで調整します。

メモ： _____

- 内蔵スピーカーはメディアモード時のみ使用できます。カメラモード時、内蔵スピーカーから音声はでません。
- カメラモード時とメディアモード時の音声レベルはそれぞれ独立して調整されます。
- メディアモード時、ヘッドホン音量とスピーカー音量は同時に調整されます。
- 内蔵スピーカーは [HDMI] 端子、[A/V OUT] 端子、ヘッドホン端子のいずれかが接続されている場合は使用できません。

⑦ [SLOT SEL] スロット選択ボタン (☞ 25 ページ)

撮影時および、再生時にアクティブとなるカードスロットを切り換えます。

⑧ [LOLUX/3] 低照度撮影 / ユーザー 3 ボタン (☞ 19 ページ)

低照度撮影モードの ON、OFF を切り換えます。また、メニュー設定で特定機能の 1 つを割り付け、ユーザーボタンとして機能させることもできます。
(☞ 19 ページ)

⑨ [DISPLAY] ディスプレイボタン

LCD モニターやビューファインダーに表示する内容を切り換えます。(☞ 20 ページ)

⑩ [REC] 記録トリガーボタン (☞ 27 ページ)

記録を開始または停止するためのボタンです。

⑪ LCD モニター (☞ 20 ページ)

⑫ [MENU/THUMB] メニュー / サムネイルボタン

カメラの状態によって、動作が変わります。カメラモード時：メニュー画面を表示します。もう一度押すと、メニュー画面が終了します。メディアモード時：メディア再生中はサムネイル画面を表示。サムネイル画面表示中はサムネイルメニューを表示します。

⑬ セットレバー

カメラモード時、プログラム AE の選択やズームレバーとして使用します。(☞ 30 ページ) メディアモード時、クリップの選択や再生操作として使用します。(☞ 48 ページ) メニュー画面を表示しているときは、メニュー設定用として使用します。(☞ 58 ページ)

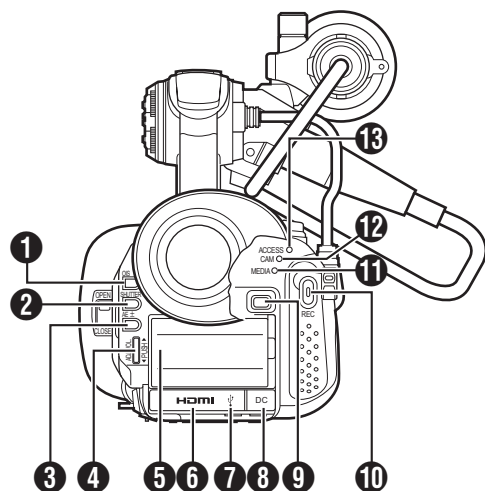
■ 底面

⑭ 三脚取り付け用穴 (☞ 15 ページ)

メモ： _____

- 落下防止のため、回転防止穴を利用して確実に取り付けてください。
- ねじ長さは 5mm 以下のものを使用してください。

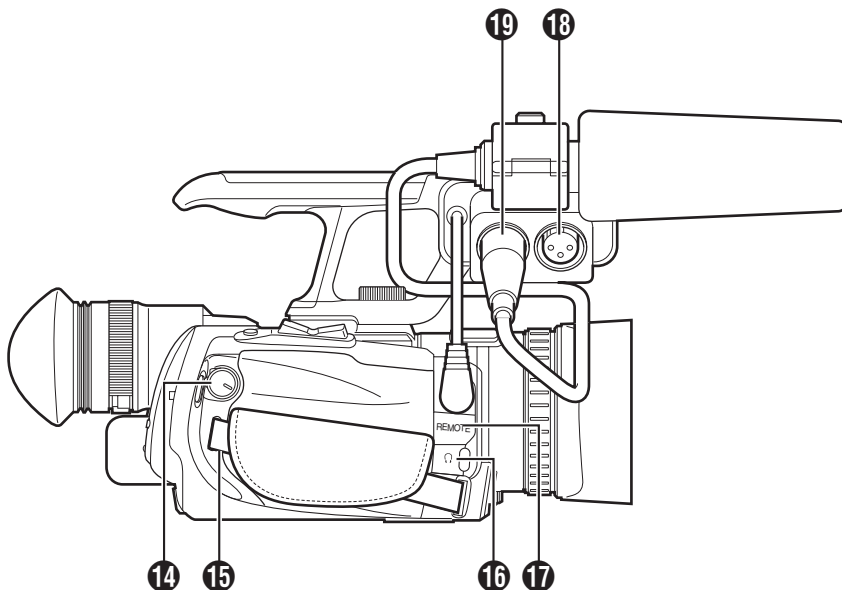
■ 背面



■ 背面

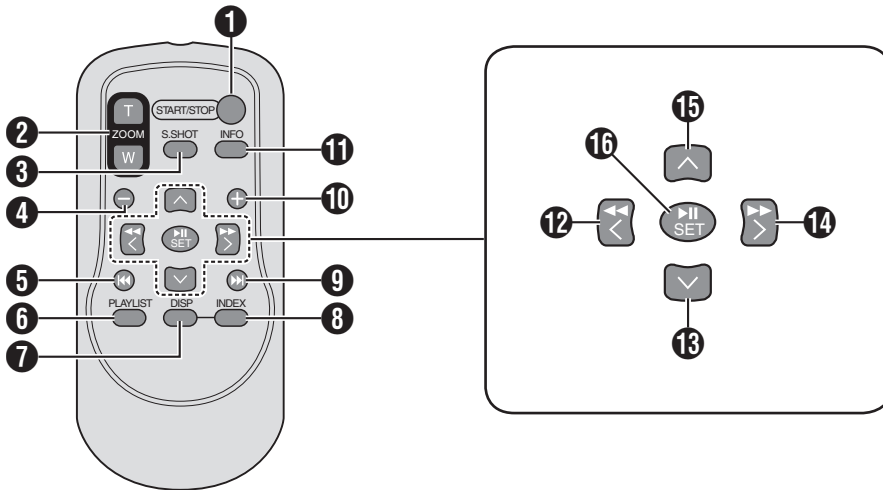
- ① [OIS] 光学式手ぶれ補正ボタン (☞ 37 ページ)
手振れ補正機能の ON/OFF を切り換えます。
- ② [SHUTTER] シャッタースピードボタン (☞ 35 ページ)
手動でシャッタースピードを調整する場合、このボタンを押します。
- ③ [AE ±] 明るさ補正ボタン (☞ 31 ページ)
手動で明るさ補正を調整する場合、このボタンを押します。
- ④ [ADJ./VOL.] 調整 / 音量ダイヤル
[ADJ.] : シャッタースピード (☞ 35 ページ)、明るさ補正を調整します。(☞ 31 ページ)
[VOL.] : ヘッドホンや内蔵スピーカの音量を調整します。(☞ 39 ページ)
- ⑤ バッテリー取り付け部 (☞ 16 ページ)
- ⑥ [HDMI] 端子 (☞ 90 ページ)
- ⑦ [USB] USB 端子 (☞ 89 ページ)
- ⑧ [DC] 入力端子
- ⑨ バッテリーロック解除ボタン (☞ 16 ページ)
- ⑩ [REC] 記録トリガーボタン (☞ 27 ページ)
記録を開始または停止します。
- ⑪ [MEDIA] メディアモード表示灯 (☞ 25 ページ)
メディアモード時、赤く点灯します。

■ グリップベルト側



- ⑫ [CAM] カメラモード表示灯 (☞ 25 ページ)
カメラモード時、赤く点灯します。
メモ : _____
● USB モード時は、[MEDIA] 表示灯 ⑪ と [CAM] 表示灯 ⑫ が消灯します。
 - ⑬ [ACCESS] アクセス表示灯
記録中または再生中は、点灯または点滅します。
- ## ■ グリップベルト側
- ⑭ [STANDBY/ON OFF]/[CAM/MEDIA] 電源 / 動作モード選択スイッチ
STANDBY/ON OFF : 電源を入 / 切します。(☞ 17 ページ)
CAM/MEDIA : 本機をカメラモードにするかメディアモードにするかを選択します。
メモ : _____
● メディアモードへ切り換える場合、1 秒以上 [CAM/MEDIA] の位置にスイッチを固定します。
 - ⑮ グリップベルト取り付け部 (☞ 15 ページ)
 - ⑯ [H] ヘッドホン端子 (☞ 39 ページ)
 - ⑰ [REMOTE] リモート端子 (☞ 91 ページ)
別売のワイヤードリモコンを接続します。
 - ⑱ [INPUT1] オーディオ入力 1 端子 (☞ 38 ページ)
XLR 端子のマイクを接続します。
 - ⑲ [INPUT2] オーディオ入力 2 端子 (☞ 38 ページ)
XLR 端子のマイクを接続します。

リモコンの名称とはたらき



① [START/STOP] ボタン

記録を開始または停止するためのボタンです。

② [ZOOM] ボタン

[T] 側を押すと、拡大します。
[W] 側を押すと、縮小します。

③ [S.SHOT] ボタン

本機では、使用しません。

④ [-] ボタン

本機では、使用しません。

⑤ [◀◀] 戻るボタン

再生時、クリップの先頭に戻ります。

⑥ [PLAYLIST] ボタン

本機では、使用しません。

⑦ [DISP] ボタン

LCD モニターやビューファインダーに表示する内容を切り換えます。

⑧ [INDEX] ボタン

本機では、使用しません。

⑨ [▶▶] 進むボタン

再生時、次のクリップに進みます。

⑩ [+] ボタン

本機では、使用しません。

⑪ [INFO] ボタン

本機では、使用しません。

⑫ [◀] 左ボタン

メニュー画面やサムネイル画面でカーソルが左に移動します。再生時、リバースサーチします。一時停止時、コマ戻しします。

⑬ [▼] 下ボタン

メニュー画面やサムネイル画面でカーソルが下に移動します。再生時、次のクリップに進みます。

⑭ [▶] 右ボタン

メニュー画面やサムネイル画面でカーソルが右に移動します。再生時、フォワードサーチします。一時停止時、コマ送りします。

⑮ [▲] 上ボタン

メニュー画面やサムネイル画面でカーソルを上移動します。再生時、クリップの先頭に戻ります。

⑯ [PH SET] ボタン

メニュー画面やサムネイル画面で選択した項目を決定します。メディアモード時は、再生を開始または一時停止します。

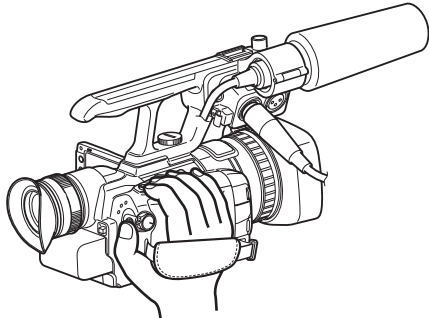
メモ：

- リモコンを使用する場合は、[Others] メニューの [Wireless Remote] を “On” に設定してください。
(P. 74 ページ)
- ワイヤードリモコン接続時、設定にかかわらずリモコンの操作は受け付けません。

使用前の設定・調整

グリップベルトを調整する

パッドをひらいてグリップベルトの位置を調整してください。



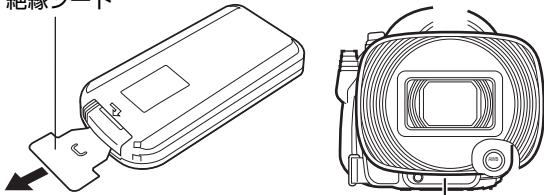
ご注意:

- ゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。
- お子様のご使用のときは、保護者の方が十分にご注意ください。

リモコンを準備する

お買い上げ時、リモコンに、電池が内蔵されています。ご使用時、絶縁シートを引き抜いてください。

絶縁シート



リモコン受光部

メモ:

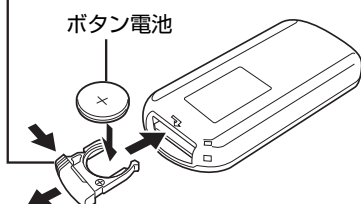
- リモコンを使用する場合は、[Others] メニューの [Wireless Remote] を “On” に設定してください。(P.74 ページ)
- リモコンは受光部に正面から向け、約 5m 以内でご使用ください。角度によってはリモコンの操作を受け付けない場合があります。

■ 電池を入れ換えるとき

1 ロックタブを押してバッテリーホルダーを引き出す

2 ボタン電池 (CR2025) を入れ換える

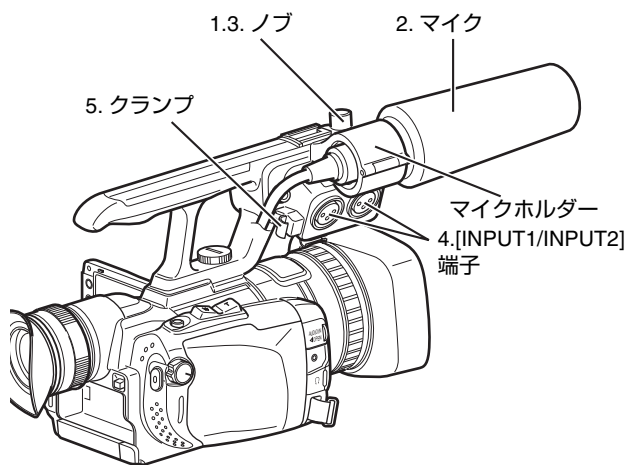
ロックタブ



外部マイクを取り付ける

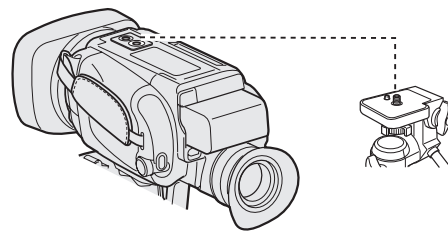
マイクホルダーにマイクを取り付けます。付属のマイクはファントムマイクです。

- 1 マイクホルダーのノブを反時計方向にまわしてゆるめ、マイクホルダーをひらく
- 2 マイクをマイクホルダーにセットする
- 3 マイクホルダーのノブを時計方向にまわしてマイクを固定する
- 4 マイクケーブル端子の形式に応じて、マイクを [INPUT1] 端子または [INPUT2] 端子 (XLR 端子) に接続する
- 5 マイクケーブルをクランプに取り付ける
- 6 音声入力用の設定を正しく行う (P.38 ページ)



三脚に取り付ける

落下などによるけがや故障をふせぐため、お使いの三脚の説明書をご覧ください。(P.12 ページ)



ご注意:

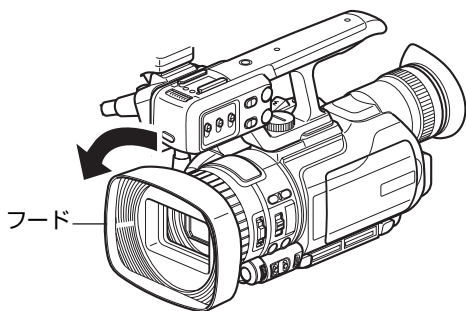
- 三脚は、安定した場所でお使いください。

使用前の設定・調整 (つづき)

フードをはずす

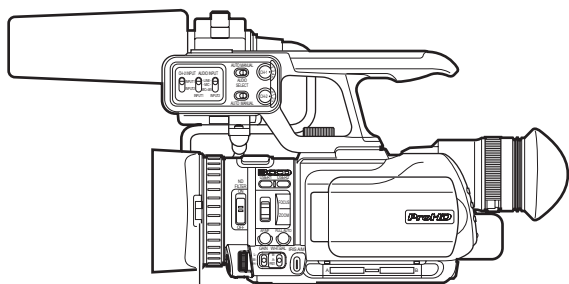
レンズ前面にテレコンバータ、ワイドコンバータまたはフィルター (外径 50mm 以下) を取り付ける場合は、フードをはずしてください。

- フードを反時計方向にまわすと、フードがはずれます。



レンズカバー

■ レンズカバーの開閉は、レンズカバースイッチで行います。撮影する場合、レンズカバーをあけてください。本機を使用しないときは、レンズを保護するため、レンズカバーをとじてください。



レンズカバースイッチ

ご注意:

- レンズカバーを強く押さないでください。レンズやカバーが破損するおそれがあります。

バッテリーについて

バッテリーを充電する

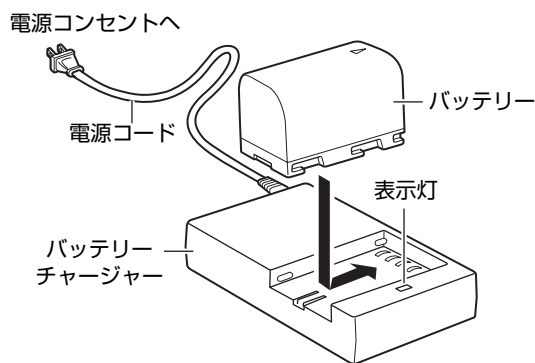
付属のバッテリーチャージャーで充電します。

- 1 バッテリーチャージャーの電源コードを電源コンセントにつなぐ

- 2 付属のバッテリーを押しながら矢印方向にずらし、バッテリーチャージャーに取り付ける

- 充電がはじまり、表示灯が点滅します。
- 充電が終わると、表示灯が点灯します。

- 3 充電が完了したら、バッテリー取り付け時とは反対方向にバッテリーをずらし、はずす

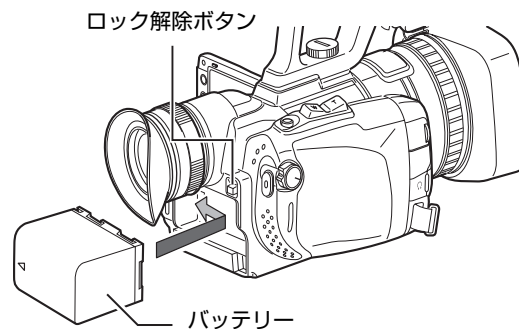


バッテリーを取り付ける

- 1 本機の電源を切った状態にする

- 2 付属のバッテリーを取り付ける

バッテリーのマーク (◁) を左向きにして本機に挿入して左方向にスライドする



バッテリーをはずす

- 1 電源を切った状態にする

- 2 バッテリーロック解除ボタンを押して、バッテリーを右方向にずらす

■ 連続撮影時間のめやす

バッテリー	連続撮影時間
BN-VF815	約 1 時間 15 分
BN-VF823 (付属品)	約 2 時間

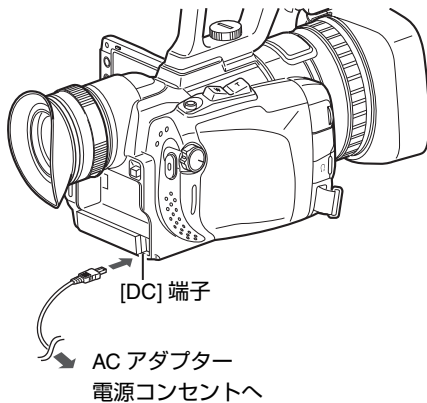
- 撮影時間は、バッテリーの古さ、充電状況、動作環境などによって異なります。
- 撮影時間は寒冷地で短くなります。
- 撮影時間は、ズームや LCD モニターを多用すると短くなります。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

準備：充電したバッテリーまたは AC アダプターを接続してください。[バッテリーを充電する] (P. 16 ページ)

■ AC アダプターを接続する場合



1 [STANDBY/ON OFF] スイッチを “STANDBY/ON” にする
本機に電源が供給されカメラモードになります。

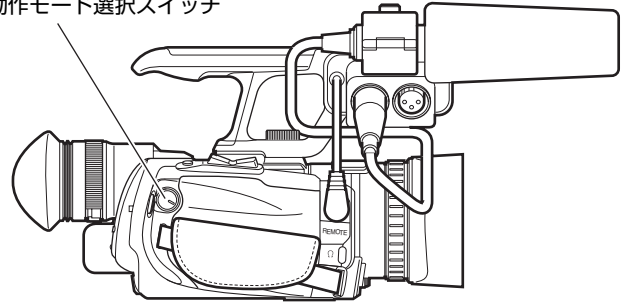
メモ：_____

- 電源を入れると、必ずカメラモードになります。

- [CAM/MEDIA] 動作モード選択スイッチで、モードが切り換わります。このとき、[CAM] 表示灯と [MEDIA] 表示灯が下記の状態になります。

モード	[CAM] 表示灯	[MEDIA] 表示灯
カメラモード時	赤く点灯	消灯
メディアモード時	消灯	赤く点灯
USB モード時	消灯	消灯

[STANDBY/ON OFF] スイッチ / [CAM/MEDIA]
動作モード選択スイッチ



メモ：_____

- メディアモードへ切り換える場合、1 秒以上 [CAM/MEDIA] の位置にスイッチを固定します。

電源を切る

1 [STANDBY/ON OFF] スイッチを “OFF” にする

■ Auto Power Off 機能

バッテリーだけで動作している場合、[Others] メニューの [Auto Power Off] を “On” に設定すると、5 分以上操作および動作しないと、自動的に電源を切ります。(P. 74 ページ)

メモ：_____

- バッテリーと AC アダプター両方が接続されている場合は、AC アダプター接続が優先されます。そのため、本機能は有効になりません。

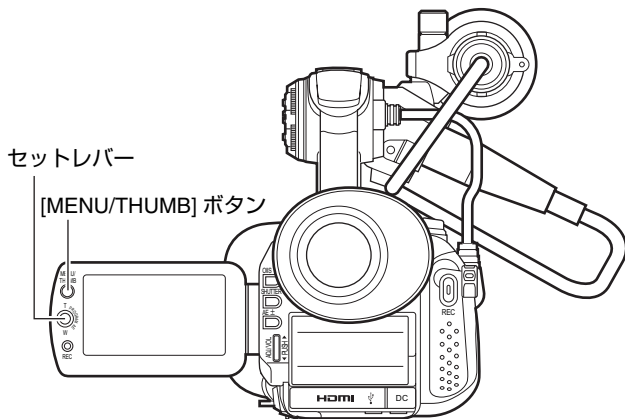
時計をあわせる（初期設定）

[Initial Setting] 画面で、内蔵時計の日付・時刻を設定します。設定した日付・時刻データは電源を切っても内蔵の充電式電池によって保持されます。

[Initial Setting] 画面で時計をあわせる

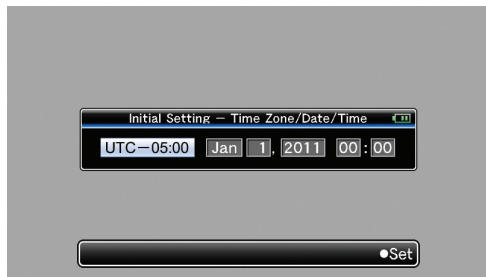
[Initial Setting] 画面は、はじめて電源を入れたときや、内蔵電池が完全に放電したあとに電源を入れたときに表示される画面です。

初期設定が完了するまで、他の操作は一切できません。



1 電源を入れる

[Initial Setting] 画面が表示されます。



2 [Time Zone] と [Date/Time] を設定する

- ③ セットレバー (◀▶) でカーソルを動かし、設定する項目を選択する
- ④ セットレバー (▲▼) で数値変更する

3 設定が完了したら、時報にあわせてセットレバーの中央を押す

入力された日時の 0 秒に時計がセットされます。

メモ：

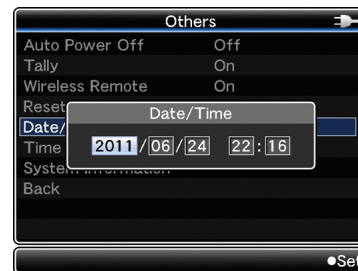
- 設定した日付・時刻データは LCD モニター画面やビューファインダー画面に表示したり、SDHC/SDXC カードに記録することができます。
- 設定できる年は、“2000” から “2063” です。

初期設定後に時刻を変更する場合

■ 日時の設定 (☞ 74 ページ)

1 [Others] メニュー → [Date/Time] 項目を選択する

[Date/Time] 設定画面が表示されます。



2 日時を設定する

- ① セットレバー (◀▶) でカーソルを動かし、設定する項目を選択する
- ② セットレバー (▲▼) で数値変更する

3 設定が完了したら、時報にあわせてセットレバーの中央を押す

入力された日時の 0 秒に時計がセットされます。

表示スタイルの変更

日付・時刻の表示スタイルはメニューで変更できます。

メモ：

- 映像信号出力端子に接続したモニター画面を見ながら設定する場合は、[AV Out] メニュー画面の [Display On TV] 項目を “On” にします。(☞ 73 ページ)

■ 日付の表示 (Date Style) の設定 (☞ 72 ページ)

- ① [LCD/VF] メニュー → [Status Display] メニュー → [Date Style] 項目を選択する
- ② 日付表示スタイルを選択する
[設定値 : YMD (年、月、日)、MDY (月、日、年)、DMY (日、月、年)]
- ③ セットレバー中央を押す

■時刻の表示 (Time Style) の設定 (☞ 72 ページ)

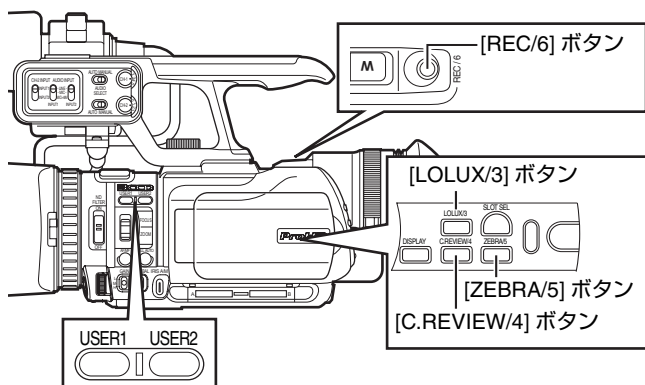
- ① [LCD/VF] メニュー → [Status Display] メニュー → [Time Style] 項目を選択する
- ② 時刻の表示スタイルを選択する
[設定値 :12hour (12 時間表示)、24hour (24 時間表示)]
- ③ セットレバー中央を押す

各動作モードでの日付・時刻表示

カメラモード時	内蔵時計の日付・時刻が表示されます。
メディアモード時	再生しているクリップの撮影日付・時刻が表示されます。

[USER] ボタンへ機能を割り付ける

本機は、[USER1,USER2] ボタンを 2 か所、ユーザーボタンの機能を持つ [LOLUX/3] ボタン、[C.REVIEW/4] ボタン、[ZEBRA/5] ボタン、[REC/6] ボタンを備えています。各ボタンに対してそれぞれ任意の機能を持たせることができます。



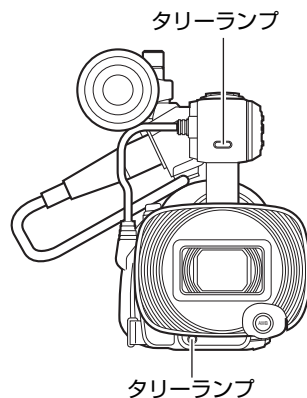
メモ :

- [Camera Function] メニューの [Switch Set] 項目の [USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6] でそれぞれのユーザーボタンに機能を割り付けます。(☞ 66 ページ)
- [REC/6] ボタンの工場出荷値は“Rec”で、記録開始/停止を行います。“Rec”は [REC/6] ボタンにのみ割りつけられる機能です。
- メニュー画面表示中は、[USER1]、[USER2] ボタンはメニュー操作ボタンとしても機能します。
(☞ 58 ページ [メニュー画面での基本操作])

タリーを設定する

タリーランプ点灯の有無を選択できます。

[Others] メニューの [Tally] で設定します。(☞ 74 ページ)
“On” に設定時、録画モードでタリーランプが点灯します。



メモ :

- オーディオユニット装着時は、本体タリーランプ (上図では下のタリーランプ) は動作しません。

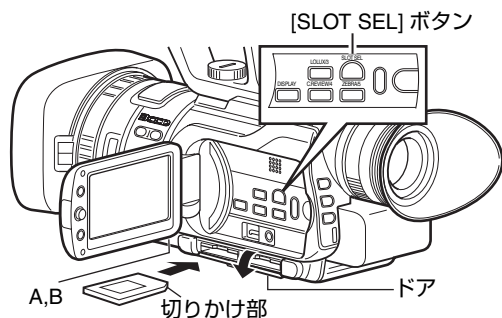
SDHC/SDXC カードについて

SDHC/SDXC カードを入れる

本機には SDHC/SDXC カードスロットが 2 か所備わっています。(スロット A およびスロット B)

■ 使用する SDHC/SDXC カードについて

[SDHC/SDXC カードについて] (☞ 7 ページ) をご覧ください。



※ 準備：電源を切ります。

1 ドアをあける

2 切りかけ部を奥にして SDHC/SDXC カードをスロットに入れる

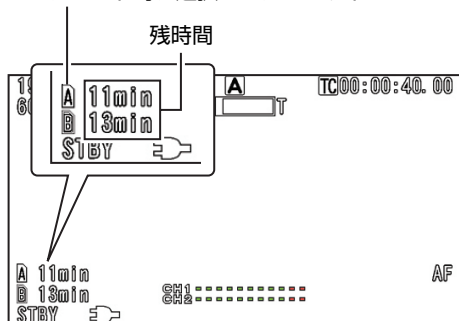
3 ドアをとじる

■ カードスロットを選択するには

1 [SLOT SEL] ボタンを押す

- スロット A またはスロット B に切り換えます。
- SDHC/SDXC カードが挿入されていた場合、選択したスロットの状態表示ランプが点灯します。
- SDHC/SDXC カードへのアクセス中、アクセスランプおよび状態表示ランプが点滅します。

カメラモード時、選択されたスロット



メモ：

- 切り換わり先の SDHC/SDXC カードが認識できていない場合、スロットは切り換わりません。

■ SDHC/SDXC カードを取り出す

1 ドアをあける

2 取り出したい SDHC/SDXC カードがアクセス中(状態表示ランプが点滅)でないことを確認する

3 SDHC/SDXC カードを押して、取り出す

4 ドアをとじる

ご注意：

- SDHC/SDXC カードの挿入や取り出し時、SDHC/SDXC カードの金属端子部に触れないでください。

SDHC/SDXC カードの記録可能時間のめやす

記録可能時間はめやすです。お使いになる SDHC/SDXC カード、バッテリーの状態によって異なることがあります。

(☞ 63 ページ [Camera Resolution])

(☞ 63 ページ [Frame & Bit Rate])

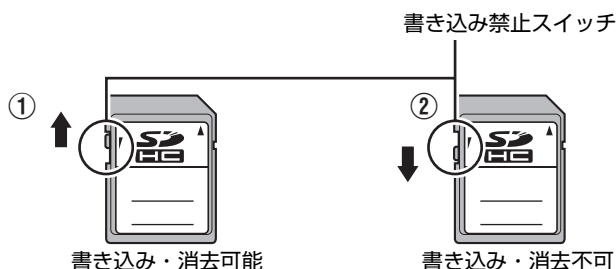
File Format	Bit Rate	MOV/MP4		MOV/AVI	
		SP	HQ	SP	
Camera Resolution		720p	1080i	720p/ 1080i	480i
SDHC カード	4GB	約 22 分	約 17 分	約 12 分	約 15 分
	8GB	約 45 分	約 35 分	約 25 分	約 30 分
	16GB	約 90 分	約 70 分	約 50 分	約 60 分
	32GB	約 180 分	約 140 分	約 100 分	約 120 分
SDXC カード	64GB	約 360 分	約 280 分	約 200 分	約 240 分
	128GB	約 720 分	約 560 分	約 400 分	約 480 分

メモ：

- SDHC/SDXC カード内に、本機以外で記録したファイルや、パソコンなどで書き込んだファイルがある場合、記録時間が短くなったり、正常に記録できない場合があります。
- 本機で1枚のSDHC/SDXCカードに記録できるクリップ数は [File Format] ごとに最大 600 クリップです。1枚のカードに 600 クリップ記録されると、記録可能時間のめやすに関わらず残量表示が 0min となりそれ以上の記録はできなくなります。

SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチについて

- ① 書き込み禁止スイッチを上をスライドすると書き込み・消去が可能となります。
- ② 書き込み禁止スイッチを下をスライドすると書き込み・消去ができなくなります。(カード内のデータを保護できます。)



■カードスロット状態表示ランプについて

スロット A、スロット B それぞれの状態を表示します。

ランプ	スロットの状態
緑色に点滅	挿入されている SDHC/SDXC カードにアクセス中です。(データの書き込み / 読み出し中) 本機の電源を切ったり、SDHC/SDXC カードを抜かないでください。
緑色に点灯	スタンバイ状態。挿入されている SDHC/SDXC カードを使用して、記録・再生を行います。
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● SDHC/SDXC カードが挿入されていない。 ● 使用できないカードが挿入されている。 ● SDHC/SDXC カードは挿入されているが、別のスロットが選択されている。

SDHC/SDXC カードをフォーマット (初期化) する

下記のカードを挿入した場合、“FORMATTING REQUIRED” と表示されます。本機メニューでフォーマットを行なってください。

- フォーマットされていない SDHC/SDXC カード
- 別の仕様でフォーマットされた SDHC/SDXC カード

ご注意：

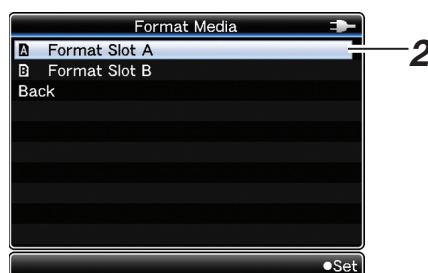
- SDHC/SDXC カードのフォーマットは必ず本機で行なってください。パソコンや周辺機器などでフォーマットした SDHC/SDXC カードは本機で使用できません。

メモ：

- メッセージ表示を解除するには、セットレバー中央を押します。
- フォーマットが必要な SDHC/SDXC カードが挿入されている場合、メディア残量部に [!] マークが表示され “FORMAT” 表示されます。

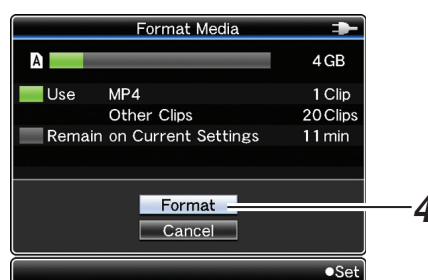
1 [Media] メニューの [Format Media] を選択する (☞ 75 ページ)

2 フォーマットする SDHC/SDXC カードスロットを選択し
セットレバーの中央を押す

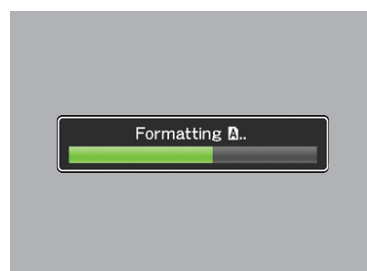


3 選択された SDHC/SDXC カードの状態が表示される。

4 [Format] を選択し、セットレバーの中央を押す



5 フォーマットが開始される



6 フォーマット完了

フォーマットが終了すると “Complete” と表示されます。

メモ：

- フォーマットしない場合は [Cancel] を選択し、セットレバー中央を押すと前画面に戻ります。
- フォーマット中、SDHC/SDXC カードを抜くと “Format Error!” と表示され、前画面に戻ります。
- フォーマット中、メニュー操作はできませんが、記録開始は可能です。ただしフォーマットを実行していないもう一方のスロットに記録可能な SDHC/SDXC カードが挿入されている場合のみです。
- 下記の場合はフォーマットできません。
 - ・ フォーマットしたい SDHC/SDXC カードが記録中。
 - ・ カードが挿入されていない。
 - ・ 書き込み禁止スイッチがセット (🔒 が表示) されている SDHC/SDXC カード。

ご注意：

- フォーマットを実行すると、SDHC/SDXC カード内の記録された映像データ、セットアップファイルなどを含むすべてのデータが消去されます。

LCD モニター/ビューファインダーについて

ビューファインダー/LCD 画面を見る

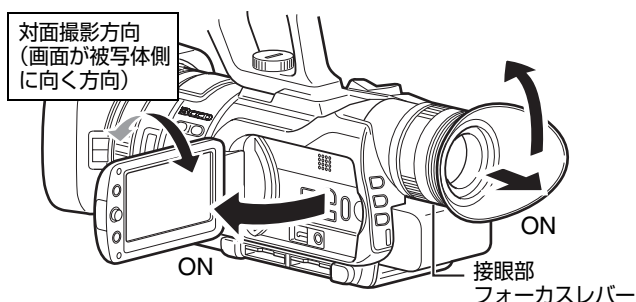
本機は、ビューファインダー、LCD 画面の両方または片方で映像をモニターできます。

■ ビューファインダーで見る

- 1 ビューファインダーを引き出す
- 2 ビューファインダーを垂直方向に傾けて、見やすい位置にする
- 3 接眼部フォーカスレバーをまわしてフォーカス調整する

■ LCD 画面で見る

- 1 LCD カバーをひらく
- 2 LCD カバーを傾け、見やすい位置にする



■ ビューファインダーと LCD 画面の画面表示の関係

[LCD/VF] メニュー [VF Slide SW] が “Disable” のとき (P.70 ページ)

VF の状態	LCD の状態	映像出力
OFF	OFF	VF
OFF	ON	LCD+VF
ON	OFF	VF
ON	ON	LCD+VF

[LCD/VF] メニュー [VF Slide SW] が “Enable” のとき (P.70 ページ)

VF の状態	LCD の状態	映像出力
OFF	OFF	VF
OFF	ON	LCD
ON	OFF	VF
ON	ON	LCD+VF

メモ:

- [HDMI] 端子、[COMPONENT OUT] 端子または [A/V OUT] 端子を接続時、ビューファインダーに映像は表示されません。

- ビューファインダーの明るさを調整する
[LCD/VF] メニューの [VF Bright] 項目で設定する (P.70 ページ)

■ LCD 画面の明るさを調整する

[LCD/VF] メニューの [LCD Bright] 項目で設定する (P.70 ページ)

■ LCD 画面のバックライトの明るさを設定する

[LCD/VF] メニューの [LCD Backlight] 項目で設定する (P.70 ページ)

ビューファインダー/LCD 画面の表示

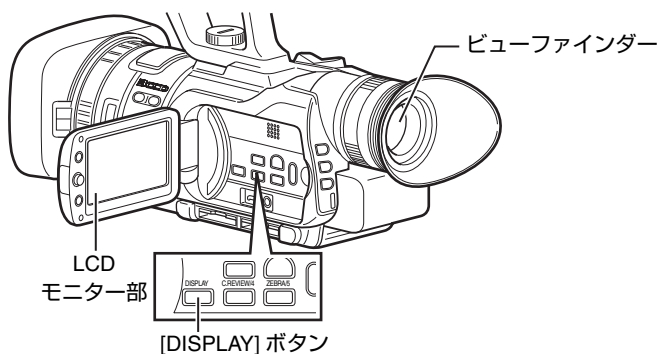
撮影中は、LCD モニター・ビューファインダー画面の映像にカメラの状態や SDHC/SDXC カードの情報など各種マーカーを重ねて表示することができます。

LCD モニターやビューファインダーには、カメラ映像や再生画のほかに下記のキャラクターが表示されます。

- ステータス画面 (P.23 ページ)
- オートホワイト時の表示 * (P.24 ページ)
- メニュー設定画面 (P.24 ページ)
- アラーム表示 (P.24 ページ)
- マーカーおよびセーフティゾーンの表示 * (P.87 ページ)
* カメラモード時のみ表示

メモ:

- [A/V Out] メニュー画面の [Display On TV] 項目が “On” のとき、映像信号出力端子のモニター映像にもステータス画面やメニュー画面が表示されます。(P.73 ページ)

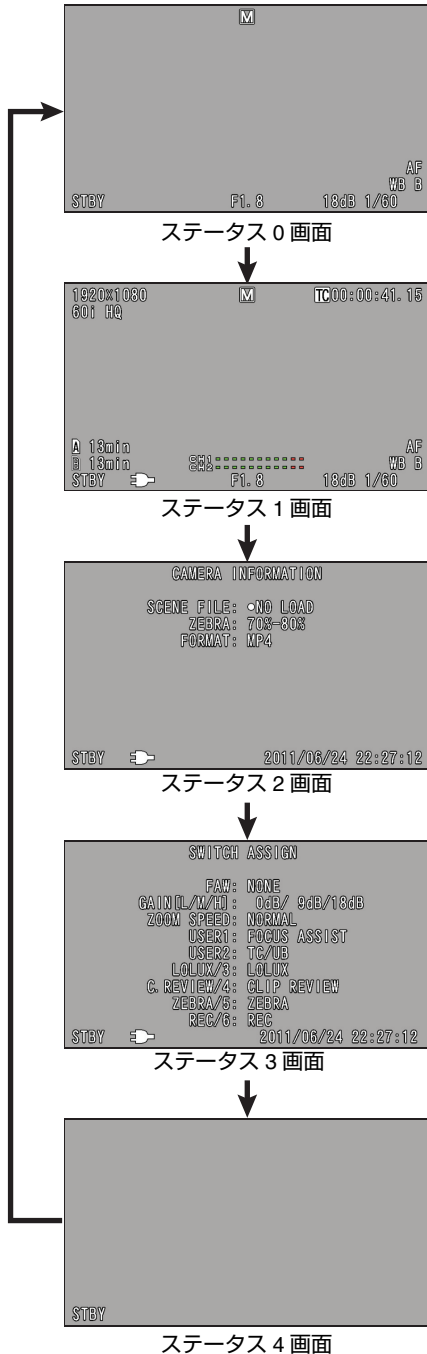


ステータス画面

現在の設定状態を確認するための画面です。ステータス画面を表示するには、通常画面時、[DISPLAY] ボタンを押してください。ステータス表示内容はカメラモード、メディアモード、USB モードによって異なります。

■カメラモード時のステータス画面
(ビューファインダー/LCD モニター)
(☞ 80 ページ)

[DISPLAY] ボタンを押すたびに 5 種類の画面が切り換わり表示されます。(ステータス 0→1→2→3→4→0)

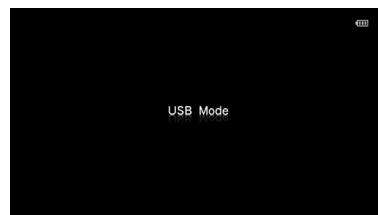


■メディアモードでのクリップ再生中のステータス画面
(ビューファインダー/LCD モニター)
(☞ 85 ページ)

[DISPLAY] ボタンを押すたびに 3 種類の画面が切り換わり表示されます。(ステータス 0→1→2→0)



■USB モード時のステータス画面
USB モードを示す画面となります。



LCD モニター/ビューファインダーについて (つづき)

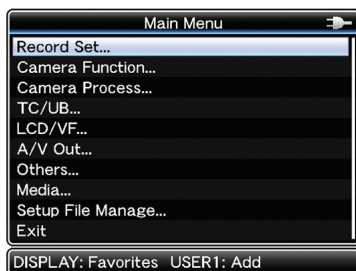
オートホワイト時の表示 (カメラモード時のみ)

オートホワイトバランス動作時、動作とその結果を表示します。
(33 ページ [ホワイトバランスを調整する])



メニュー設定画面

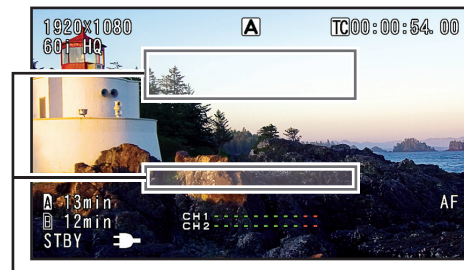
各種設定を行います。
[MENU/THUMB] ボタンを押すと、メニュー設定画面が表示されます。
(58 ページ [メニュー画面での基本操作])



[Main Menu] 画面

アラーム表示

- カメラモードのステータス (0、1、4) 画面表示またはメディアモードのステータス画面表示時、アラーム表示します。
- カメラモードのステータス 2、3 画面表示中にアラームが発生した場合は、ステータス 0 画面にもどり、アラーム表示します。(93 ページ [エラー表示と対応])

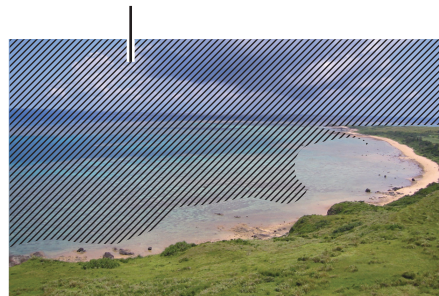


アラーム表示エリア

ゼブラパターンの表示

本機では、映像の輝度レベルを示すゼブラパターンを表示することができます。
ゼブラパターンを表示する輝度レベルを任意に設定できます。
(32 ページ [ゼブラパターンを表示する])

ゼブラパターン



メモ :

- ゼブラパターン表示の ON/OFF は以下の方法で行います。
 - [ZEBRA/5] ボタンを押す
 - “Zebra” を割り付けたユーザーボタンを押す (32、66 ページ)
 - [LCD/VF] メニュー → [Shooting Assist] → [Zebra] 項目で行う (70 ページ)
- 表示輝度の設定は [LCD/VF] メニュー → [Shooting Assist] → [Zebra] 項目から行います。
(70 ページ)

撮影モードを選択する

フルオート/マニュアル撮影モードを選択する

撮影の調整モードはフルオートとマニュアルの2つのモードがあります。

■ フルオート撮影モードにする

[FULL AUTO] を1回押すと、現在の調整モードが表示されます。モード表示中、[FULL AUTO] を押すと設定が変わります。

1 [FULL AUTO] を押して、画面上部にフルオート撮影モードのアイコン **A** を表示させる

明るさ、絞り、シャッタースピード、ホワイトバランスなどを自動で調整します。



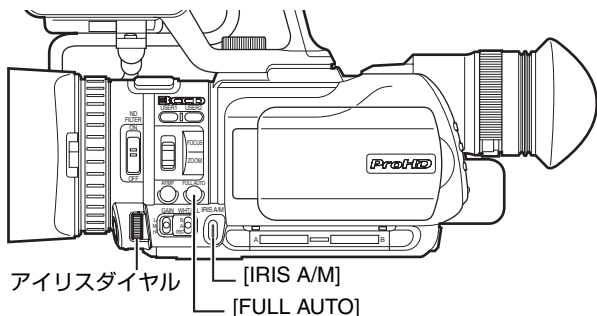
■ マニュアル撮影モードにする

1 [FULL AUTO] を押して、画面上部にマニュアル撮影モードのアイコン **M** を表示させる

- マニュアル撮影モードにしても、絞りアイコンやシャッタースピードアイコンが消えている場合、絞りやシャッタースピードはオートで動作します。
- シャッタースピードをマニュアルで動作させる場合は、[SHUTTER] ボタンを押して、値を表示させることで可変できます。(☞ 35 ページ)
- 絞りをマニュアルで動作させる場合は、[IRIS A/M] ボタンを押して、アイリスダイヤルで値を可変できます。(☞ 36 ページ)



- A** フルオート撮影モード
- M** マニュアル撮影モード



フォーカス調整モードを選択する

フォーカス調整方法は、オートとマニュアルの2つあります。

■ オートフォーカスモードにする

1 [AF/MF] を押して、画面にオートフォーカスのアイコン (AF) を表示させる

自動でピントをあわせませます。



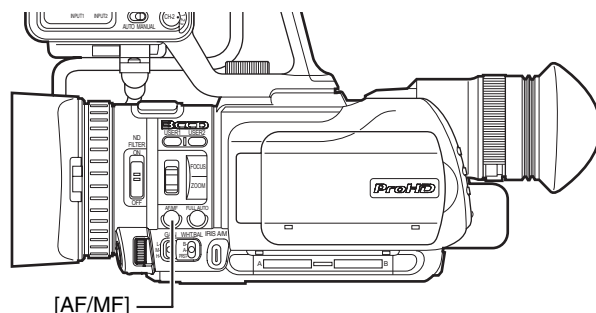
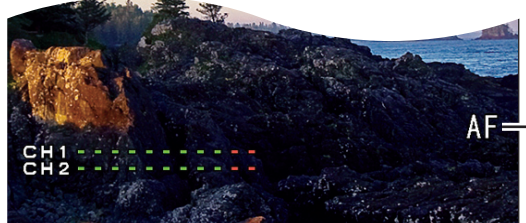
■ マニュアルフォーカスモードにする

1 [AF/MF] を押して、画面にマニュアルフォーカスのアイコン (MF) を表示させる

手動でピントをあわせませます。(☞ 29 ページ)



“AF” : オートフォーカスモード
“MF” : マニュアルフォーカスモード



記録映像の解像度、ファイルフォーマットおよびビデオフォーマットを選択する

本機では、記録映像の解像度（HD または SD）、記録・再生のファイルフォーマット、および映像の記録フォーマットを選択することができます。

メモ：

- [Main Menu]→[Record Set]→[Record Format] メニューで選択します。(☞ 63 ページ)

記録映像の解像度を選択する

記録映像の解像度 (System Definition) を [System Definition] 項目で選択します。

選択できる解像度は、以下の 2 つです。

HD (MPEG2) : HD (High Definition : 高精細度) で記録
SD (DV) : SD (Standard Definition : 標準画質) で記録

ファイルフォーマットを選択する

ファイルフォーマットを [File Format] 項目で選択します。選択できるファイルフォーマットは、以下の 3 つです。

QuickTime : QuickTime ファイルフォーマット (.MOV)
MP4 : MP4 ファイルフォーマット
AVI : Windows 標準の動画用ファイルフォーマット

メモ：

- [System Definition] 項目の設定によって選択肢が下記のように変わります。
 - ・ “HD (MPEG2)” の場合 : QuickTime、MP4
 - ・ “SD (DV)” の場合 : QuickTime、AVI

ビデオフォーマットを選択する

[Record Format] をフォーマット一覧の中から選択します。選択できる [Frame & Bit Rate] は、[System Definition]、[File Format]、[Camera Resolution] の設定によって変化します。

記録ビットレートは、“HQ” を選択した場合 35 Mbps VBR、“SP” を選択した場合 18.3 Mbps (1080i は 25 Mbps) CBR になります。

■フォーマット一覧

本機で選択できるファイルフォーマット、およびビデオフォーマットの一覧です。

■ [System Definition] 項目を “HD (MPEG2)” に設定時

Record Format			備考
File Format	Camera Resolution	Frame & Bit Rate	
	HorizontalxLine		
QuickTime/ MP4	1280x720	60p (HQ)	
		60p (SP)	HDV 互換
		30p (HQ)	
		30p (SP)	HDV 互換
		24p (HQ)	
		24p (SP)	HDV 互換
	1440x1080	50p (HQ)	
		50p (SP)	HDV 互換
		25p (HQ)	
		25p (SP)	HDV 互換
		60i (HQ)	
		60i (SP)	HDV 互換
1920x1080	50i (HQ)		
	50i (SP)	HDV 互換	
	60i (HQ)	Full HD	
	30p (HQ)	Full HD	
	50i (HQ)	Full HD	
	25p (HQ)	Full HD	
	24p (HQ)	Full HD	

■ [System Definition] 項目を “SD (DV)” に設定時

[System Definition] 項目を “SD (DV)” に設定時、ビデオフォーマットは下記のように固定されます。

Record Format			備考
File Format	Camera Resolution	Frame & Bit Rate	
	HorizontalxLine		
QuickTime/ AVI	720 x 480	60i	DV 互換

SD 記録映像のアスペクト比を選択する

画像のアスペクト比を選択します。

[System Definition] 項目の設定によって選択肢が下記のように変わります。

- “HD (MPEG2)” の場合 : 16:9 に固定
- “SD (DV)” の場合 : 16:9、4:3

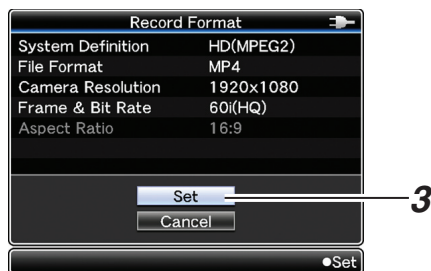
Record Format メニューを設定する

1 [Main Menu]→[Record Set]→[Record Format] メニューを表示させる

2 各項目を設定する

3 すべての設定を終了したあと、画面下方の [SET] を選択しセットレバーの中央を押す

- レコードフォーマットの切り換えを行います。
- 切り換え動作に入るとき、画面に “Please Wait” と表示されます。



記録モード表示



撮影する

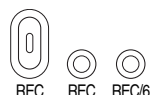
準備：カメラモードにする。(☞ 25 ページ)

本機には、撮影をするための [REC] ボタン 2 か所（背面部および LCD カバー部）と [REC/6] ボタンの 3 つがあります。

いずれのボタンでも操作できます。

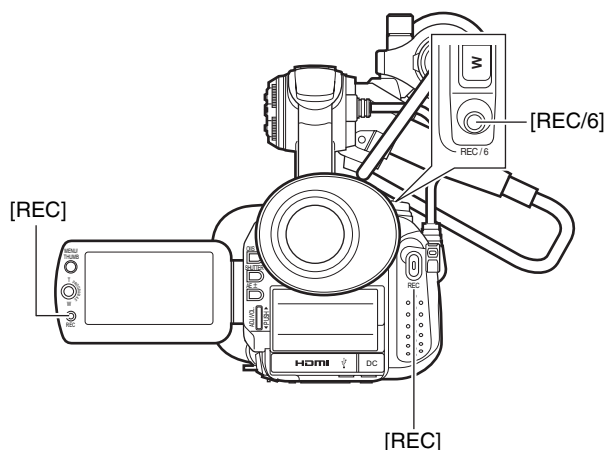
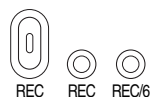
1 [REC] を押す

録画をはじめます。



2 [REC] を押す

録画を停止します。



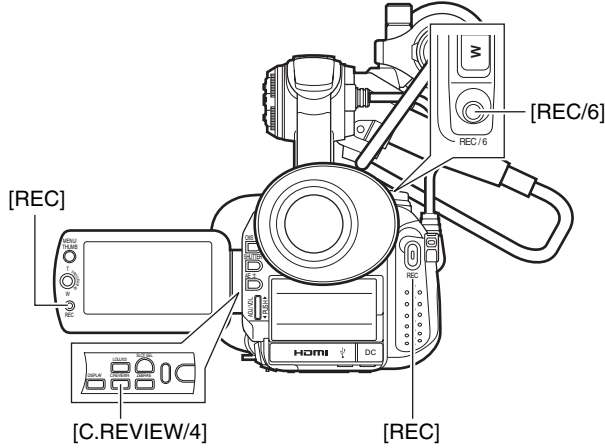
メモ：

- 1 つのクリップの容量は最大 4GB (QuickTime, MP4)/ 2GB(AVI) です。この容量を超えるときは分割されます。
- SDHC/SDXC カードの容量がなくなると録画を停止します。[Rec Mode] メニューの [Slot Mode] を “Series” に設定時は、記録中スロットの SDHC/SDXC カードの容量がなくなると、もう片側スロットの記録可能な SDHC/SDXC カードに録画を継続できます。(☞ 64 ページ)

記録した映像をすぐに見る (クリップレビュー)

直前に撮った映像を確認できます。

ただし、本機を確認するクリップのビデオフォーマット (Camera Resolution/Frame & Bit Rate) と違う設定に変更した場合は再生できません。(☞ 63 ページ)



1 ユーザーボタンのいずれかに“Clip Review”を割り付ける
工場出荷状態では、[C.REVIEW/4] ボタンに割り付けられています。

メモ：

- この機能を使用する場合は、ユーザーボタンのいずれかに“Clip Review”を割り付けてください。

※ [Main Menu]→[Camera Function]→[Switch Set]→[USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6]→“Clip Review”(☞ 67 ページ)

2 記録待機 (“STBY” 表示) 中に “Clip Review” 機能を割り当てたボタンを押す

- 再生します。設定によって、再生場所は変わります。
[先頭 5 秒 / 最後の 5 秒 / クリップ全体](☞ 67 ページ)
- 再生後、“STBY” (記録待機) に戻ります。



ご注意：

- クリップレビュー中に録画を開始したい場合は、[REC] を押してください。クリップレビューを中止して、記録に入ります。ボタンを押してから記録開始まで多少時間がかかります。
- クリップレビューを中止したい場合は、“Clip Review” 機能を割り当てたユーザーボタンを再度押してください。
- クリップレビュー中は、[REC] ボタン、“Clip Review” 機能を割り当てたユーザーボタン以外は操作できません。
- 最後に記録されたクリップが5秒未満の場合はクリップ全体が再生されます。
- レビュー対象クリップは、現在選択されているスロット内に限ります。
- 選択スロット内にクリップが存在しない場合、クリップレビューは機能しません。

メモ：

- クリップコンティニュースレック記録一時停止中 (“STBY” : 黄色文字) および、フレームレック記録一時停止中 (“STBY” : 黄色文字) はクリップレビューできません。[REC] ボタンを長押し、または “Rec Stop” 機能を割り付けたユーザーボタンで “STBY” (白文字) / “STBY” (白文字) にしてから操作してください。(☞ 45 ページ)

ズームする

適用： **A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード

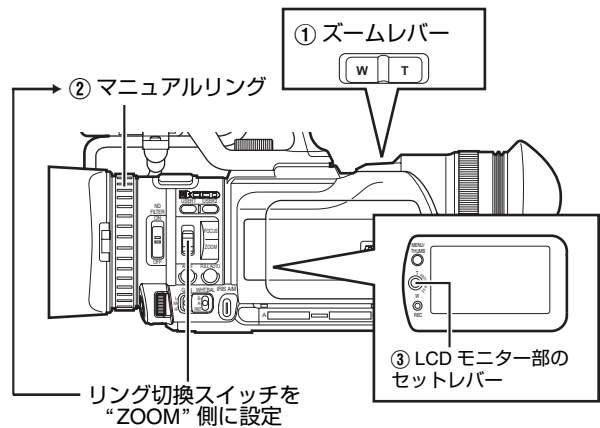
撮影したい画角を調整します。

ズーム倍率：1 倍～ 10 倍 (光学ズームのみ)

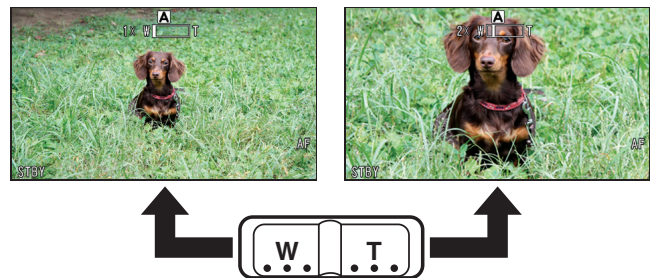
ズームは、下記の 4 か所で操作できます。

- ① 本機上部のズームレバー
- ② 本機のマニュアルリング：
本機側面部の [FOCUS/ZOOM] リング切換スイッチを “ZOOM” 側に設定したとき、ズームリングとして機能します。
- ③ LCD モニター部のセットレバー
- ④ リモコンの [ZOOM] ボタン

優先関係は、① > ② > ③ > ④ となります。



■ ズーム操作中、ズームバーが表示されます。



手動でピントをあわせる

適用： **A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード

■ マニュアルフォーカスモードにする

1 **[AF/MF]** を押して画面にマニュアルフォーカスアイコン (MF) を表示させる

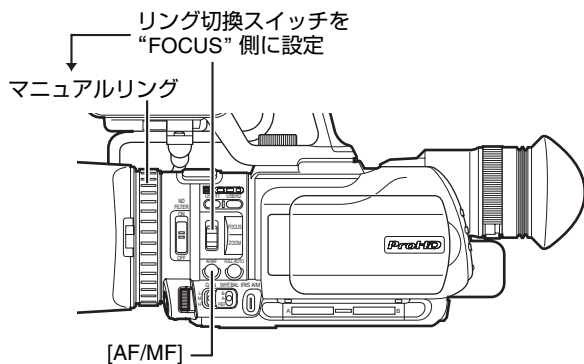


2 **[FOCUS/ZOOM]** リング切換スイッチを“FOCUS”側に設定する

レンズ部のマニュアルリングをフォーカスリングとして使用できます。

3 マニュアルリングをまわしてフォーカス調整する

右記のフォーカスアシスト機能を使用するとピントあわせが簡単になります。



フォーカスアシスト機能を使う

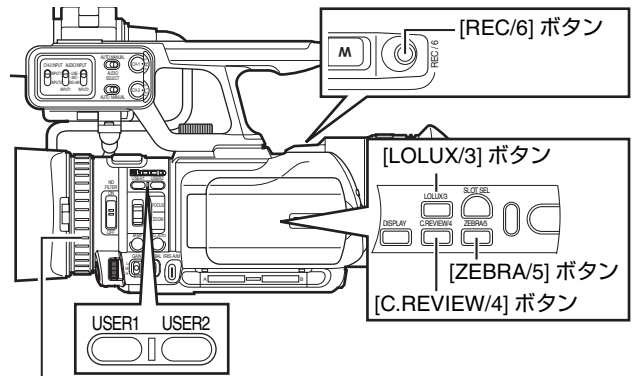
画面を一時的にモノクロにし、ピントのあった画像の輪郭線に色をつけます。

フォーカスアシスト機能を動作させる方法は下記の2つです。

① **[LCD/VF]** メニュー → **[Shooting Assist]** → **[Focus Assist]** を“On”に設定する。(☞ 70 ページ)

② ユーザーボタンにフォーカスアシスト機能を割り付け、該当のユーザーボタンを押す (☞ 19、66 ページ)

* **[Main Menu]** → **[Camera Function]** → **[Switch Set]** → **[USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6]** のいずれかを“Focus Assist”に設定 (☞ 66 ページ)



マニュアルリング

* ピントをあわせたい部分に色が付くようにマニュアルリングをまわします。

■ フォーカスアシストを止める

[LCD/VF] メニュー → **[Shooting Assist]** → **[Focus Assist]** を“Off”に設定する。

または、フォーカスアシスト機能を設定しているユーザーボタンを押す。

メモ：

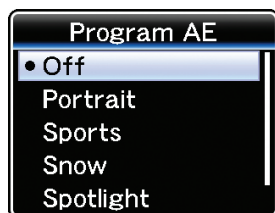
- 輪郭色を変える場合は、**[LCD/VF]** メニュー → **[Shooting Assist]** → **[Color]** を設定します。(“Blue”/“Green”/“Red”)
- 暗い所などでフォーカスアシストを使うと、ざらついた部分に色が付いて輪郭色が見えにくくなります。
- **[A/V Out]** メニューの **[Display On TV]** が“On”に設定時、外部モニターにフォーカスアシストの表示が出力されます。外部モニターに表示しない場合は、**[Display On TV]** を“Off”に設定してください。(☞ 73 ページ)

場面や状況にあわせる (プログラム AE)

適用： **A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード
 撮りたい被写体にあわせて露出やシャッタースピードを調整し最適な設定で撮影できます。

1 プログラム AE 選択画面をひらく

セットレバーを右側に押す

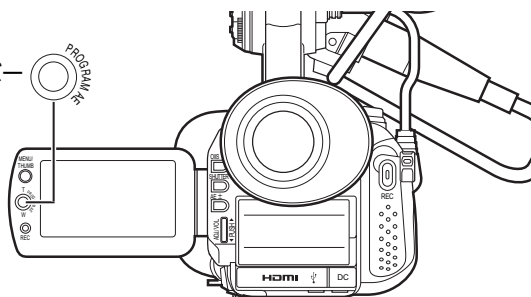


2 最適なモードを選び、決定する

- セットレバーを上下に押してモードを選び、セットレバーの中央を押します。
- プログラム AE 選択画面がとじて、画面に選んだモードのアイコンが表示されます。



セットレバー



■ 設定内容

- Off : プログラム AE を使用しない。
- Portrait : 背景をぼかして、人物を浮かび上がらせる。
- Sports : 動きの速いものを 1 コマ 1 コマ鮮明にする。
- Snow : 晴れた日の雪原などで、被写体が暗く写ることを防ぐ。
- Spotlight : ライトの中の人物が明るくなりすぎない。
- Twilight : 夜景などを自然な感じにする。

Lolux モードにする

適用： **A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード
 薄暗い場所で感度を上げる、Lolux モードにします。

1 ユーザーボタンのいずれかに“Lolux”を割り付ける

(☞ 19、66 ページ)

- 工場出荷状態では、[LOLUX/3] ボタンに割り付けられています。
- [Main Menu]→[Camera Function]→[Switch Set]→[USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6]→“Lolux”(☞ 66 ページ)

2 [LOLUX/3] ボタンまたは“Lolux”を割り当てたユーザーボタンを押す

Lolux モードになり、画面に“Lolux”と表示されます。



3 Lolux モードを解除する

[LOLUX/3] ボタンまたは“Lolux”を割り当てたユーザーボタンを押します。

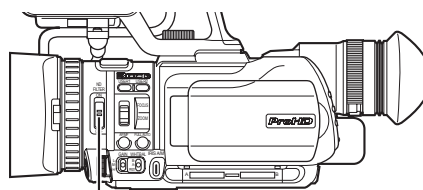
メモ：

- Lolux モードでは、手ブレしやすくなるので、三脚で固定してください。
- Lolux モード時、シャッタースピードやゲインは調整できません。

内蔵の ND フィルターを使う

適用： **A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード

[ND FILTER] スイッチの ON/OFF によって、内蔵の ND フィルターを切り換えてレンズからの光量を調整します。明るい屋外で使用するとき、“ON” に設定します。



[ND FILTER] スイッチ

■ [ND FILTER] スイッチを“ON”にする

光量を約 1/10 にします。
画面に“ND”と表示されます。



メモ：

- 撮影中に [ND FILTER] スイッチを切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。

明るさを手動補正する

適用： **A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード

撮影している被写体の明るさは、カメラ本体の基準値で自動調整していますが、撮影状況によって、映像の明るい部分や暗い部分が見えにくくなることがあります。これを防ぐため、手動で明るさを補正できます。

1 明るさ手動補正モードにする

- [AE ±] を押します。
- 画面に AE 値が表示され、調整モードになります。



2 明るさを補正する

- [ADJ./VOL.] ダイアルを操作します。
- 上に倒すと値が大きくなり、映像が明るくなります。
- 下に倒すと値が小さくなり、映像が暗くなります。



3 設定値を決定する

- [ADJ./VOL.] ダイアルを押します。
- マニュアル設定が確定します。
(設定値 (-6 ~ +6) は画面に表示されています。)



4 設定確定後、[ADJ./VOL.] ダイアルを 1 秒以上、押して AE ロックモードにする

- 画面の設定値の後ろに  マークが表示されます。
- AE ロック：明るさ補正の設定値を固定します。



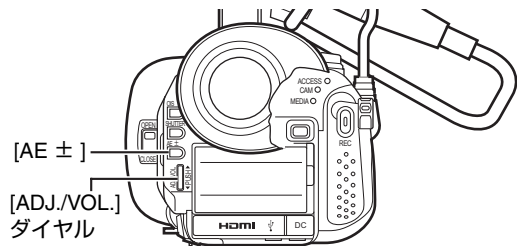
■ AE ロックを解除する

1 [ADJ./VOL.] ダイアルを 1 秒以上、長押しする
マークが消えます。



■ 明るさ手動補正モードを止める

1 [AE ±] を押す



メモ：

- 下記の場合、AE ロックは解除されます。
 - シャッタースピードや絞りをマニュアル設定した場合
 - [Program AE]を“Off”以外に選択した場合 (☞ 30 ページ)
 - [AE Area] で全体以外を選択した場合 (☞ 36 ページ)
 - フルオート / マニュアル切り換えをした場合 (☞ 25 ページ)

テレマクロ機能を使う

適用： **A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード
 ズームの望遠 [T] 側で接写できる距離を短くします。
 (1m → 約 80cm)

この機能は、2つの方法で設定できます。

- ① [Camera Function]メニューの[Tele Macro]を“On”に設定する。(☞ 65 ページ)
- ② ユーザーボタンにテレマクロ機能を割り付け、該当のユーザーボタンを押す (☞ 19、66 ページ)
 - ※ [Main Menu]→[Camera Function]→[Switch Set]→[USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6] のいずれかを“Tele Macro”に設定 (☞ 66 ページ)
 - テレマクロ機能が“On”時、画面にテレマクロアイコンが表示されます。



メモ：

- プログラム AE が“Twilight”の場合、テレマクロ機能は強制的に“Off”になります。

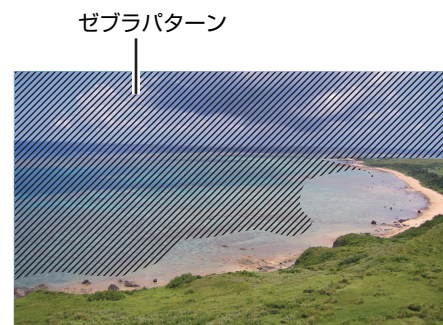
ゼブラパターンを表示する

適用： **A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード
 撮影時、指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様（ゼブラパターン）を表示します。ゼブラパターンを表示する明るさの範囲を設定できます。

ゼブラパターンを表示する

ゼブラパターンを表示する方法は、2つあります。

- ① [LCD/VF]メニュー→[Shooting Assist]→[Zebra]を“On”に設定する。(☞ 70 ページ)
- ② ユーザーボタンにゼブラ機能を割り付け、該当のユーザーボタンを押す (☞ 19、66 ページ)
 - ※ [Main Menu]→[Camera Function]→[Switch Set]→[USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6] のいずれかを“Zebra”に設定 (☞ 66 ページ)
 - 指定されている明るさ部分にゼブラパターンが表示されません。



メモ：

- [A/V Out]メニューの[Display On TV]が“On”に設定時、外部モニターにゼブラパターンの表示が出力されます。外部モニターに表示しない場合は、[Display On TV]を“Off”に設定してください。(☞ 73 ページ)

■ ゼブラパターン表示を消す

ゼブラパターン表示を消す方法は以下の2つです。

- [LCD/VF]メニュー→[Shooting Assist]→[Zebra]を“Off”にする。
- “Zebra”に設定したユーザーボタンを押す。

ゼブラパターン表示する明るさの範囲を指定する

明るさの上限値 (Top) と下限値 (Bottom) を指定できます。初期設定値は 70% ~ 80% の範囲を指定しています。

1 [LCD/VF] メニュー → [Shooting Assist] → [Zebra] 項目で明るさの上限値 (Top) と下限値 (Bottom) を指定する

項目	設定内容	選択肢
Top	ゼブラパターンを表示する輝度レベルの上限の設定	5% ~ 100%、Over (5% 刻み)
Bottom	ゼブラパターンを表示する輝度レベルの下限の設定	0% ~ 100% (5% 刻み)

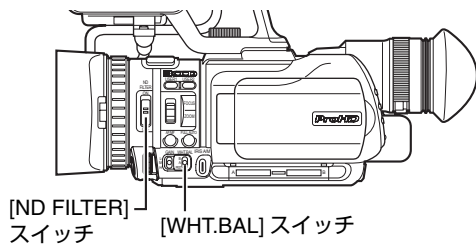
ホワイトバランスを調整する

適用：[M] マニュアル撮影モード

1 マニュアル撮影モードにする

- [WHT.BAL] スイッチでホワイトバランスを選択します。
- [WHT.BAL] スイッチで3種類のホワイトバランスの切り換えができます。

[WHT.BAL] スイッチ	内容
[B]	[B] 位置にメモリーされたホワイトバランスに切り換わります。この位置でオートホワイトバランス調整を行うと、調整したホワイトバランスが [B] 位置にメモリーされます。
[A]	[A] 位置にメモリーされたホワイトバランスに切り換わります。この位置でオートホワイトバランス調整を行うと、調整したホワイトバランスが [A] 位置にメモリーされます。
[PRST(PRESET)]	[Camera Process] メニューの [Preset Temp.] で設定したホワイトバランス (“3200K” または “5600K”) になります。(☞ 68 ページ)



メモ：

- FAW(フルオートホワイトバランス)モードを[WHT.BAL]スイッチに割り付けできます。(☞ 34 ページ)

オートホワイトバランス調整をする

光源によって光の色 (色温度) が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、ホワイトバランスを再調整してください。ホワイトバランス [A] と [B] の 2 タイプをメモリーに記憶することができます。

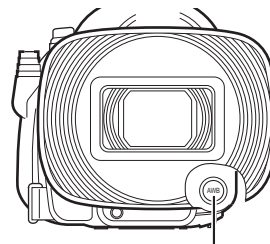
1 マニュアル撮影モードにする

2 照明にあわせて、ND フィルターを設定する (☞ 30 ページ)

3 [WHT.BAL] スイッチを “A” または “B” にする

4 被写体と同じ照明条件のところで画面の中央付近に白いものを置き、ズームアップして画面に白を映す

5 [AWB] ボタンを押す

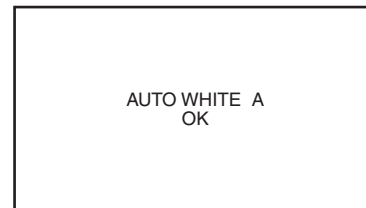


[AWB] ボタン

- オートホワイトバランス調整中は “AUTO WHITE A, B OPERATION” と表示されます。
- 正しくホワイトバランスがとれると約 3 秒間 “AUTO WHITE A, B OK” と表示されます。



[AWB] 起動中



結果表示

ご注意：

- 金属など、反射光の強い被写体を置かないでください。正しくホワイトバランスがとれないことがあります。
- 被写体の色が一色しかない場合や、白が少ないなどオートホワイト機能の調整範囲を超えている場合は適正なホワイトバランスがとれません。

ホワイトバランスを調整する (つづき)

■ エラーメッセージ

オートホワイトバランス調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージが約 3 秒間表示されます。

エラーメッセージ	状況
NG : OBJECT	被写体不良です。 被写体の白が少ないときや色温度が適正でないときなどに表示されます。 白い被写体に変更し、ホワイトバランスを取り直してください。
ERROR : LOW LIGHT	光量不足です。 照明が暗いときに表示されます。照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。
ERROR : OVER LIGHT	光量過剰です。 照明が明るすぎるときに表示されます。照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

フルオートホワイト (FAW) 機能を使う

照明条件の変化に応じて、その条件にあったホワイトバランス値に自動調整されます。
このモードは、新たにホワイトバランス調整をとる時間がないときや、照明条件の異なる場所を本機が頻繁に出入りする場合などに便利です。

1 マニュアル撮影モードにする

2 [Camera Function] メニュー[Switch Set]→[FAW] 項目を設定する (☞ 66 ページ)

[WHT.BAL] スイッチの 3 ポジション ([A], [B], [PRST(PRESET)]) のいずれかに、FAW(自動ホワイトバランス) 機能を割り付けることができます。

3 [WHT.BAL] スイッチを FAW 機能を割り付けた位置に設定する



メモ:

- 本機をフルオート撮影モードにすると、フルオートホワイトモードとなり、被写体の照明色温度に応じてホワイトバランスを自動的に調整します。
- プログラム AE が “Twilight” 時、ホワイトバランスは 5600K になります。
- これらの場合、[WHT.BAL] 選択スイッチでのホワイトバランス切り換え操作は無効となります。

ご注意:

- 被写体が一色しかない場合や白が少ないなどフルオートホワイト機能の調整範囲を超えている場合は適正なホワイトバランスがとれません。
- FAW の精度はオートホワイトバランスより劣ります。
- FAW モードで電源を入れると、FAW の自動調整が終了するまで約 10 秒かかります。その間は録画しないでください。

ホワイトペイント調整をする

適用: マニュアル撮影モード

オートホワイトバランス時の R(赤) または B(青) の成分を調整します。

1 マニュアル撮影モードにする

2 [Camera Process] メニューの [White Paint R] または [White Paint B] を選択し、調整する (☞ 68 ページ)

- [White Paint R]: 赤味を調整します。
- [White Paint B]: 青味を調整します。

メモ:

- AWB(オートホワイトバランス) を再調整すると、各色 (R,B) とも設定値が初期値になります。
- [WHT.BAL] スイッチが “PRST(PRESET)” の場合は調整できません。

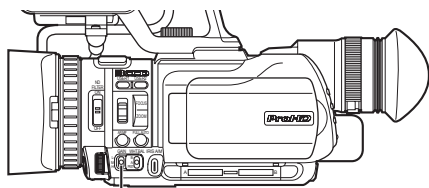
マニュアルゲイン調整をする

適用：**[M]** マニュアル撮影モード

本機の [GAIN] スイッチで映像アンプのゲインを選択します。スイッチの各ポジションは工場出荷時に下記のように設定されています。

被写体の照度が不足している場合、[GAIN] スイッチの設定で電氣的に増感できます。(3 ポジション)

[GAIN] スイッチ	内容
[L]	0dB (増感はいりません。)
[M]	9dB (約 3 倍に増感します。)
[H]	18dB (約 8 倍に増感します。)



[GAIN] スイッチ

メモ： _____

- 各ポジションのゲイン値は、[Camera Function] メニュー [Switch Set]→[GAIN L]/[GAIN M]/[GAIN H] 項目で“0dB”～“18dB”の範囲(3 dB ステップ)および“AGC”に設定変更することができます。(P. 66 ページ)
- 増感するほど、画面はザラついた感じになります。

自動ゲインモード (自動ゲイン調整)

本機をフルオート撮影モードにすると、自動ゲイン調整モード (“AGC” 固定) となり、被写体の明るさに応じて映像アンプのゲインを自動的に設定します。

この場合、本機の [GAIN] スイッチの切り換え操作は無効となります。

メモ： _____

- プログラム AE の [Twilight] に設定している場合は、自動ゲインモードは無効となり、“0dB” になります。

シャッタースピードを調整する

適用：**[M]** マニュアル撮影モード

任意のシャッタースピードを設定します。オートに設定した場合、自動でシャッタースピードを制御します。

1 マニュアル撮影モードにします。

2 シャッタースピード調整モードにする

- [SHUTTER] ボタンを押します。
- マニュアルモードで設定されていたシャッタースピードが表示されます。



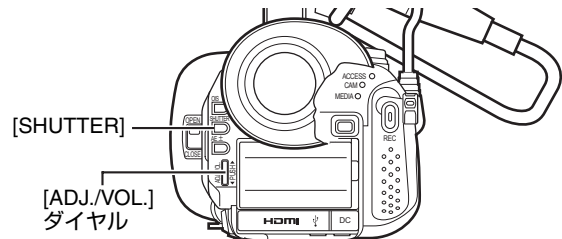
3 シャッタースピードの値を選択する

- [ADJ./VOL.] ダイアルを操作します。
- 選択している値が表示されます。



4 シャッタースピードを確定する

- [ADJ./VOL.] ダイアルを押します。
- 調整モードを終了し、シャッタースピードが表示されます。



ご注意： _____

- Lolux モード時、シャッタースピードのマニュアル設定はできません。

■ 設定値

フレームレート 60

1/3.75, 1/7.5, 1/15, 1/30, 1/60, 1/80, 1/100,
1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000

フレームレート 50

1/3.13, 1/6.25, 1/12.5, 1/25, 1/50, 1/80, 1/120,
1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000

フレームレート 24

1/3, 1/6, 1/12, 1/24, 1/48, 1/60, 1/100, 1/250, 1/500,
1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000

■ シャッタースピードをオートにする

1 [SHUTTER] ボタンを 2 回押して、表示を消す

絞りを調整する

適用：[M] マニュアル撮影モード

レンズの絞り（F 値）を設定します。

F 値	内容
小さくする	被写体が明るくなります。 ピントのあう範囲が鋭くなり、背景がボケた柔らかい印象の映像になります。
大きくする	被写体が暗くなります。 背景までピントのあった映像になります。

1 マニュアル撮影モードにする

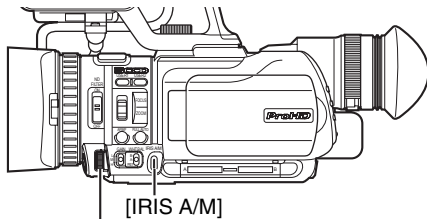
2 絞り調整モードにする

- [IRIS A/M] ボタンを押し、マニュアルアイリスモードにします。
- 現在の F 値が表示されます。



3 F 値を設定する

- アイリスダイヤルをまわします。
- 選択している F 値が表示されます。



アイリスダイヤル

■ 設定値

F1.8 ~ F8.0 (14 ステップ)

絞りの開放 F 値はズームの位置で変わります。

広角 [W] 端側：F1.8

望遠 [T] 端側：F2.8

■ 望遠 [T] 側ズームによる 1/3 絞りステップ表示

ズーム [W] 端側で絞りを F1.8 の設定したとき、[T] 側にズームすると開放 F 値よりも絞りが小さくなる場合があります。この場合、設定された絞りは固定されず、各ズームポジションの開放 F 値に応じて変化します。このときは、1/3 絞りのステップで、開放 F 値に近い値が表示されます。(F1.8, F2.0, F2.2, F2.5, F2.8)

■ 絞りをオートにする

1 マニュアルアイリスモード時に [IRIS A/M] ボタンを押しオートアイリスモードにする

測光エリアを設定する

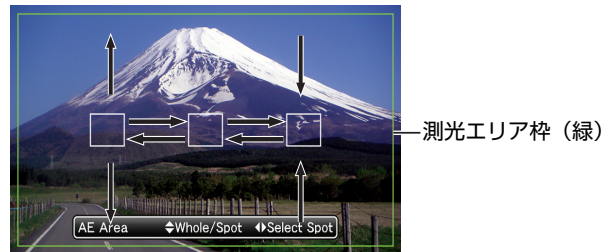
適用：[M] マニュアル撮影モード

- 画面上の枠で囲まれた測光エリア（3 つ）および画面全体の 4 つのエリアから任意のエリアを選択し、その部分が最良の状態になるよう明るさを自動補正します。
- [Camera Function] メニューの [AE Area] で設定します。
- [AE Area] で画面全体を選択した場合、画面全体が最良の明るさになるようにします。

1 マニュアル撮影モードにする

2 測光エリア設定画面を表示する (P.65 ページ)

- [Camera Function] メニューの [AE Area] 画面をひらきます。
- 画面中央に測光エリア枠が表示されます。
 - ・ 測光エリアは、画面の左、中央、右、全体から選択します。



3 測光エリアを選択する

- セットレバーの上下左右で測光エリアを選択します。
- 全体が選択されているときに右または左を押すと、右または左の測光エリア枠が選択され、上または下を押すと、中央の測光エリア枠が選択されます。
- 左・中央・右のいずれかの測光エリア枠が選択されているときに、上または下を押すと全体が選択されます。



4 測光エリアを確定する

- セットレバーの中央を押します。
- 確定した測光エリア枠が表示され、測光エリアアイコンが白色で表示されます。(ただし、全体を選択した場合は、表示されません。)
- 枠内の明るさが常に最良になるよう自動補正します。



■ 測光エリアの明るさをロックする場合

1 測光エリアを設定中または、確定後、セットレバーの中央を 1 秒以上、長押しする

- 測光エリア枠が消え、ロックアイコン (L) が表示されます。
- 測光エリア内の自動補正した明るさが固定されます。(AE ロック)



カラーバーを表示する

適用： **M** マニュアル撮影モード

カラーバーを画面に表示し、その状態で録画操作することでカラーバーを録画できます。(下欄参照)

1 マニュアル撮影モードにする

2 カラーバーを表示させる

カラーバーを表示する方法は、2つあります。

① [Camera Function] メニューの [Bars] を “On” に設定する。
(☞ 65 ページ)

② ユーザーボタンにカラーバー機能を割り付け、該当のユーザーボタンを押す (☞ 19、66 ページ)

※ [Main Menu] → [Camera Function] → [Switch Set] → [USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6] のいずれかを “Bars” に設定 (☞ 66 ページ)

- カラーバーが表示されます。

メモ： _____

- フルオート撮影モード時、[Program AE] 選択画面表示中、[System Definition] が “SD (DV)” の場合カラーバーは表示されません。

■ カラーバー表示を消す

1 [Camera Function] メニューの [Bars] を “Off”、または “Bars” に設定したユーザーボタンを押す

メモ： _____

- 以下の操作でもカラーバー表示は解除されます。
 - ・ メニュー画面をひらく。
 - ・ カメラモード以外に変更する。

■ カラーバーの記録

[Camera Resolution]、[Frame & Bit Rate] メニューが下記の場合、カラーバーを記録できます。

[Camera Resolution]	[Frame & Bit Rate]
1920x1080	60i(HQ), 30p(HQ), 50i(HQ), 25p(HQ), 24p(HQ)
1280x720	60p(HQ), 60p(SP), 30p(HQ), 30p(SP), 50p(HQ), 50p(SP), 25p(HQ), 25p(SP), 24p(HQ), 24p(SP)

カメラ画を調整する

適用： **A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード

[Camera Process] メニューでカメラの画質を設定します。設定値を変えるごとに画面に反映しますので、カメラ画質を確認しながら調整できます。

- [Detail]
- [Knee]
- [Gamma]
- [Color Matrix]
- [Color Gain]

メモ： _____

- 各項目の詳細は、[Camera Process] メニューの各項目をご覧ください。(☞ 67 ページ)

手振れ補正機能を使用する

適用： **A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード

手振れによる映像のブレを低減します。

1 手振れ補正機能の ON/OFF を確認する

- ステータス表示に手振れ補正機能 OFF アイコン有り：手振れ補正機能 OFF
- ステータス表示に手振れ補正機能 OFF アイコン無し：手振れ補正機能 ON



2 [OIS] ボタンを押し、手振れ補正機能を ON にする
(手振れ補正機能が OFF の場合)



[OIS] ボタンを押すたびに手振れ補正機能の ON/OFF が切り換わります。

- OFF：三脚などで固定して撮影するときに設定します。
- ON：手振れによる映像のブレを低減します。

メモ： _____

- 映像のブレが大きい場合、補正しきれないことがあります。

録音する

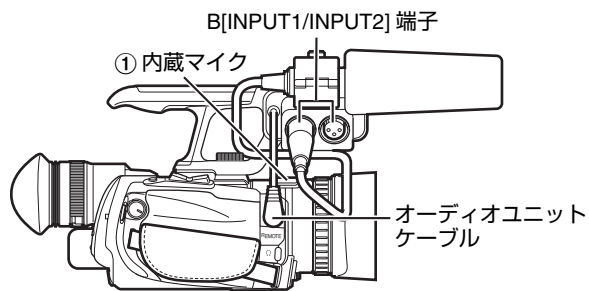
適用：カメラモード

音声入力する方法は、以下の2つです。

① 内蔵マイク

② [INPUT1] 端子・[INPUT2] 端子

- 入力の優先順位は、② > ① となります。
- 内蔵マイクを使用したい場合は、オーディオユニットのケーブルを [AUDIO IN] 端子からはずしてください。



基準録音レベルを設定する

適用：**A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード

■ [Record Set] メニュー → [Audio Set] → [Audio Ref. Level] 項目を設定する (“-20dB”/“-12dB”)

(☞ 65 ページ)

内蔵マイクを使用する

適用：**A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード

■ 入力レベルを設定する

[Record Set] メニュー → [Audio Set] → [Internal Mic Level] 項目を設定する (☞ 65 ページ)

[INPUT1/INPUT2] 端子の外部マイクを使用する

適用：**A** フルオート撮影モード **M** マニュアル撮影モード

準備：[INPUT1/INPUT2] 端子にマイクを接続する。

(☞ 15 ページ)

端子	音声入力
[INPUT1]	常に [CH1(L)] に入力されます。また、[CH-2 INPUT] スイッチ設定で [CH2(R)] にも入力します。
[INPUT2]	[CH-2 INPUT] スイッチ設定で [CH2(R)] に入力します。

■ [CH-2] 音声を選択する

[CH-2 INPUT] スイッチを設定する。

- [INPUT1] : [INPUT1] 端子の音声を [CH-2] に入力します。
- [INPUT2] : [INPUT2] 端子の音声を [CH-2] に入力します。

メモ：

- [INPUT1] 端子の音声は、設定に関係なく [CH-1] にも入力します。

■ [INPUT1] 端子または [INPUT2] 端子に入力する音声を選択する

[AUDIO INPUT 1/2] スイッチを設定する。

[LINE]	オーディオ機器などを接続するとき、この設定にします。
[MIC]	ダイナミックマイクを接続するとき、この設定にします。
[MIC+48V]	+48V の電源供給が必要なマイク（ファントムマイク）を接続するとき、この設定にします。付属のマイクを使用する場合は、この設定にします。

Caution：

- +48V の電源供給が不要な機器を接続するときは、[MIC+48V] の位置に設定されていないことを確認のうえ、接続してください。

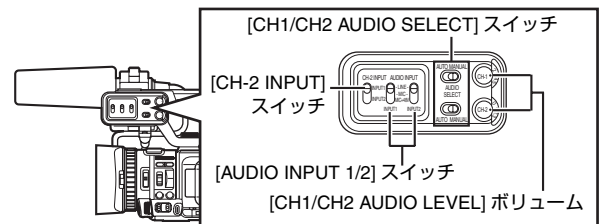
■ 録音レベルを調整する

録音レベル調整方法を選択する

- [CH1/CH2 AUDIO SELECT] スイッチを設定する
- チャンネル別に [AUTO] モードにするか [MANUAL] モードにするか選択します。

[AUTO] : 自動調整モードで使用するとき、この設定にします。

[MANUAL] : 手動調整モードで使用するとき、この設定にします。[CH1/CH2 AUDIO LEVEL] ポリウムで録音レベルを調整します。



風きり音を減らす

各マイクに対して風きり音を低減できます。

■ メニュー設定

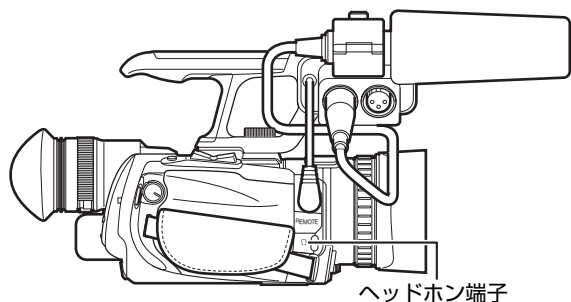
[Record Set] メニュー → [Audio Set] → [Input1 Mic Wind Cut]/[Input2 Mic Wind Cut]/[Internal Mic Wind Cut] 項目 “On” に設定する (☞ 65 ページ)

ヘッドホンで音声をモニターする

適用：カメラモード、メディアモード

1 ヘッドホンを接続する

ヘッドホンをヘッドホン(🔊)端子に接続します。

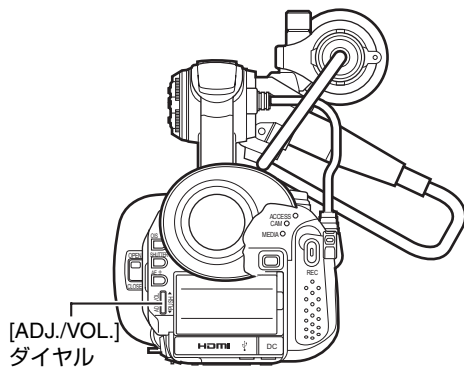


2 ヘッドホン音声をミックス音声にするかステレオ音声にするかを設定する

[A/V Out] メニューの [Audio Monitor] 項目の設定をします。
("Mix"/"Stereo")
(☞ 73 ページ)

3 ヘッドホンの音声レベルを調整する (内蔵スピーカーとリンク)

[ADJ./VOL.] ダイアルを操作します。



メモ：

- 内蔵スピーカーはメディアモード時のみ使用できます。カメラモード時、内蔵スピーカーから音声はできません。
- カメラモード時とメディアモード時の音声レベルはそれぞれ独立して調整されます。
- メディアモード時、ヘッドホン音量とスピーカー音量は同時に調整されます。
- 内蔵スピーカーは [HDMI] 端子、[A/V OUT] 端子、ヘッドホン端子のいずれかが接続されている場合は使用できません。

タイムコード記録の設定を行う

適用：カメラモード

タイムコード/ユーザーズビットを表示する

メニュー設定

1 [LCD/VF] メニュー → [Status Display] → [TC/UB] 項目を "TC" または "UB" に設定する (☞ 72 ページ)

- "TC": タイムコードを表示します。
- "UB": ユーザーズビットを表示します。



タイムコードを記録する

本機内蔵のタイムコードジェネレーターのタイムコードおよびユーザーズビットを記録します。タイムコードジェネレーターは、プリセットモードとリジェネモードがあります。プリセットモード時、任意にタイムコードおよびユーザーズビットを設定できます。(☞ 40 ページ)

■ プリセットモードでタイムコードおよびユーザーズビットを記録する

1 [TC/UB] メニューの [TC Generator] 項目を "Rec Run" または "Free Run" に設定する (☞ 69 ページ)

- "Rec Run": タイムコードは録画時のみ歩進します。
- "Free Run": タイムコードは常に歩進します。

■ SDHC/SDXCカードに記録されているタイムコードに続けてタイムコードを記録する

1 [TC/UB] メニューの [TC Generator] 項目を "Regen" に設定する (☞ 69 ページ)

メモ：

- 記録を停止して、SDHC/SDXC カードを抜いた場合、タイムコードの表示は、以下になります。
"Rec Run" : 最後に記録停止したタイムコード
"Regen" : 00:00:00:00 になります。
"Free Run" : 常に歩進します。

タイムコード記録の設定を行う (つづき)

タイムコード/ユーザズビットをプリセットする

タイムコードおよびユーザズビットは [TC/UB] メニューで設定します。(☞ 69 ページ)

[TC/UB] メニューを表示させる方法は 2 つあります。

- ① [MENU/THUMB] ボタンでメニュー画面を表示させ、[TC/UB] メニューを選択する。(☞ 58 ページ)
- ② ユーザーボタンに “TC/UB” を割り付け、該当のユーザーボタンを押す (☞ 19、66 ページ)
 - ※ [Main Menu]→[Camera Function]→[Switch Set]→[USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6] のいずれかを “TC/UB” に設定 (☞ 66 ページ)

■ タイムコードを設定する

1 上記の方法で [TC/UB] メニューを表示させる

2 タイムコードジェネレーターの歩進モードを設定する

[TC Generator] 項目を “Rec Run” または “Free Run” に設定します。(☞ 69 ページ)

- “Rec Run”: タイムコードは録画時のみ歩進します。
- “Free Run”: タイムコードは常に歩進します。

3 タイムコードジェネレーターのフレーミングモードを設定する

[Drop Frame] 項目を “Non Drop” または “Drop” に設定します。(☞ 69 ページ)

- “Non Drop” : ノンドロップフレームモードで歩進します。フレーム数を重視するとき、この設定にします。
- “Drop” : ドロップフレームモードで歩進します。記録した時間を重視するとき、この設定にします。

メモ : _____

- [Record Set] メニューの [Record Format]→[Frame & Bit Rate] 項目が “50、25、24” の場合、“Drop” には設定できません。

4 [TC Preset] 項目を選択し、セットレバーの中央を押すタイムコードプリセット画面が表示されます。



[TC Preset] 画面
(ドロップフレーム時)

5 タイムコードを設定する (時、分、秒、フレーム)

- セットレバーを上または下に押すと、設定値が変わります。
- セットレバーを右または左に押すと、設定桁が移動します。



メモ : _____

- [USER2] ボタンを押すと、すべての桁が “0” になります。

6 タイムコードを確定する

- セットレバーの中央を押します。
- [TC/UB] メニューに戻ります。



■ メニュー画面をとじるには

1 [MENU/THUMB] を押す

通常画面が表示されます。



ユーザズビットをプリセットする

1 [TC/UB] メニューの [UB Preset] を選択する (☞ 69 ページ)

設定方法は、タイムコードプリセットと同じです。

各桁を 0 ~ 9、A ~ F の英数字で指定します。

重要なシーンを保護 (OK マーク機能)

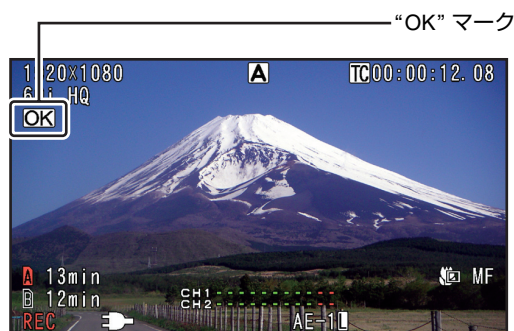
適用：カメラモード

重要なシーンを撮影した場合など、クリップに OK マークをつけることができます。
OK マークを付加したクリップは削除ができなくなり、重要なクリップを保護することができます。

記録中に OK マークをつける

1 いずれかのユーザーボタンに “OK Mark” 機能を割り付ける

- [Main Menu]→[Camera Function]→[Switch Set]→[USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6] のいずれかを “OK Mark” に設定します。(☞ 66 ページ)
- 設定したユーザーボタンを押すたびに、[OK] マークの付加、削除を繰り返します。
- OK マークが付加されている場合は、ビューファインダー/LCD モニターのステータス画面の左上に “OK” と表示されます。(☞ 56、82 ページ)



ステータス 1 画面

メモ：

- [OK Mark] を付加したクリップは、本機の [Delete Clip] (クリップの削除) では削除ができなくなります。ただし、SDHC/SDXC カードをフォーマットすると削除されます。
- メディアモードでは、記録中に付加した [OK] マークを削除したり、撮影後に [OK] マークを付加・削除することができます。(☞ 56 ページ [OK マークの付加と削除])
- SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチがセットされている (🔒 が表示) 場合は [OK] マークの付加・削除はできません。

クリップを任意のタイミングで分割する (クリップカッター記録)

適用：カメラモード

撮影中に記録を停止させることなく、任意のタイミングでクリップを分割することができます。

1 いずれかのユーザーボタンに “Clip Cutter Trig” 機能を割り付ける

[Main Menu]→[Camera Function]→[Switch Set]→[USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6] のいずれかを “Clip Cutter Trig” に設定します。(☞ 66 ページ)

2 記録中に “Clip Cutter Trig” 機能を割り付けたユーザーボタンを押す

[CLIP CUT] と表示され、クリップが分割されます。



ステータス 1 画面

メモ：

- クリップ分割をしてから数秒間は、クリップ分割操作ができません。
- [Slot Mode] が “Backup” に設定時は使用できません。(☞ 64 ページ)
- [Rec Mode] が “Normal”、“Pre Rec” 以外に設定時は使用できません。(☞ 64 ページ)
- 分割したクリップ間に、映像・音声の途切れはなく、シームレスに記録されます。

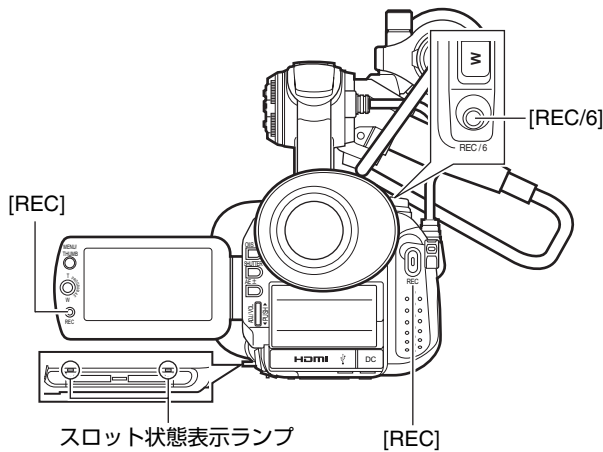
デュアルレック

適用：カメラモード

工場出荷状態 ([Slot Mode] が “Series”) では、両スロットに記録可能なカードが挿入されている場合、[REC] ボタンを押すと、選択されているスロットに挿入されているメディアのみ記録が開始されます。そのメディアの容量がいっぱいになると、もう一方のスロットがアクティブとなり記録を継続することができます。

デュアルレックモード ([Slot Mode] が “Dual”) では、両スロットに記録可能なカードが挿入されている場合、[REC] ボタンを押すと、両スロットのメディアへ同時に記録が開始されます。

両スロットに記録されたクリップは同じものとなり、本機のみで同一内容のクリップを2つ同時に作成することが可能です。(64 ページ [Slot Mode])

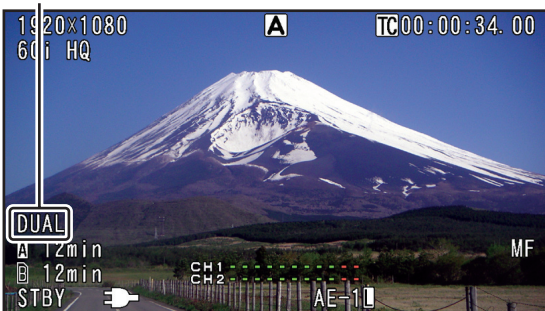


デュアルレックモードに設定する

1 [Main Menu]→[Record Set] メニューの [Slot Mode] 項目を “Dual” に設定する (64 ページ)

ステータス表示画面に “DUAL” と表示されます。

“DUAL” 表示

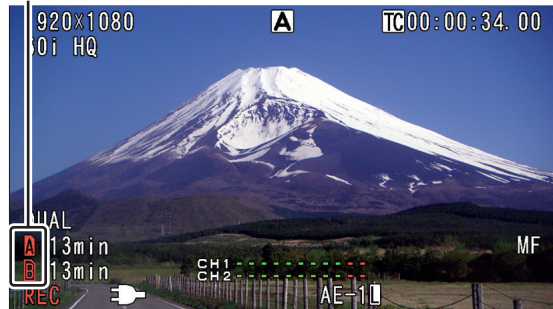


ステータス 1 画面

2 記録を開始する

- 両スロットへ記録可能なメディアを挿入して、いずれかの [REC] ボタンを押します。
- デュアルレックモードで両スロットへのメディアへ同時に記録が開始されます。
- 両カードスロットマークが赤色となり、両カードスロット状態表示ランプが緑色に点滅します。

赤色点灯

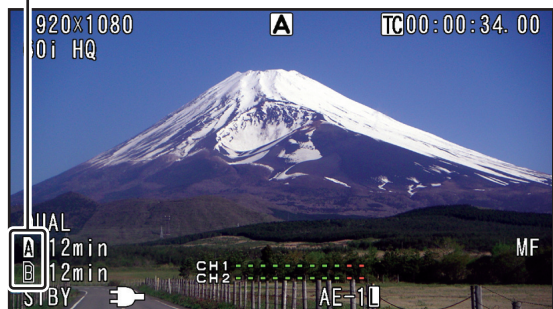


ステータス 1 画面

3 記録を停止する

- 再度 [REC] ボタンを押します。
- 両スロットとも記録が停止し、両カードスロットマークが白色に戻ります。
- 両メディアには同じクリップが記録されます。

白色



ステータス 1 画面

メモ：

- 記録残量が異なるカードがそれぞれのスロットへ挿入されており、デュアルレックモードで記録中、片方のカードの容量がいっぱいになると、両スロットとも自動的に記録を停止します。記録停止後、残量のあるカードへは自動的に記録を再開します。この場合、クリップは別々になりますが、シームレスに記録されますので、編集ソフトウェアのタイムラインに並べると途切れなく繋がります。
- 最後に記録されたクリップの異なるカードが両スロットへそれぞれ挿入されているとき、タイムコードの動作モードが “Regen” の場合、選択されているカードスロットに対して、Regen モードで次の記録が有効となります。

ご注意：

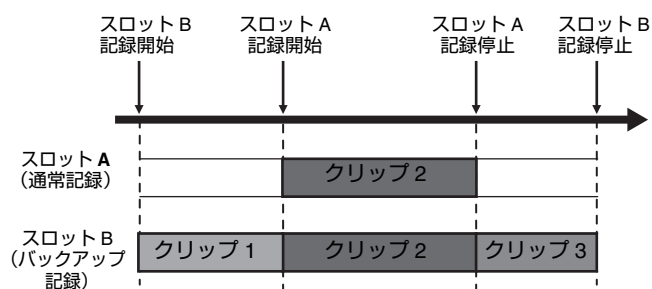
- デュアルレックモードで記録する場合、同じ容量のメディアで、かつフォーマットされた状態から記録を開始することをおすすめします。
- デュアルレックモードは、特殊記録モードと併用できます。デュアルレックモード時でも、[Rec Mode] を “Normal”、“Pre Rec”、“Clip Continuous”、“Frame Rec”、“Interval Rec” から選択することができます。
(☞ 45 ページ [特殊記録について])
(☞ 64 ページ [Rec Mode])
- 両スロットに記録可能なメディアが挿入されている場合、デュアルレック (同時記録) が可能です。片方のスロットのみに記録可能なメディアが挿入されているときは、1 枚でも記録を開始できます。
- デュアルレックモード時、スロットをまたいでの連続記録はできません。片方のスロットで記録開始後、もう片方のスロットへ記録可能なメディアが挿入されていても連続記録できません。
- デュアルレックモードに設定時、片方のスロットでのみ記録している場合、途中でもう一方のスロットへ記録可能なメディアを挿入してもデュアルレックできません。デュアルレックしたい場合は、一旦記録停止後 (クリップコンティニュアスレックの記録一時停止は含まず)、記録を開始してください。
- デュアルレックモードで記録中、どちらか一方のカードを誤って抜いた場合でも、もう一方のスロットカードは継続して記録します。ただし、誤って抜いてしまったカードは修復機能で修復できない場合があります。
- デュアルレックモードで記録中にどちらか一方のカードで記録エラーが発生した場合、そのスロットの記録は停止しますが、もう一方のスロットカードは継続して記録します。
- デュアルレックモードで記録したクリップをメディアモードでクリップ削除や OK マーク付加などの操作を行う場合、選択されているスロットのカードのみ操作できます。

バックアップレック

適用：カメラモード

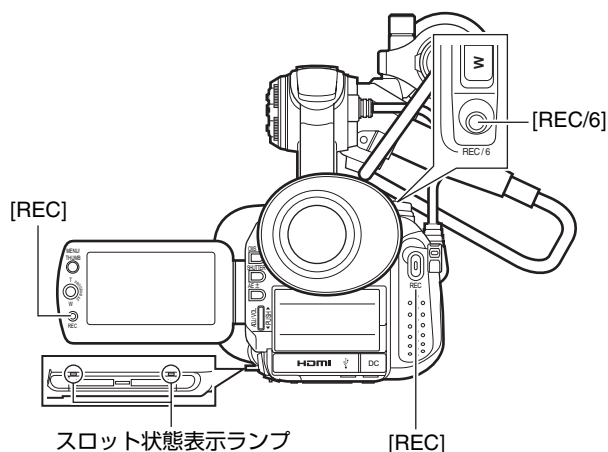
バックアップレックモードでは、[REC] ボタンとは独立してスロット B の記録開始/停止を制御することによって、スロット B のメディアをバックアップ記録として動作させることができます。

[Main Menu]→[Record Set]→[Backup Rec] 項目、または “Backup Trig” を割り当てたユーザーボタンで記録の開始、停止を行えます。(☞ 64、66 ページ)



メモ：

- バックアップレックモード ([Slot Mode] が “Backup”) では、2 つのスロットへ個別のタイミングで記録制御ができ、本機のみでバックアップ記録が可能です。
(☞ 64 ページ [Slot Mode])
- 撮影開始からスロット B は常時記録状態 (バックアップ記録) にしておき、スロット A は [REC] ボタンで必要なシーンだけ記録・停止を繰り返して撮影することによって、記録停止中に大事なシーンを撮り逃す心配がなくなります。
- スロット B には大容量メディアを使用することをお勧めします。

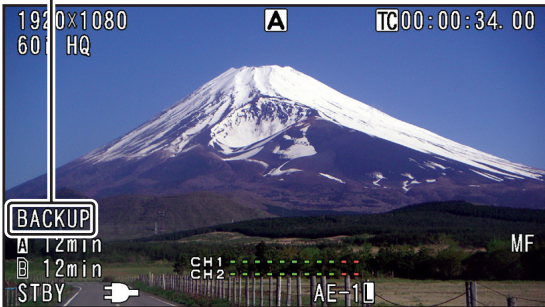


バックアップレック (つづき)

1 [Main Menu]→[Record Set] メニューの [Slot Mode] 項目を “Backup” に設定する (☞ 64 ページ)

ステータス表示画面に “BACKUP” と表示されます。

“BACKUP” 表示



ステータス 1 画面

2 バックアップ記録を開始する (スロット B でバックアップ記録)

- [Main Menu]→[Record Set]→[Backup Rec]項目で [REC] を選択し、セットレバー中央を押します。(☞ 64 ページ) (“Backup Trig” を割り当てたユーザーボタンでも行えます。(☞ 66 ページ))
- バックアップ記録が開始され、スロット B への記録が開始されます。(“BACKUP” の文字が赤く表示されます。)
- スロット B マークが赤色 (選択されている状態) となり、スロット B 状態表示ランプが緑色に点滅します。



3 通常記録を開始する (スロット A で通常記録)

- いずれかの [REC] ボタンを押します。
- スロット A のメディアに記録が開始されます。(“REC” の文字が赤く表示されます。)
- スロット A のカードアイコンが赤色 (選択されていない状態) となり、スロット A の状態表示ランプが緑色に点滅します。

赤色 (選択されていない状態)



4 通常記録を停止する

- 再度いずれかの [REC] ボタンを押します。
- スロット A の記録が停止し、スロット A のカードスロットマークが白色 (選択されていない状態) に戻ります。
- “REC” (赤) から “STBY” (白) に戻ります。
- スロット A 状態表示ランプが消灯します。

白色 (選択されていない状態)



5 バックアップ記録を停止する

- [Main Menu]→[Record Set]→[Backup Rec]項目で [STBY] を選択し、セットレバー中央を押します。(☞ 64 ページ) (“Backup Trig” または “Rec Stop” を割り当てたユーザーボタンでも行えます。(☞ 66 ページ))
- スロット B の記録が停止し、スロット B のカードスロットマークが白色 (選択されている状態) に戻ります。
- “BACKUP” の文字が白色に戻ります。
- スロット B 状態表示ランプが緑色に点灯します。

白色



メモ :

- バックアップ記録中、片方のカードの容量がいっぱいになると、いっぱいになったカードの記録のみ停止します。
- 両スロットともに記録停止中の場合、記録開始したカードスロットに対して Regen モードでの記録が有効となります。
- 片方のスロットで記録中にもう片方のスロットで記録を開始した場合、記録中のメディアのクリップは分割され、もう片方のメディアと同時に記録が開始されます。
- スロット A/ スロット B とも記録中に、どちらかの記録を停止させると、記録継続中のスロットのクリップが分割されます。
- 記録途中でクリップが分割された場合、クリップは別々になりますが、シームレスに記録されますので、編集ソフトウェアのタイムラインに並べると途切れなく繋がります。
- バックアップ記録中、クリップカッター記録はできません。(☞ 41 ページ)
- [Slot Mode] を “Backup” に設定時、[Rec Mode] を “Normal” 以外に設定できません。(☞ 64 ページ)

特殊記録について

適用：カメラモード

通常の記録モードのほかに、プリレック、クリップコンティニユアスレック、フレームレック、インターバルレックの4つの特殊な記録方法があります。

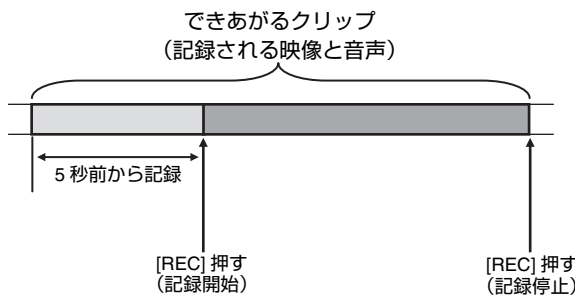
[Record Set] メニューの [Rec Mode] で各モードを選択してください。

※ [Main Menu]→[Record Set]→[Rec Mode] 項目で設定します。
(☞ 64 ページ)

プリレック

記録待機状態 (STBY **P**) から記録を開始するときに、記録開始の約5秒前から記録が可能です。

プリレックを使うことによって、記録開始操作が遅れてしまっても冒頭が欠けることなく記録することができます。



1 [Rec Mode] 項目を“Pre Rec”に設定する (☞ 64 ページ)

- [Main Menu]→[Record Set]→[Rec Mode]項目を“Pre Rec”に設定します。
- ステータス表示が“STBY”→“STBY **P**”に変わります。

2 [REC] ボタンを押すとプリレックモードで記録が開始される

- ステータス表示が“STBY **P**”→“REC **P**”に変わり、カードスロット状態表示ランプが緑色に点滅します。
- 再度 [REC] ボタンを押すと記録を一時停止し、“REC **P**”→“STBY **P**”表示に変わり、カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。

ご注意：

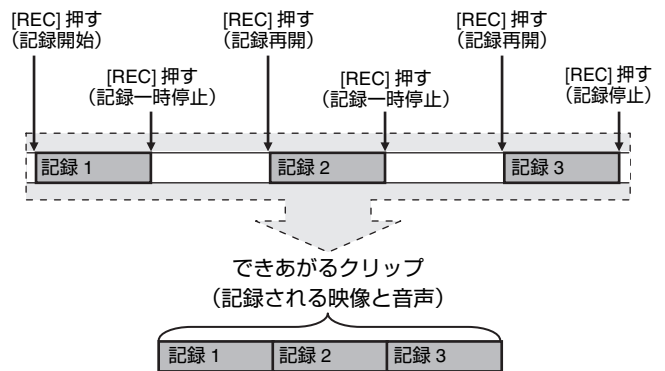
- 記録開始から記録終了までの時間が短い場合、記録終了してもすぐに“STBY **P**”表示にならない場合があります。“REC **P**”→“STBY **P**” (STBY が赤く点滅) →“STBY **P**”が表示。
- 記録中に記録 SDHC/SDXC カード残量がなくなった場合は記録を停止し、“STOP”表示になります。
- 以下の場合は、記録を開始しても上記記載時間前の映像と音声記録できない場合があります。
 - ・ 電源投入直後
 - ・ 記録停止直後
 - ・ メディアモードからカメラモードへの切り換え直後
 - ・ [Rec Mode] 項目の設定をした直後
 - ・ クリップレビュー終了直後
 - ・ ファイルフォーマットを変更した直後
 - ・ ビデオフォーマットを変更した直後

クリップコンティニユアスレック

通常記録では、記録を停止すると記録開始から記録停止までの画像・音声とそれに付随するデータが、ひとつの“クリップ”として SDHC/SDXC カードに記録されます。

このモードでは、“記録開始から記録停止まで”を数回分まとめてひとつのクリップにすることができます。

例) 通常記録では、記録1、記録2、記録3と、3つのクリップが生成されますが、このモードで記録するとひとつのクリップになります。



1 [Rec Mode] 項目を“Clip Continuous”に設定する

- [Main Menu]→[Record Set]→[Rec Mode]項目を“Clip Continuous”に設定します。(☞ 64 ページ)
- ステータス表示が“STBY”→“STBY **C**”に変わります。

2 記録を開始する (記録1)

- [REC] ボタンを押すとクリップコンティニユアスモードで記録が開始されます。
- ステータス表示が“STBY **C**”→“REC **C**”に変わり、カードスロット状態表示ランプが緑色に点滅します。

3 記録を一時停止する

- 再度 [REC] ボタンを押すと記録が一時停止し、“REC **C**”→“STBY **C**” (黄色文字) 表示に変わります。
- カードスロット状態表示ランプは緑色に点滅のままです。

メモ：

- 一時停止の状態 (STBY **C**) で“Rec Stop”機能を割り付けたユーザーボタンを押した場合、“STBY **C**” (黄色文字) →“STBY **C**” (黄色文字点滅) →“STBY **C**” (白文字) 表示となり、“クリップ”を生成します。カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。(☞ 19 ページ)

特殊記録について (つづき)

クリップコンティニユアスレック (つづき)

4 記録を再開する (記録 2)

- 再度 [REC] ボタンを押すと、記録が再開され “STBY \square ” (黄色文字) → “REC \square ” 表示に変わります。
- カードスロット状態表示ランプは緑色に点滅のままです。

5 記録を一時停止する

- 再度 [REC] ボタンを押すと記録が一時停止し、“REC \square ” → “STBY \square ” (黄色文字) 表示に変わります。
- カードスロット状態表示ランプは緑色に点滅のままです。

6 記録を再開する (記録 3)

- 再度 [REC] ボタンを押すと、記録が再開され “STBY \square ” (黄色文字) → “REC \square ” 表示に変わります。
- カードスロット状態表示ランプは緑色に点滅のままです。

7 [REC] ボタンを長押し、または “Rec Stop” を割り当てたユーザーボタンを押し、記録を停止する (☞ 19 ページ)

- 記録が停止され “REC \square ” → “STBY \square ” 表示になり “クリップ” が生成されます。
- カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。

8 再度 [REC] ボタン押す

- ステータス表示が “STBY \square ” → “REC \square ” に変わり、カードスロット状態表示ランプが緑色に点滅します。
- これ以降は新しい “クリップ” となります。

メモ:

- 記録一時停止 (STBY \square 、黄色文字) 中は、下記操作はできません。
 - ・ クリップレビュー動作 (☞ 28 ページ)
 - ・ SDHC/SDXC カードスロットの切り換え
 - ・ 動作モードの切り換え (☞ 13 ページ)

ご注意:

- 記録中 (REC \square ・赤文字) または記録一時停止中 (STBY \square 、黄色文字) は SDHC/SDXC カードを抜かないでください。
- “Clip Continuous” モード中に SDHC/SDXC カードを抜く場合は、“Rec Stop” 機能を割り付けたユーザーボタンを押すか、[REC] ボタンを長押しし、“STBY \square ” (白文字) の表示および、カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯することを確認した後に抜いてください。
- 記録中に記録 SDHC/SDXC カード残量がなくなった場合は記録を停止し、“STOP” 表示になります。
- 記録中または記録一時停止中に電源を切った場合、記録が停止してクリップが生成されたあと、電源が切れます。
- バッテリーの残量低下によって電源が切れた場合、クリップがきちんと生成されないことがあります。

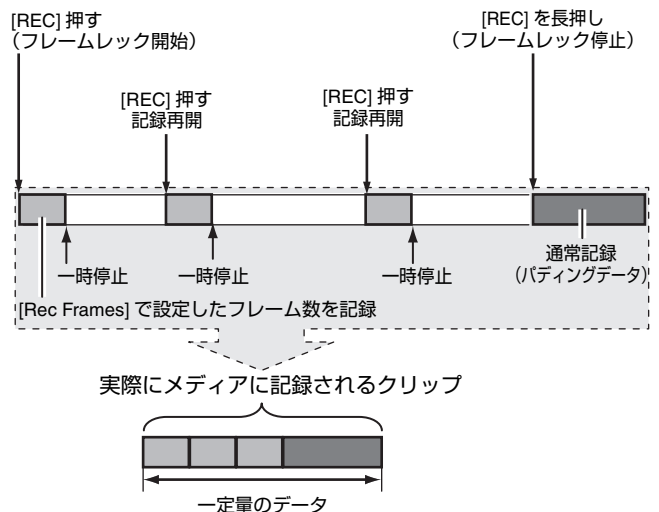
フレームレック

通常記録では、記録を停止すると記録開始から記録停止までの画像とそれに付随するデータが、ひとつの “クリップ” として SDHC/SDXC カードに記録されます。

このモードでは、[REC] を押すたびに記録が開始され、記録は設定したフレーム数だけ行われます。記録停止操作を行うまでをひとつのクリップとしてメディアに書き込むことができます。

メモ:

- 音声は記録されません。
- 一定量の記録が蓄積されるまで、メディアには書き込みできません。
- 記録停止操作時、一定量に達していないと、一定量に達するまで通常記録が行われ、クリップの最後に映像が挿入されます。(パディング)
- 記録フレームが一定量に達し、メディアに書き込みされたあと、また一定量に達するまでの記録が蓄積されます。



1 [Rec Mode] 項目を “Frame Rec” に設定する

- [Main Menu] → [Record Set] → [Rec Mode] 項目を “Frame Rec” に設定します。(☞ 64 ページ)
- ステータス表示が “STBY” → “STBY \square ” に変わります。

2 [Rec Frames] 項目で、記録するフレーム数を設定する

[Main Menu] → [Record Set] → [Rec Frames] 項目で設定します。(☞ 64 ページ)

3 記録を開始する

- [REC] ボタンを押すと [Rec Frames] 項目設定したフレーム数だけ記録され、一時停止となります。
- ステータス表示は “STBY \square ” → “REC \square ” → “STBY \square ” (黄色) と変わります。
- カードスロット状態表示ランプが緑色に点滅します。

4 フレームレックを繰り返す

- 再度[REC]ボタンを押すと[Rec Frames]項目で設定したフレーム数だけ記録され、一時停止となります。
- ステータス表示は“STBY \blacksquare ”→“REC \blacksquare ”→“STBY \blacksquare ”（黄色）と変わります。
- 記録停止操作（手順 5）を行うまで、フレームレックは継続されます。

5 [REC] ボタンを長押し、または“Rec Stop”を割り当てたユーザーボタンを押し、記録を停止する（[p.19](#) ページ）

- カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。

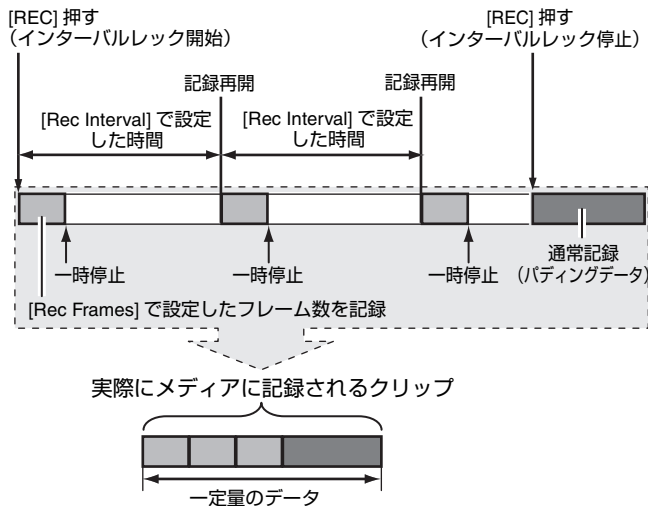
インターバルレック

通常記録では、記録を停止すると記録開始から記録停止までの画像とそれに付随するデータが、ひとつの“クリップ”として SDHC/SDXC カードに記録されます。

このモードでは、記録、一時停止を設定した時間間隔で繰り返します。記録は設定したフレーム数だけ行われます。記録停止操作を行なうまでをひとつのクリップとしてメディアに書き込むことができます。

メモ：

- 音声は記録されません。
- 一定量の記録が蓄積されるまで、メディアには書き込みされません。
- メディアに書き込みされたあと、また一定量に達するまでの記録が蓄積されます。
- 記録停止時には、この一定量に達するまで通常記録が行われ、クリップの最後に映像が挿入されます。（パディング）



1 [Rec Mode] 項目を“Interval Rec”に設定する

- [Main Menu]→[Record Set]→[Rec Mode] 項目を“Interval Rec”に設定します。（[p.64](#) ページ）
- ステータス表示が“STBY \blacksquare ”→“STBY \blacksquare ”に変わります。

2 [Rec Frames] 項目で、記録するフレーム数を設定する

[Main Menu]→[Record Set]→[Rec Frames] 項目で設定します。（[p.64](#) ページ）

3 [Rec Interval] 項目で、記録を開始する時間の間隔を設定する

[Main Menu]→[Record Set]→[Rec Interval] 項目で設定します。（[p.64](#) ページ）

4 記録を開始する

- [REC]ボタンを押すと[Rec Frames]項目設定したフレーム数だけ記録され、一時停止となります。
- [Rec Interval] 項目で設定した時間経過すると、記録が再開され、[Rec Frames] 項目設定したフレーム数だけ記録され、一時停止となります。
- 記録停止操作が行われるまで、繰り返します。
- ステータス表示は“STBY \blacksquare ”→“REC \blacksquare ”→“STBY \blacksquare ”（赤色）→“REC \blacksquare ”→“STBY \blacksquare ”（赤色）…と変わります。
- カードスロット状態表示ランプが緑色に点滅します。

5 [REC] ボタンを押す、または“Rec Stop”を割り当てたユーザーボタンを押し、記録を停止する

- カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。
- ステータス表示は、“STBY \blacksquare ”となります。

記録したクリップの再生

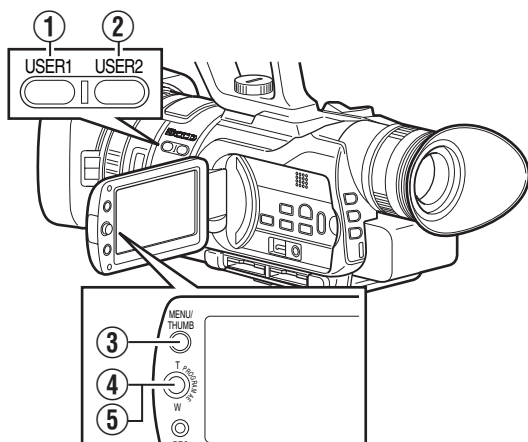
SDHC/SDXC カードに記録したクリップを再生するには、メディアモードに切換えます。カメラモード時に [CAM/MEDIA] スイッチを 1 秒以上 “CAM/MEDIA” の位置へ固定すると、本機はメディアモードとなり、SDHC/SDXC カードに収録されているクリップがサムネイル（縮小画）画面に表示されます。サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。

メモ：

- クリップが収録されていない SDHC/SDXC カードを入れた場合、“No Clips” と表示されます。

操作ボタン

サムネイル画面での操作は、本機側面操作パネル部の操作ボタンを使用します。



名称	説明
① [USER1] ボタン	選択されているクリップに OK マークを付加（または削除）します。
② [USER2] ボタン	選択しているクリップを削除します。
③ [MENU/THUMB] ボタン	サムネイル画面のメニューを表示します。メニュー表示中に押すとメニュー画面をとじ、通常画面に戻ります。
④ セットレバーの中央を押す	数値、項目を設定します。（決定） 選択したクリップを再生します。
⑤ セットレバーを上 下左右方向に押す （▲▼◀▶）	▲：カーソルを上に移動します。 ▼：カーソルを下に移動します。 ◀：前の項目に移動、戻ります。 ▶：次の項目に移動、進みます。 （サブメニューに入り、ポップアップメニューを表示する。）

サムネイル（縮小画）画面から再生する

準備：SDHC/SDXC カードを入れ、カードスロットを選ぶ。

1 再生したい映像フォーマットを変更する

メニュー設定 (☰ 63 ページ)

- [File Format] : 録画ファイル形式を選択する。
- [Camera Resolution] : 画像サイズを選択する。
- [Frame & Bit Rate] : フレームレートおよびビットレートを
選択する。

2 メディアモードにする

- サムネイル（縮小画）画面が表示されます。
- 現在の映像フォーマットで再生できるクリップがサムネイル表示されています。



1 クリップを選択する

セットレバーを上、下、左、右方向に押して、カーソルを再生したいサムネイルに移動させます。



2 クリップを再生する

- セットレバーの中央を押します。
- 選択したクリップが再生されます。



■再生時のモードを変える

再生時のモード変更は、セットレバーの操作で行います。



再生時 (▶)	
➡ 右に押す	フォワードサーチ 押すごとにスピードが変わります。 (2ステップ)
⬅ 左に押す	リバースサーチ 押すごとにスピードが変わります。 (2ステップ)
⬆ 上に押す	<ul style="list-style-type: none"> ● クリップの先頭から再生 ● 連続操作で、前のクリップの先頭から再生
⬇ 下に押す	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のクリップの先頭から再生 ● 最終クリップの場合は、クリップの最後で再生一時停止
中央を押す	再生一時停止

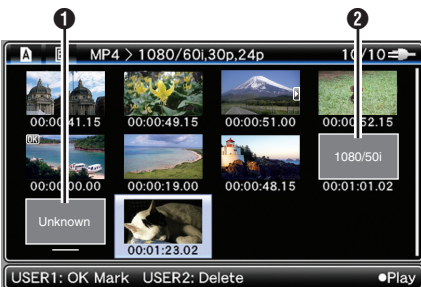
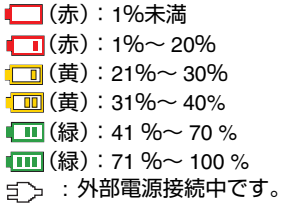
再生一時停止時 (⏸)	
➡ 右に押す	コマ送り
⬅ 左に押す	コマ戻し
⬆ 上に押す	<ul style="list-style-type: none"> ● クリップの先頭で再生一時停止 ● 連続操作で、前のクリップの先頭で一時停止
⬇ 下に押す	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のクリップの先頭で再生一時停止 ● 最終クリップの場合は、クリップの最後で再生一時停止
中央を押す	再生


フォワードサーチ時 (▶▶)	
➡ 右に押す	押すごとにサーチスピードが変わります。 (2ステップ)
⬅ 左に押す	リバースサーチ
⬆ 上に押す	クリップの先頭から再生
⬇ 下に押す	次のクリップの先頭から再生
中央を押す	再生

リバースサーチ時 (◀◀)	
➡ 右に押す	フォワードサーチ
⬅ 左に押す	押すごとにサーチスピードが変わります。 (2ステップ)
⬆ 上に押す	クリップの先頭から再生
⬇ 下に押す	次のクリップの先頭から再生
中央を押す	再生

メモ：

- コマ戻しした場合、フレームが飛ぶことがあります。
- SD 記録したクリップを再生一時停止した場合、映像がぶれることがあります。

名称	説明
④ ビデオフォーマット (つづき)	 <p>① 管理情報が壊れているクリップです。再生ボタンを押しても再生できません。</p> <p>② 現在のビデオフォーマット設定ではサムネイルの表示および再生ができないクリップです。再生ボタンを押しても再生できません。クリップのフォーマットを表す文字が表示されます。</p> <p>※ [Main Menu]画面の[Record Set]→[Record Format]→[System Definition]項目、[Camera Resolution]項目、[Frame & Bit Rate]項目の設定に依存します。(☞ 63 ページ)</p>
⑤ クリップ数	表示対象となっているクリップの [通し番号 / トータルクリップ数] を表示します。
⑥ バッテリー残量表示	 <p>☞ : 外部電源接続中です。</p>
⑦ スクロールバー	スクロール位置をあらわします。スクロールバー (白い部分) の下に黒いスペースがある場合、続きのページがあります。スクロールバー (白い部分) が下まできたら、最終ページです。
⑧ サムネイルテキスト	クリップ記録開始のタイムコードまたは日時を表示します。日時は撮影した場所のローカル時間で表示されます。サムネイルメニュー [Thumbnail Text] で “TC”、“Date/Time” どちらを表示するか設定します。(☞ 53 ページ) 日時の表示は、[Main Menu]画面の [LCD/VF]→[Status Display]→[Date Style]項目の設定に依存します。(☞ 72 ページ) ただし、時間は [Time Style]項目の設定に依存せず必ず 24 時間表示となります。

名称	説明
⑨ クリップマーク	<p>クリップの情報 (プロパティ) が表示されます。</p>  <p>① OK マーク クリップに OK マークがついています。 メモ: _____ ● OK マークの付いたクリップは本機では削除できません。</p> <p>② 続きマーク 複数の SDHC/SDXC カードに分割されて記録された場合、別の SDHC/SDXC カードから続くクリップであることをあらわします。</p> <p>③ 続くマーク 複数の SDHC/SDXC カードに分割されて記録された場合、別の SDHC/SDXC カードへ続くクリップであることをあらわします。</p>
⑩ 操作ガイド	現在操作できるボタンの操作ガイドです。
●Play	選択したクリップを再生します。
USER1: OK Mark	<p>選択したクリップに OK マークが付いていない場合、OK マークを付加、OK マークが付いているときは OK マークを削除します。(☞ 56 ページ)</p> <p>メモ: _____</p> <p>● SDHC/SDXC カードがロックされている場合、無効となります。(グレー表示)</p>
USER2: Delete	<p>選択しているクリップを削除します。(☞ 54 ページ)</p> <p>メモ: _____</p> <p>● SDHC/SDXC カードがロックされている場合、無効となります。(グレー表示)</p>

記録したクリップの再生 (つづき)

■詳細プロパティあり (4x1 サムネイル) 画面



名称	説明
① カーソル	<p>選択されているクリップです。セットレバー (◀▶) で移動します。</p> <p>電源入力後、SDHC/SDXC カード挿入後、またはメディアモードに切り換わったときのカーソル位置は最新のクリップ上にあります。</p> <p>再生途中にサムネイルメイン画面に移行したとき、カーソルの位置は再生していたクリップにあります。その後、再び同じクリップを再生すると、続きから再生されます。</p> <p>SDHC/SDXC カードスロットを切り換えたときのカーソル初期位置は、SDHC/SDXC カードを入れ換えていなければ前回選択されていたクリップを示します。</p> <p>■ カーソル移動順の例 (クリップ総数 6 の場合)</p>
② スクロールバー	<p>スクロール位置をあらわします。</p> <p>スクロールバー (白い部分) の右に黒いスペースがある場合、続きのページがあります。</p> <p>スクロールバー (白い部分) が右端まできたら最終ページです。</p>

名称	説明														
③ 詳細プロパティ	<p>選択されているクリップの詳細プロパティです。表示内容は下記です。</p> <p>Clip Name : クリップ名 Record Format : 映像サイズ、フレームレート、ビットレート Rec Mode : 特殊記録モードのときのみ表示 (通常の記録モード以外) TC : 記録を開始したとき、終了したときのタイムコード Duration : クリップの長さ Creation Date : 作成日時</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成日時は、年、月、日、時、分、秒、タイムゾーンの順に表示します。 年、月、日の区切りは“-”、時、分、秒の区切りは“.”、日付と時間の区切りは“T”です。 タイムゾーンを“UTC+00:00”に設定した場合、現在時刻の最後に“Z”と表示されます。(表示例) <p>2011年6月24日21時18分50秒、 “UTC+09:00” (日本標準時) のとき: “2011-06-24T21:18:50+09:00”</p> <p>2011年6月24日21時18分50秒、 “UTC+00:00” (西ヨーロッパ標準時) のとき: “2011-06-24T21:18:50Z”</p>														
④ 操作ガイド	<p>現在操作できるボタンの操作ガイドです。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>●Play</td> <td>選択したクリップを再生します。</td> </tr> <tr> <td>USER1: OK Mark</td> <td>選択したクリップに OK マークが付いていない場合、OK マークを付加、OK マークが付いているときは OK マークを削除します。(☞ 56 ページ)</td> </tr> <tr> <td>MEMO:</td> <td>MEMO: _____</td> </tr> <tr> <td></td> <td>● SDHC/SDXC カードがロックされている場合、無効となります。(グレー表示)</td> </tr> <tr> <td>USER2: Delete</td> <td>選択しているクリップを削除します。(☞ 54 ページ)</td> </tr> <tr> <td>MEMO:</td> <td>MEMO: _____</td> </tr> <tr> <td></td> <td>● SDHC/SDXC カードがロックされている場合、無効となります。(グレー表示)</td> </tr> </tbody> </table>	●Play	選択したクリップを再生します。	USER1: OK Mark	選択したクリップに OK マークが付いていない場合、OK マークを付加、OK マークが付いているときは OK マークを削除します。(☞ 56 ページ)	MEMO:	MEMO: _____		● SDHC/SDXC カードがロックされている場合、無効となります。(グレー表示)	USER2: Delete	選択しているクリップを削除します。(☞ 54 ページ)	MEMO:	MEMO: _____		● SDHC/SDXC カードがロックされている場合、無効となります。(グレー表示)
●Play	選択したクリップを再生します。														
USER1: OK Mark	選択したクリップに OK マークが付いていない場合、OK マークを付加、OK マークが付いているときは OK マークを削除します。(☞ 56 ページ)														
MEMO:	MEMO: _____														
	● SDHC/SDXC カードがロックされている場合、無効となります。(グレー表示)														
USER2: Delete	選択しているクリップを削除します。(☞ 54 ページ)														
MEMO:	MEMO: _____														
	● SDHC/SDXC カードがロックされている場合、無効となります。(グレー表示)														

サムネイルメニュー

サムネイル表示中に [MENU/THUMB] ボタンを押すと、サムネイルメニューが表示されます。
メニュー表示中に、[MENU/THUMB] ボタンを押すと、設定をキャンセルし、メニュー画面を終了します。

サムネイルメニュー

サブメニュー

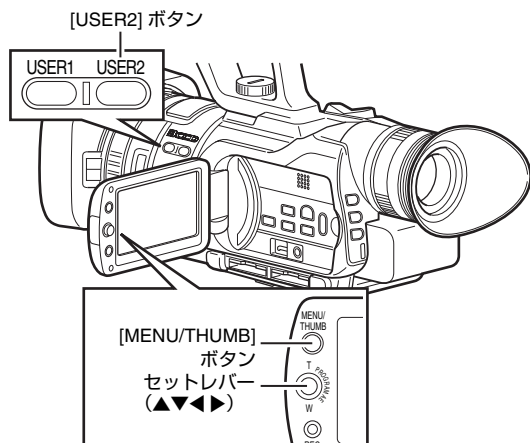


サムネイルメニュー画面

項目	機能
Media info	SDHC/SDXC カードの情報画面が表示されます。
Detailed Properties	サムネイル画面の表示方法を選択します。 チェックをつけると、サムネイル画面は、[詳細プロパティあり (4x1 サムネイル) 画面] 表示となります。(☞ 52 ページ)
Thumbnail Text...	サムネイル画面に表示される、サムネイルテキストの表示方法を選択します。
TC	サムネイルテキスト表示部 (サムネイルの下) に記録開始タイムコードを表示します。
Date/Time	サムネイルテキスト表示部 (サムネイルの下) に記録開始日時を表示します。
Delete Clip...	クリップの削除を行います。(☞ 54 ページ) メモ： ● [Delete Clip] 項目は “No Media” 表示および “No Clip” 表示の場合は選択できません。
One Clip	選択しているクリップを削除します。
All Clips	表示対象となっているクリップすべてを削除します。
Main Menu...	[Main Menu] 画面をひらきます。(☞ 62 ページ)
Exit	メニューを終了してとじます。

クリップの削除

クリップの削除を行います。



メモ：

- OK マークの付いたクリップは本機では削除できません。
- パソコン上で読み込み専用にしたクリップは、本機で削除できません。

ひとつのクリップを削除する

下記どちらかの操作で、選択されているクリップ（1つ）を削除できます。

- ① メニュー非表示中に [USER2] ボタンを押す。
- ② サムネイルメニューの[Delete Clip]→[One Clip]を実行する。

メモ：

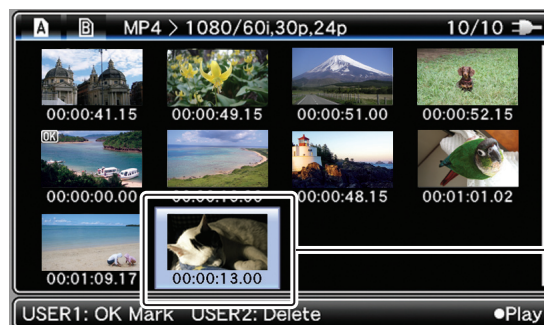
- 下記の場合、[USER2] ボタンおよびメニュー操作（[Delete Clip]→[One Clip]）によるクリップ削除はできません。
 - ・ OK マークが付加されているクリップを選んでいるとき。
 - ・ 書き込み禁止スイッチがセットされている（が表示）SDHC/SDXC カード。

■サムネイル画面時

■ [USER2] ボタンで削除する

1 削除するクリップを選択する

セットレバー（▲▼◀▶）で、削除したいクリップを選択します。

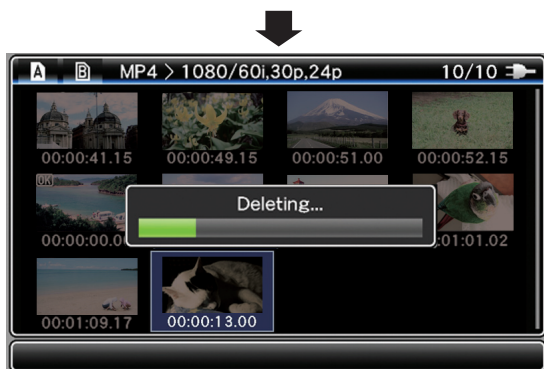
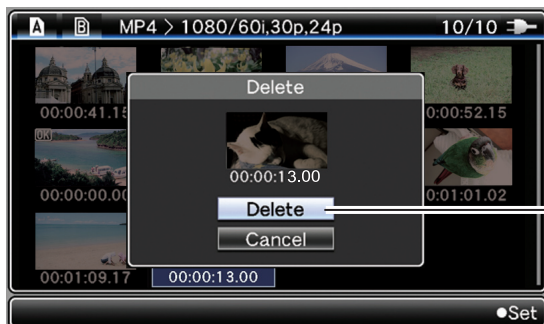


2 [USER2] ボタンを押す

削除確認画面が表示されます。

3 セットレバー（▲▼）で [Delete] を選択しセットレバーの中央を押す

削除が実行されます。



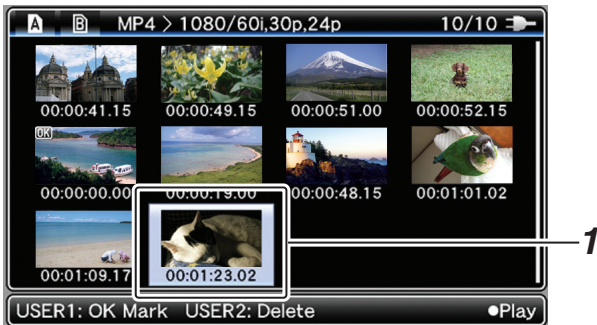
メモ：

- 削除実行中は操作できません。削除をキャンセルすることもできません。
- 削除後、カーソルは次のクリップ（存在しなければ前のクリップ）に移動します。

■ メニューの [Delete Clip]→[One Clip] で削除する

1 削除するクリップを選択する

セットレバー (▲▼◀▶) で、削除したいクリップを選択します。



2 [MENU/THUMB] ボタンを押す

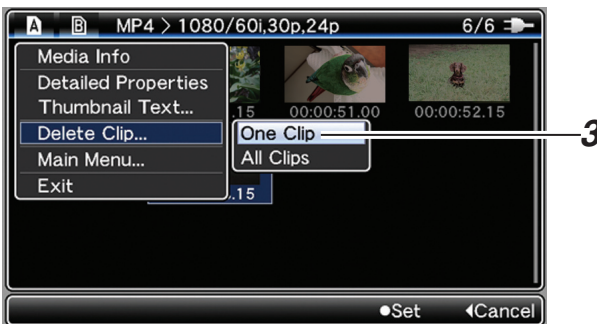
サムネイルメニュー画面が表示されます。

3 [Delete Clip]→[One Clip]項目を選択しセットレバーの中央を押す

削除確認画面が表示されます。

4 セットレバー (▲▼) で [Delete] を選択し、セットレバーの中央を押す

削除が実行されます。



メモ：

- 削除実行中は操作できません。削除をキャンセルすることもできません。
- 削除後、カーソルは次のクリップ（存在しなければ前のクリップ）に移動します。

■ 再生または一時停止画面時

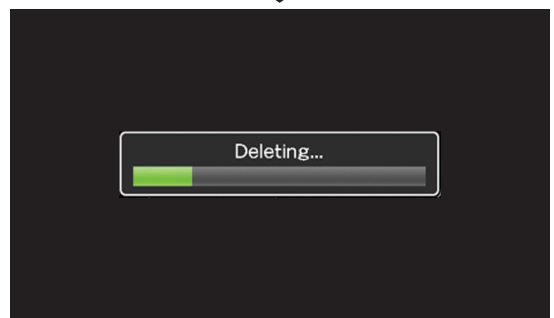
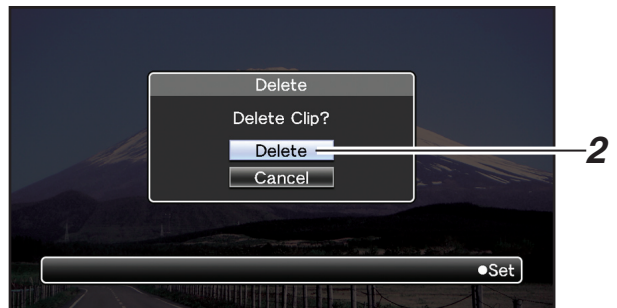
■ [USER2] ボタンで削除する

1 クリップ再生中に [USER2] ボタンを押す

削除確認画面が表示されます。

2 [Delete] を選択しセットレバーの中央を押す

削除が実行されます。



すべてのクリップを削除する

表示対象となっているクリップすべてを削除します。

1 [MENU/THUMB] ボタンを押す

サムネイルメニュー画面が表示されます。

2 メニューの [Delete Clip]→[All Clips] を選択する

削除確認画面が表示されます。

3 [Delete] を選択し、セットレバーの中央を押す

削除が実行されます。

メモ：

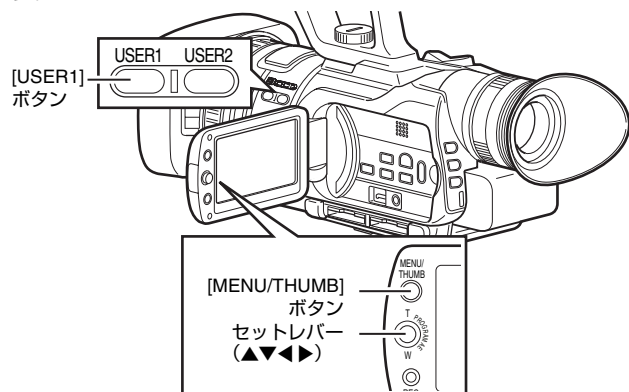
- 削除実行中にセットレバーの中央を押すと削除を停止できます。ただし、すでに削除されてしまったクリップは復元されません。
- 削除の処理時間は削除対象のクリップ数によります。

OK マークの付加と削除

重要なシーンを撮影した場合など、クリップに OK マークをつけることができます。

OK マークを付加したクリップは削除ができなくなり、重要なクリップを保護することができます。

メディアモードでは、記録中に付加したマークを削除したり、撮影後にマークを付加・削除したりすることができます。

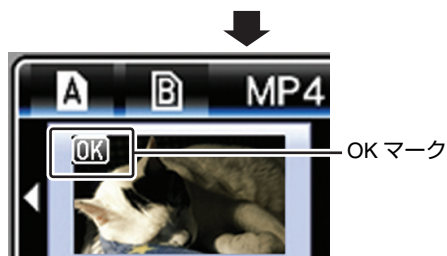


OK マークの付加

■サムネイル画面時

1 OK マークが付加されていないクリップを選択し、[USER1] ボタンを押す

OK マークが付加されます。



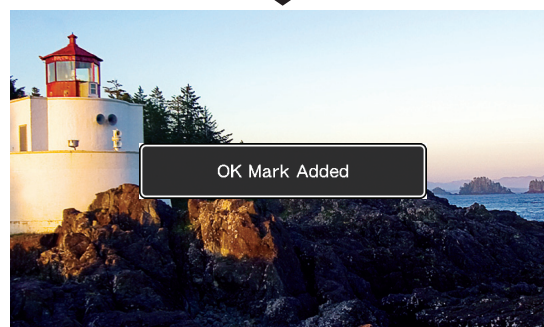
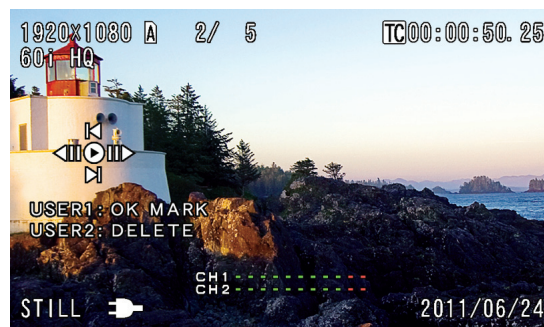
メモ：

- 書き込み禁止スイッチがセットされている（が表示）SDHC/SDXC カードの場合、[USER1] ボタンが無効（グレー表示）となり OK マークの付加はできません。
- マーク変更中は“OK Mark Added...”と表示されて他の操作ができません。

■再生または一時停止画面時

1 クリップ再生中に [USER1] ボタンを押す

OK マークが付加されます。



メモ：

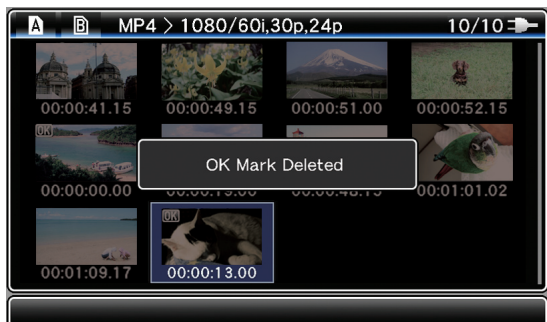
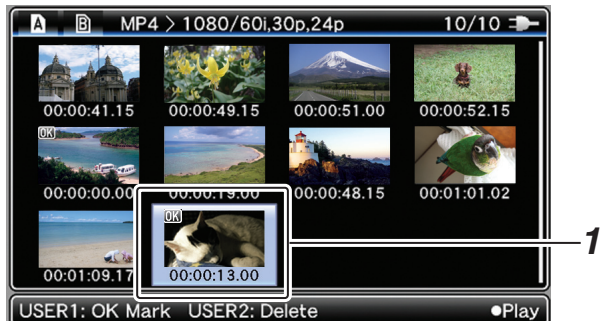
- クリップ再生中に OK マークの付加や削除を行なった場合、クリップは一時停止状態になります。

OK マークの削除

■サムネイル画面時

1 OK マークを削除するクリップを選択し、[USER1] ボタンを押す

OK マークが削除されます。



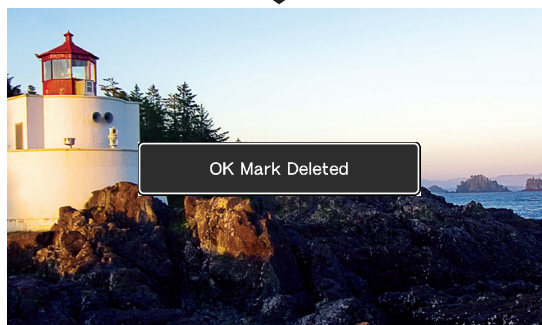
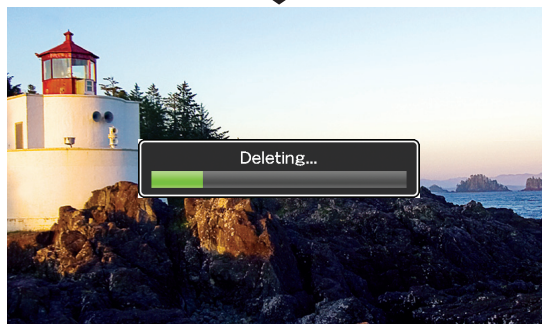
メモ:

- 書き込み禁止スイッチがセットされている (🔒 が表示) SDHC/SDXC カードの場合、[USER1] ボタンが無効 (グレー表示) となり OK マークの削除はできません。
- マーク変更中は “OK Mark Deleted...” と表示され、他の操作ができません。

■再生または一時停止画面時

1 OKマークがついたクリップの再生中に[USER1]ボタンを押す

OK マークが削除されます。



メニュー画面での基本操作

本機側面操作パネル部の [MENU/THUMB] ボタンを押すと、LCD モニターやビューファインダーにメニュー画面が表示されます。

メニュー画面では、撮影・再生などに必要なさまざまな設定を行います。

メニュー画面には、[Main Menu] 画面と [Favorites Menu] 画面の2種類があります。

[Main Menu] はカメラレコーダーすべての設定項目を機能・用途別に分類したメニューであり、[Favorites Menu] はユーザーが自由にメニュー項目をカスタマイズできるメニューです。(P.76 ページ)

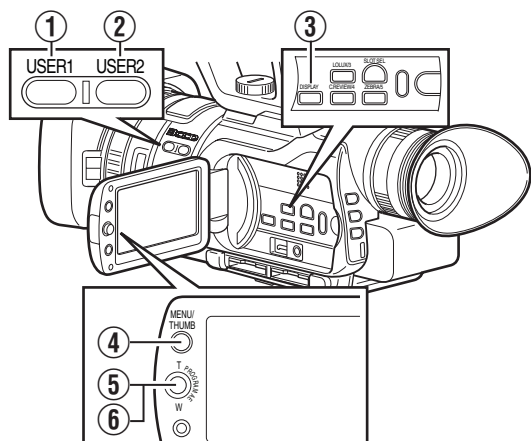
操作方法や主な画面表示に関しては、両メニュー画面とも同じです。

メモ:

- [AV Out] メニュー画面の [Display On TV] 項目が “On” のとき、映像信号出力端子のモニター映像にもメニュー画面が表示されます。(P.73 ページ)

操作ボタン

メニュー操作は、本機側面操作パネル部の操作ボタンを使用します。

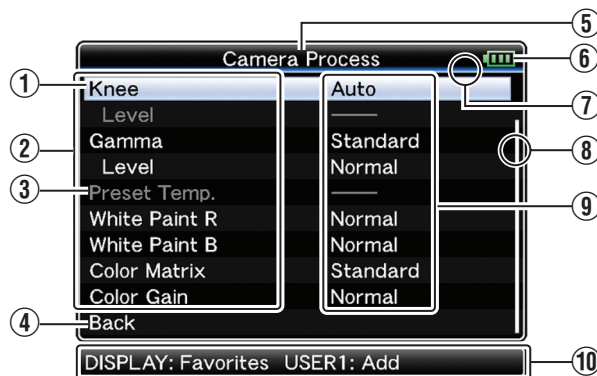


名称	説明
① [USER1] ボタン	選択しているメニュー項目またはサブメニュー項目を [Favorites Menu] に登録します。(P.76 ページ)
② [USER2] ボタン	[TC Preset]、[UB Preset] 設定画面のとき、設定をリセットします。それ以外の画面のときは無効です。
③ [DISPLAY] ボタン	[Main Menu] 画面と [Favorites Menu] 画面を切り換えます。
④ [MENU/THUMB] ボタン	メニュー画面を表示させます。 (工場出荷状態では、[Main Menu] 画面が表示されます。) 通常使用時、前回のメニュー操作が [Main Menu] で終了した場合には [Main Menu] が表示され、[Favorites Menu] で終了した場合には [Favorites Menu] が表示されます。 メニュー表示中に押すとメニュー画面をとじ、通常画面に戻ります。

名称	説明
⑤ セットレバーの中央を押す	数値、項目を設定します。(決定)
⑥ セットレバーを上下左右方向に押す (▲▼◀▶)	▲ : カーソルを上に移動します。 ▼ : カーソルを下に移動します。 ◀ : 前の項目に移動、戻ります。 ▶ : 次の項目に移動、進みます。

メニュー画面の表示と説明

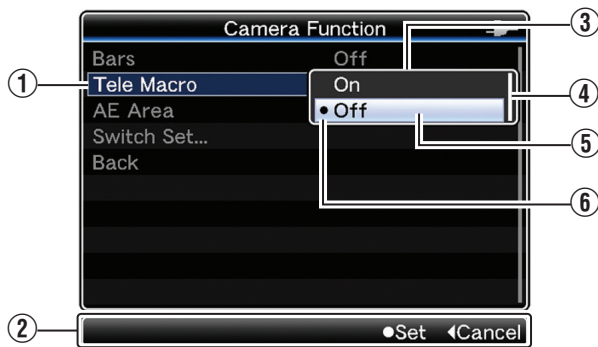
■メニュー項目選択中の画面



名称	説明
① カーソル	選択されている項目です。セットレバー (▲▼) で移動します。
② メニュー項目	メニュー項目名、サブメニュー名を表示します。 メニュー項目のあとに [...] と表示されているメニューはサブメニューがあります。
③ 変更不可項目	変更できない項目は、グレーで表示され、選択できません。
④ [Back] バック項目	[Back] を選択し、セットレバーの中央を押すと前の階層にもどります。
⑤ メニュータイトル	現在表示されているメニューのタイトルです。
⑥ バッテリー残量表示	(赤) : 1%未満 (赤) : 1%～20% (黄) : 21%～30% (黄) : 31%～40% (緑) : 41%～70% (緑) : 71%～100% 外部電源接続中です。

名称	説明
⑦ ヘッダー	ラインの色で現在のメニュー画面の種類を表します。 青 : [Main Menu] 画面 緑 : [Favorites Menu](操作画面) 赤紫 : [Favorites Menu](編集画面)
⑧ スクロールバー	スクロール位置をあらわします。
⑨ 設定値	メニュー項目の設定値です。サブメニューがあるメニューの場合は表示されません。
⑩ 操作ガイド	現在操作できるボタンの操作ガイドです。

■設定値変更中



名称	説明
① 変更中メニュー項目	これから変更しようとするメニュー項目です。ポップアップで設定値一覧③が表示されます。
② 操作ガイド	現在操作できるボタンの操作ガイドです。
③ 設定値一覧	設定可能な設定値が一覧表示されるポップアップです。ポップアップ部の高さは設定値の項目数によって変わります。スクロールバー④で現在の表示状態を確認できます。
④ スクロールバー	スクロール位置をあらわします。
⑤ カーソル	選択されている項目です。セットレバー(▲▼)で移動します。
⑥ 変更前の設定値	変更前の設定値です。項目の先頭に●が表示されます。

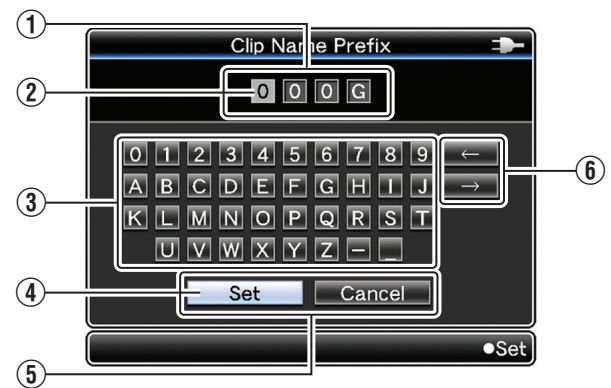
ソフトウェアキーボードでの文字入力

[Scene File]のサブネームの入力、[Clip Name Prefix]の入力に使用します。

■[Scene File](参照 88 ページ)



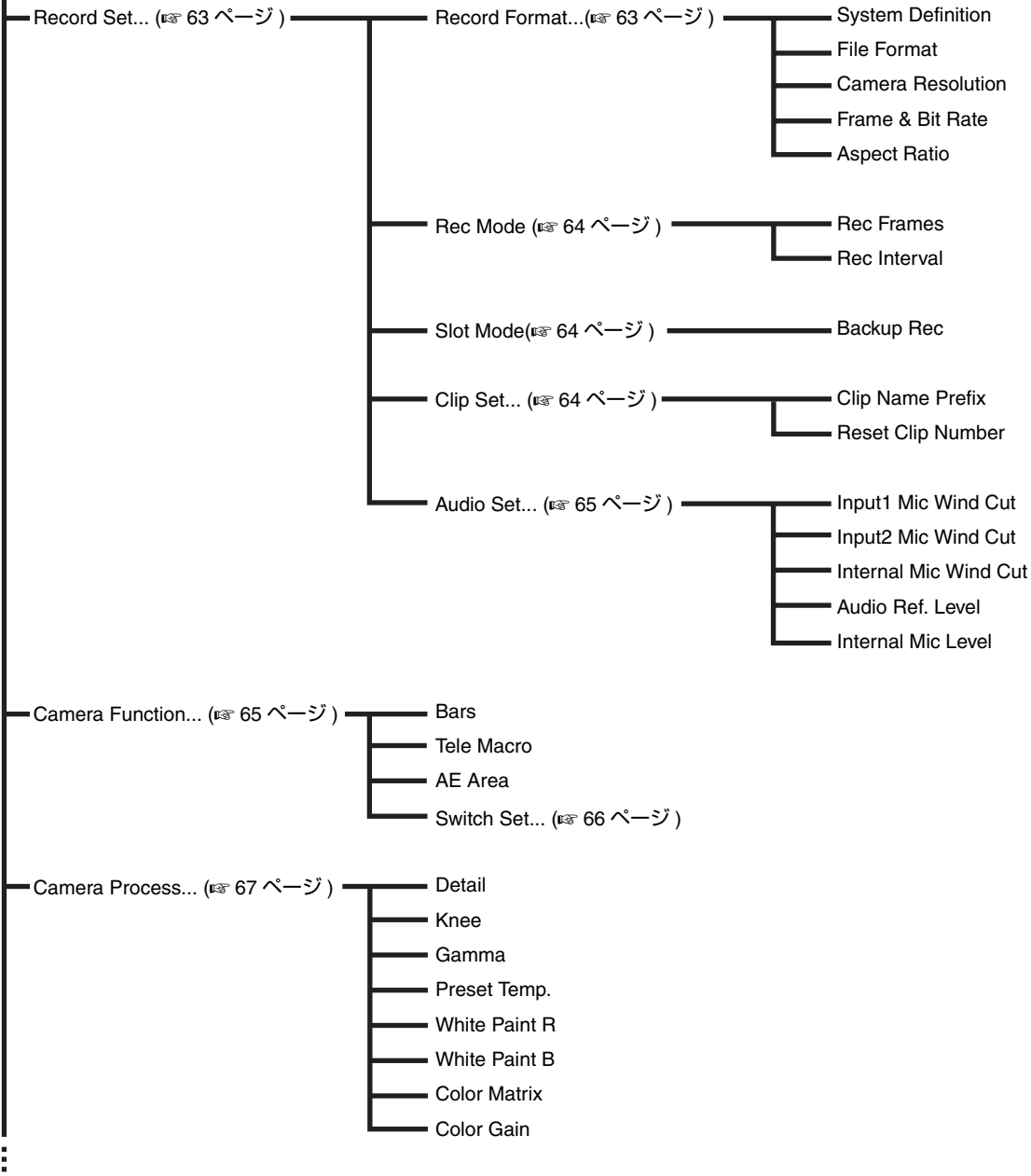
■[Clip Name Prefix](参照 64 ページ)



名称	説明
① 文字入力枠	タイトル入力枠です。 [Scene File]のサブネームは8文字、 [Clip Name Prefix]は4文字まで入力できます。
② 文字カーソル	ボタンカーソル④を移動して文字を選択し、セットレバーの中央を押すと文字カーソルがある位置に文字が入力され、文字カーソルが右に移動します。文字カーソル移動ボタン⑥でカーソルの位置を移動できます。
③ 文字ボタン	セットレバー(▲▼◀▶)でボタンカーソル④を移動させ、入力する文字を選択します。
④ ボタンカーソル	選択されている文字・項目です。セットレバー(▲▼◀▶)で移動します。
⑤ 動作決定ボタン	[Set]/[Store]を選択しセットレバーの中央を押すとタイトルが決定されます。 [Cancel]を選択し、本体側面操作パネルのセットレバーの中央を押すと文字入力が入力が破棄され、前の画面に戻ります。
⑥ 文字カーソル移動ボタン	文字カーソル②の位置を移動します。
⑦ [BS] バックスペースボタン	[BS]を選択し、本体側面操作パネルのセットレバーの中央を押すと、文字カーソル②の左にある文字が削除されます。
⑧ [SP] スペースボタン	[SP]を選択し、本体側面操作パネルのセットレバーの中央を押すと、文字カーソル②にスペースが入力されます。

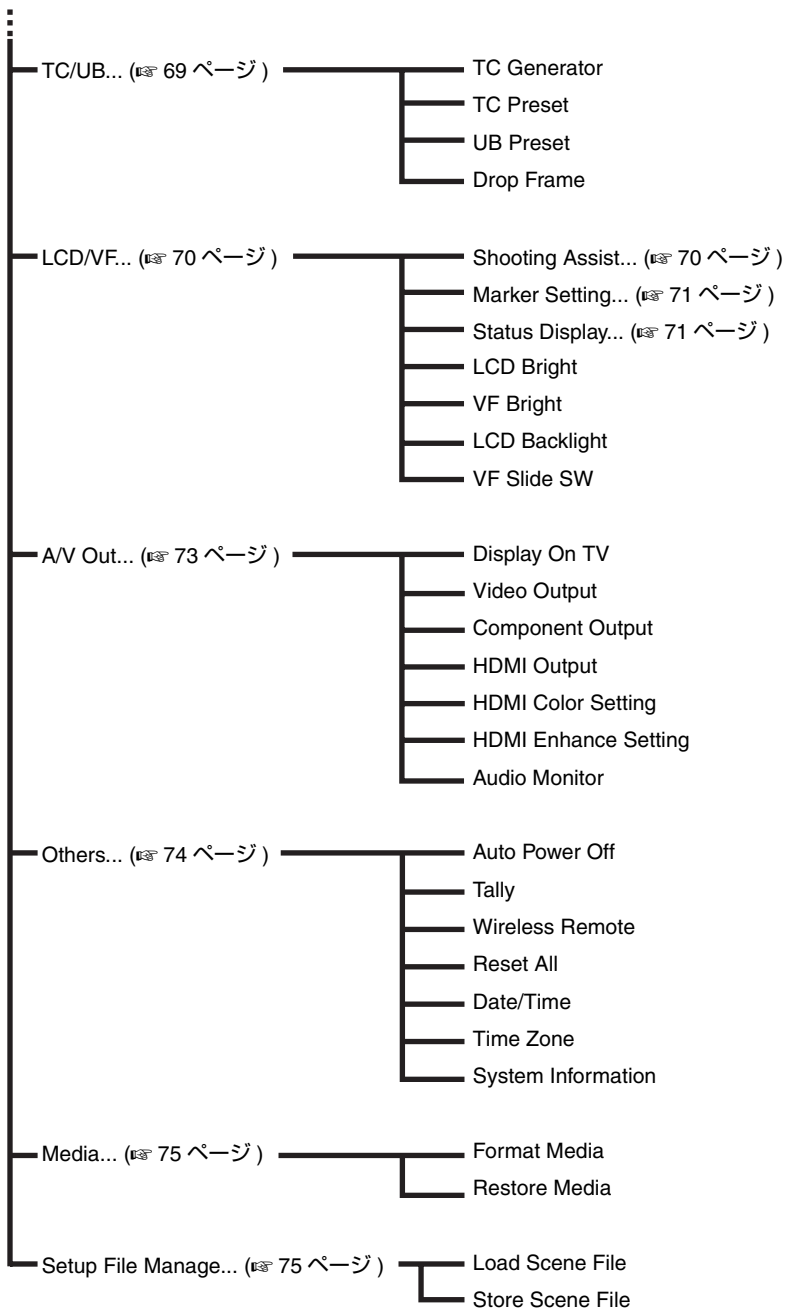
メニュー画面の階層一覧

Main Menu... (☞ 62 ページ)



メモ:

- 省略してありますが、すべての項目の最後に [Back] 項目があります。[Back] を選択し、セツトレバーの中央を押すと前の階層にもどります。



メモ:

- 省略してありますが、すべての項目の最後に [Back] 項目があります。[Back] を選択し、セツレバーの中央を押すと前の階層にもどります。

Main Menu 画面

カメラの動作モードや動作の状態によって、設定できないメニューはグレー表示となり選択できません。

項目	機能
Record Set...	撮影および再生時の映像、音声に関する設定をするためのメニュー画面です。 本機が記録動作中・メディアモード時、カーソルはこの項目に移動しません。(☞ 63 ページ)
Camera Function...	カメラ撮影時の操作モードを設定するためのメニュー画面です。 メディアモード時、カーソルはこの項目に移動しません。(☞ 65 ページ)
Camera Process...	カメラ映像の画質調整に関するメニュー画面を表示します。 メディアモード時、カーソルはこの項目に移動しません。 (☞ 67 ページ)
TC/UB...	タイムコード、ユーザーズビットを設定するためのメニュー画面です。 本機が記録動作中・メディアモード時、カーソルはこの項目に移動しません。 (☞ 69 ページ)
LCD/VF...	LCD モニター画面やビューファインダー画面に関する設定を行います。 フォーカスアシストモード、ゼブラ設定画像表示、画面サイズ、マーカー、セーフティーゾーンの設定、LCD モニター画面やビューファインダー画面へのキャラクター表示の選択や LCD モニター画面の画質調整に関するメニュー画面です。 (☞ 70 ページ)
A/V Out...	外部機器との接続に関する設定を行います。 (☞ 73 ページ)
Others...	その他の機能に関する設定をするためのメニュー画面です。 オートパワーオフ、タリールンプの設定、リモコンに関する設定、日付・時刻、タイムゾーンなどを設定します。 また、メニュー設定内容を初期設定値にリセットすることもできます。 (☞ 74 ページ)
Media...	SDHC/SDXC カードのフォーマットや修復を行います。(☞ 75 ページ)
Setup File Manage...	[Setup File Manage] メニュー画面を表示します。 メニュー画面の設定内容をファイルとして SDHC/SDXC カードに保存したり、保存したファイルのメニュー画面の設定を呼び出したりします。 本機が記録動作中・メディアモード時、カーソルはこの項目に移動しません。 (☞ 75 ページ)
Exit	この項目を選択し、セットレバーの中央を押すと、通常画面に戻ります。

Record Set メニュー

Record Format メニュー

[Record Format] メニューは、すべての項目の設定を終了したあと、画面下方の [Set] を選択すると、各項目の設定値が本機に反映されレコードフォーマットが切り換わります。切り換え時、画面上に“Please Wait”と表示されます。

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
System Definition	HD (MPEG2) SD (DV)	記録映像の解像度を選択します。 HD (MPEG2) :HD (High Definition) で記録します。 SD (DV) :SD (Standard Definition) で記録します。 ご注意 : ● 本項目の設定によって、[File Format]、[Camera Resolution]、[Frame & Bit Rate] の各項目での設定値の選択肢が変わります。
File Format		SDHC/SDXC カードに記録するファイル形式を選択します。
[System Definition] が “HD (MPEG2)” の場合	QuickTime MP4	
[System Definition] が “SD (DV)” の場合	QuickTime AVI	
Camera Resolution	1920x1080 1440x1080 1280x720 720 x 480	[System Definition] 項目を “HD (MPEG2)” に設定している場合、記録映像のサイズを選択します。(水平 x 垂直) メモ : ● [System Definition] 項目を “SD (DV)” に設定している場合、本項目は “720 x 480” に固定されます。 ● 本項目の設定によって、[Frame & Bit Rate] 項目の設定値の選択肢が変わります。
Frame & Bit Rate		[System Definition] 項目を “HD (MPEG2)” に設定している場合、フレームレートおよびエンコードのビットレートを選択します。 フレームレート (60p, 50p, 30p, 25p, 24p, 60i, 50i) とビットレート (HQ (35Mbps) VBR)、(SP (25 Mbps/19 Mbps) CBR) の 19 種類の組み合わせの中から選択します。 メモ : ● [System Definition] 項目を “SD (DV)” に設定している場合、本項目は “60i” に固定されます。 ● [File Format] および [Camera Resolution] の設定によって、選択できる項目が変わります。
[Camera Resolution] が “1280x720” の場合	60p (HQ) , 60p (SP), 30p (HQ), 30p (SP), 50p (HQ), 50p (SP), 25p (HQ), 25p (SP), 24p (HQ), 24p (SP)	
[Camera Resolution] が “1440x1080” の場合	60i (HQ) , 60i (SP), 50i (HQ) , 50i (SP)	
[Camera Resolution] が “1920x1080” の場合	60i (HQ) , 30p (HQ), 50i (HQ) , 25p (HQ), 24p (HQ)	
Aspect Ratio	16:9 4:3	[System Definition] 項目を “SD (DV)” に設定している場合の、記録画像のアスペクト比を選択します。 メモ : ● [System Definition] 項目を “HD (MPEG2)” に設定している場合、“16:9” に固定されます。

Record Set メニュー (つづき)

Rec Mode メニュー

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Rec Mode	Normal Pre Rec Clip Continuous Frame Rec Interval Rec	SDHC/SDXC カードへの記録モードを選択します。(☞ 45 ページ) メモ：— ● [Slot Mode] 項目を “Backup” に設定した場合は “Normal” に固定され選択できません。
Rec Frames	1frame 3frames 6frames	[Rec Mode] 項目を “Frame Rec”、“Interval Rec” に設定した場合の記録フレーム数を設定します。
Rec Interval	1sec, 2sec, 5sec, 10sec, 30sec, 1min, 2min, 5min, 10min, 30min, 1hour	[Rec Mode] 項目を “Interval Rec” に設定した場合の記録間隔の時間を設定します。

Slot Mode メニュー

項目	設定値	機能
Slot Mode	Series Dual Backup	カードスロットの動作を設定します。(☞ 42 ページ) Series : 2つのスロットを連続して動作させるモードです。 Dual : 2つのスロットを同時に動作させるモードです。 Backup: スロット B を、[REC] ボタンとは独立して記録動作させるモードです。[Rec Mode] 項目を “Normal” に設定した場合のみ設定可能です。[Backup Rec] メニューまたは機能割付けしたユーザーボタンで記録開始/停止を操作します。(☞ 66 ページ) メモ：— ● “Series” に設定し、両スロットに記録可能なメディアが挿入されている場合、[REC] ボタンを押すと選択されているスロット (アクティブスロット) のみに記録されます。 ● “Dual” に設定し、両スロットに記録可能なメディアが挿入されている場合、[REC] ボタンを押すと両スロットのメディアに同時記録されます。
Backup Rec	—	[REC]/[STBY] でバックアップ記録の開始、停止を行います。 [Slot Mode] 項目を “Backup” に設定した場合にのみ設定可能です。 ご注意：— ● メディア残量 0 などで停止状態のときは “STOP” 固定で選択できません。

Clip Set メニュー

項目	設定値	機能
Clip Name Prefix	xxxG (xxx の初期値はシリアル番号の下 3 桁。)	SDHC/SDXC カードへ記録するクリップのファイル名の前 4 文字を設定します。 英字アルファベット (大文字)、数字 (0 から 9)、_ (アンダースコア)、- (ハイフン) の 38 文字から、ソフトウェアキーボードを使って入力します。 (☞ 59 ページ [ソフトウェアキーボードでの文字入力])
Reset Clip Number	—	クリップ番号 (Clip Number) をふりなおしたいときに、クリップ番号をリセット (0001) できます。[Reset] を選択しセットレバーの中央を押すと、番号がリセットされます。 SDHC/SDXC カードにすでにクリップが存在するときは、空き番号の中で一番小さな数値が設定されます。 設定例) [Clip Name Prefix] が “ABCD” で SDHC/SDXC カードに “ABCD0001” が存在する場合、“ABCD0002” が設定されます。

Audio Set メニュー

項目	設定値	機能
Input1 Mic Wind Cut	On Off	オーディオ入力信号のロー（低域部）をカットするかどうかを設定します。マイクの風切り音を小さくしたい場合に設定します。 On : 音声をローカットします。 Off : 音声をローカットしません。
Input2 Mic Wind Cut		
Internal Mic Wind Cut	On Off	内蔵マイクの入力信号のロー（低域部）をカットするかどうかを設定します。マイクの風切り音を小さくしたい場合に設定します。 On : 音声をローカットします。 Off : 音声をローカットしません。
Audio Ref. Level	-20dB -12dB	SDHC/SDXC カードへの録音基準レベルを設定します。([CH-1/CH-2] 共通です。) -20dB : メーターが -20 dBFS 振れたとき基準レベルの信号を出力します。 -12dB : メーターが -12 dBFS 振れたとき基準レベルの信号を出力します。
Internal Mic Level	-2, -1 Normal 1, 2	内蔵マイクの入力レベルを設定します。

Camera Function メニュー

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Bars	On Off	カラーバーを出力するかどうかを設定します。 On : カラーバーを出力します。 Off : カラーバーを出力しません。 メモ: — ● フルオート撮影モード時は“Off”に固定され選択できません。 ● [Record Format]メニューの[System Definition]項目を“HD (MPEG2)”に設定した場合に設定可能です。“SD (DV)”のときは“Off”に固定されます。(☞ 63 ページ) ● “Off”から“On”に設定変更するとメニューから抜けます。 ● [Bars]が“On”の状態でもメニュー画面をひらくと自動的に“Off”となります。
Tele Macro	On Off	ズームの望遠側 (T) で接写できる距離を短くするテレマクロの設定をします。(☞ 32 ページ) On : テレマクロ設定です。約 80cm まで接写できます。 Off : 通常の設定です。約 1m まで接写できます。
AE Area	—	明るさ補正のエリアを設定します。(☞ 36 ページ) メモ: — ● フルオート撮影モード時、選択できません。
Switch Set...	本機、スイッチに関する設定を行います。(☞ 66 ページ)	

Camera Function メニュー (つづき)

Switch Set 項目

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能																														
FAW	None PRESET A B	FAW (フルオートホワイトバランス) の機能を [WHT.BAL] 選択スイッチのどこに割り付けるかを設定します。 本機の [FULL AUTO] ボタンが“ON” のときは“FAW” 固定となります。 None : FAW 機能を割り付けません。 PRESET : PRESET ポジションに FAW を割り付けます。 A : A ポジションに FAW を割り付けます。 B : B ポジションに FAW を割り付けます。																														
GAIN L GAIN M GAIN H	AGC, 18dB, 15dB, 12dB, 9dB, 6dB, 3dB, 0dB	[GAIN] 感度選択スイッチの各ポジションにゲインの値を設定します。 本機の [FULL AUTO] ボタンが“ON” のときは“AGC” 固定となります。 (初期値 GAIN L : 0dB 、 GAIN M : 9dB 、 GAIN H : 18dB)																														
Zoom Speed	-2, -1 Normal 1	セットレバー (LCD モニター部) およびリモコンによるズーム操作の速度を設定します。 “-2” が最も遅く“1” が最も速い設定となります。																														
USER1 USER2 LOLUX/3 C.REVIEW/4 ZEBRA/5 REC/6	<p>[USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6] ボタンに下記メニュー機能をそれぞれのボタンに1つ割り付けることで、設定した機能の操作 (オン/オフ、起動、切り換え) が可能となります。 撮影条件にあわせて設定してください。カメラモード時のみ使用できます。</p> <p>(初期値 USER1 : Focus Assist、USER2 : TC/UB、LOLUX/3 : Lolux、C.REVIEW/4 : Clip Review、ZEBRA/5 : Zebra、REC/6 : Rec)</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [REC/6] ボタンの工場出荷値は“Rec” で、記録開始/停止を行えます。“Rec” は [REC/6] ボタンにのみ割りつけられる機能です。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">設定値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>None</td> <td>機能を割り付けません。</td> </tr> <tr> <td>Load File</td> <td>[Setup File Manage] メニューの [Load Scene File] 項目の機能を割り付けます。(☞ 75 ページ)</td> </tr> <tr> <td>OK Mark</td> <td>記録中のクリップに対して、OK マークを付加/削除する機能を割り付けます。撮影時に操作します。(☞ 41 ページ)</td> </tr> <tr> <td>Clip Cutter Trig</td> <td>記録中、任意の時点でクリップを分割する機能を割り付けます。(☞ 41 ページ) メモ: _____ ● [Slot Mode] が“Backup” に設定時は使用できません。(☞ 64 ページ) ● [Rec Mode] が“Normal”、“Pre Rec” 以外に設定時は使用できません。(☞ 64 ページ)</td> </tr> <tr> <td>Backup Trig</td> <td>[Slot Mode] メニューの [Backup Rec] 項目の機能を割り付けます。(☞ 64 ページ)</td> </tr> <tr> <td>AE Area</td> <td>[Camera Function] メニューの [AE Area] 項目の機能を割り付けます。(☞ 65 ページ)</td> </tr> <tr> <td>Clip Review</td> <td>クリップレビュー機能を割り付けます。(☞ 28 ページ)</td> </tr> <tr> <td>Rec Stop</td> <td>記録を停止する機能を割り付けます。記録動作中にのみ機能します。 メモ: _____ ● [Rec Mode] メニューが“Clip Continuous”、“Frame Rec” に設定されている場合の停止ボタンとして使用すると便利です。(☞ 64 ページ)</td> </tr> <tr> <td>Zebra</td> <td>[LCD/VF] メニュー → [Shooting Assist] → [Zebra] 項目の機能を割り付けます。(☞ 70 ページ)</td> </tr> <tr> <td>Lolux</td> <td>低照度撮影モードの ON、OFF を切り換えます。</td> </tr> <tr> <td>Tele Macro</td> <td>[Camera Function] メニューの [Tele Macro] 項目の機能を割り付けます。(☞ 65 ページ)</td> </tr> <tr> <td>TC/UB</td> <td>[TC/UB] メニューをダイレクトにひらきます。(☞ 69 ページ)</td> </tr> <tr> <td>Bars</td> <td>[Camera Function] メニューの [Bars] 項目の機能を割り付けます。(☞ 65 ページ)</td> </tr> <tr> <td>Focus Assist</td> <td>[LCD/VF] メニュー → [Shooting Assist] → [Focus Assist] 項目の機能を割り付けます。(☞ 70 ページ)</td> </tr> </tbody> </table>		設定値	説明	None	機能を割り付けません。	Load File	[Setup File Manage] メニューの [Load Scene File] 項目の機能を割り付けます。(☞ 75 ページ)	OK Mark	記録中のクリップに対して、OK マークを付加/削除する機能を割り付けます。撮影時に操作します。(☞ 41 ページ)	Clip Cutter Trig	記録中、任意の時点でクリップを分割する機能を割り付けます。(☞ 41 ページ) メモ: _____ ● [Slot Mode] が“Backup” に設定時は使用できません。(☞ 64 ページ) ● [Rec Mode] が“Normal”、“Pre Rec” 以外に設定時は使用できません。(☞ 64 ページ)	Backup Trig	[Slot Mode] メニューの [Backup Rec] 項目の機能を割り付けます。(☞ 64 ページ)	AE Area	[Camera Function] メニューの [AE Area] 項目の機能を割り付けます。(☞ 65 ページ)	Clip Review	クリップレビュー機能を割り付けます。(☞ 28 ページ)	Rec Stop	記録を停止する機能を割り付けます。記録動作中にのみ機能します。 メモ: _____ ● [Rec Mode] メニューが“Clip Continuous”、“Frame Rec” に設定されている場合の停止ボタンとして使用すると便利です。(☞ 64 ページ)	Zebra	[LCD/VF] メニュー → [Shooting Assist] → [Zebra] 項目の機能を割り付けます。(☞ 70 ページ)	Lolux	低照度撮影モードの ON、OFF を切り換えます。	Tele Macro	[Camera Function] メニューの [Tele Macro] 項目の機能を割り付けます。(☞ 65 ページ)	TC/UB	[TC/UB] メニューをダイレクトにひらきます。(☞ 69 ページ)	Bars	[Camera Function] メニューの [Bars] 項目の機能を割り付けます。(☞ 65 ページ)	Focus Assist	[LCD/VF] メニュー → [Shooting Assist] → [Focus Assist] 項目の機能を割り付けます。(☞ 70 ページ)
設定値	説明																															
None	機能を割り付けません。																															
Load File	[Setup File Manage] メニューの [Load Scene File] 項目の機能を割り付けます。(☞ 75 ページ)																															
OK Mark	記録中のクリップに対して、OK マークを付加/削除する機能を割り付けます。撮影時に操作します。(☞ 41 ページ)																															
Clip Cutter Trig	記録中、任意の時点でクリップを分割する機能を割り付けます。(☞ 41 ページ) メモ: _____ ● [Slot Mode] が“Backup” に設定時は使用できません。(☞ 64 ページ) ● [Rec Mode] が“Normal”、“Pre Rec” 以外に設定時は使用できません。(☞ 64 ページ)																															
Backup Trig	[Slot Mode] メニューの [Backup Rec] 項目の機能を割り付けます。(☞ 64 ページ)																															
AE Area	[Camera Function] メニューの [AE Area] 項目の機能を割り付けます。(☞ 65 ページ)																															
Clip Review	クリップレビュー機能を割り付けます。(☞ 28 ページ)																															
Rec Stop	記録を停止する機能を割り付けます。記録動作中にのみ機能します。 メモ: _____ ● [Rec Mode] メニューが“Clip Continuous”、“Frame Rec” に設定されている場合の停止ボタンとして使用すると便利です。(☞ 64 ページ)																															
Zebra	[LCD/VF] メニュー → [Shooting Assist] → [Zebra] 項目の機能を割り付けます。(☞ 70 ページ)																															
Lolux	低照度撮影モードの ON、OFF を切り換えます。																															
Tele Macro	[Camera Function] メニューの [Tele Macro] 項目の機能を割り付けます。(☞ 65 ページ)																															
TC/UB	[TC/UB] メニューをダイレクトにひらきます。(☞ 69 ページ)																															
Bars	[Camera Function] メニューの [Bars] 項目の機能を割り付けます。(☞ 65 ページ)																															
Focus Assist	[LCD/VF] メニュー → [Shooting Assist] → [Focus Assist] 項目の機能を割り付けます。(☞ 70 ページ)																															

項目	設定値	機能
Clip Review	Last 5 sec Top 5 sec CLIP	[USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6] ボタンのいずれかを“Clip Review”に設定した場合の動作設定を行います。 Last 5 sec : クリップの最後の約5秒間を見ます。 Top 5 sec : クリップの先頭から約5秒間を見ます。 CLIP : クリップ全体を見ます。 メモ : ● [USER1]/[USER2]/[LOLUX/3]/[C.REVIEW/4]/[ZEBRA/5]/[REC/6] 項目のいずれかが“Clip Review”に設定されている場合に選択可能です。

Camera Process メニュー

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Detail	Max, 9 to 1, Normal , -1 to -9, Min, Off	輪郭（ディテール）強調レベルの調整を行います。 数字を大きく : 輪郭をシャープにする。 数字を小さく : 輪郭をソフトにする。 Off : 機能しません。
V/H Balance	H-Max, 4 to 1, Normal , -1 to -4, H-Min	輪郭（ディテール）の強調を水平方向（H）と垂直方向（V）どちら側により強くかけるか、H/Vのバランスを設定します。 数字を大きく : 水平方向に強くかけます。 数字を小さく : 垂直方向に強くかけます。
Knee	Manual Auto	ハイライト部分の階調を表現するために映像信号のあるレベル以上を圧縮する“Knee”動作の設定をします。明るい部分を確認したいときは“Manual”に設定し、ニーポイントを手動で調整してください。 Manual : ニーポイント（ニー動作開始点）を“Level”項目で変更できます。 Auto : 輝度レベルに応じ自動でニーポイント（ニー動作開始点）を調整します。
Level	100% 95%, 90%, 85%	ニーの圧縮をはじめる点（ニーポイント）を設定します。 数字を大きく : ニーポイントのレベルを上げる。 数字を小さく : ニーポイントのレベルを下げる。 メモ : ● [Knee] 項目が“Auto”に設定されている場合、“---”と表示され選択できません。
Gamma	Cinema Standard Off	階調表現を決定するガンマカーブの補正をします。 Cinema : 映画の画面特性に近い階調のガンマカーブになります。 Standard : 標準のガンマカーブにします。 Off : ガンマカーブは補正されません。
Level	Max, 4 to 1, Normal , -1 to -4, Min	[Gamma] 項目を“Standard”または“Cinema”に設定したとき、それぞれに設定できます。 数字を大きく : 黒の階調をよくします。ただし、明るい部分の階調は悪くなります。 数字を小さく : 明るい部分の階調をよくします。ただし、黒の階調は悪くなります。 メモ : ● [Gamma] 項目が“Off”に設定されている場合、“---”と表示され選択できません。

Camera Process メニュー (つづき)

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Preset Temp.	5600K 3200K	本機の [WHT.BAL] スイッチを “PRST(PRESET)” に設定した場合の色温度を設定します。 メモ：—— ● マニュアル撮影モードで [WHT.BAL] スイッチが “PRST(PRESET)” の位置にある場合のみ選択可能です。それ以外のときは “---” と表示され選択できません。
White Paint R	Max, 14 to 1, Normal , -14 to -1, Min	AWB (オートホワイトバランス) 時の R (赤) の成分を調整します。 数字を大きく : 赤味を強くします。 数字を小さく : 赤味を弱くします。 メモ：—— ● 本機の [WHT.BAL] スイッチを “A” または “B” に設定したときに選択できます。 “PRST(PRESET)” に設定時、および “FAW” 機能を割り当てたスイッチに設定した場合、“---” と表示され選択できません。 ● “A”、“B” それぞれに設定できます。
White Paint B	Max, 14 to 1, Normal , -14 to -1, Min	AWB (オートホワイトバランス) 時の B (青) の成分を調整します。 数字を大きく : 青味を強くします。 数字を小さく : 青味を弱くします。 メモ：—— ● 本機の [WHT.BAL] スイッチを “A” または “B” に設定したときに選択できます。 “PRST(PRESET)” に設定時、および “FAW” 機能を割り当てたスイッチに設定した場合、“---” と表示され選択できません。 ● “A”、“B” それぞれに設定できます。
Color Matrix	Cinema Subdued Cinema Vivid Standard Off	カラーマトリックス設定をします。 Cinema Subdued : 映画の画面特性に近い落ち着いたカラーマトリックスになります。 Cinema Vivid : 映画の画面特性に近いあざやかなカラーマトリックスになります。 Standard : 標準のカラーマトリックスにします。 Off : カラーマトリックス機能を Off にします。
Color Gain	Max, 4 to 1, Normal -1 to -4, Min, Off	映像信号の色レベルを調整します。 Off : 白黒にします。 数字を大きく : 色を濃くします。 数字を小さく : 色を薄くします。 メモ：—— ● “Off” に設定されている場合、白黒映像となります。

TC/UB メニュー

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
TC Generator	Free Run Rec Run Regen	タイムコードの動作を設定します。 Free Run : 記録状態に関係なく、常に歩進します。本機の電源を切っても歩進を続けます。 Rec Run : タイムコードは記録時に歩進します。SDHC/SDXC カードを入れ換えない限り、タイムコードは記録されたクリップの順で連続します。SDHC/SDXC カードを取り出して別のカードで記録を行うと、前のカードで記録したタイムコードの続きから記録します。 Regen : タイムコードは記録時に歩進します。SDHC/SDXC カードを入れ換えた場合、そのカードに記録されている最後のタイムコードを読み出して、タイムコードが連続するようにタイムコードを設定して記録します。(☞ 39 ページ)
TC Preset	—	タイムコード (時、分、秒、フレーム) を設定します。 表示 : Drop 設定時 02:02:25.20 : Non Drop 設定時 02:02:25.20 メモ : ● [TC Generator] 項目を “Regen” に設定した場合、“<Regen>” と表示され選択できません。
UB Preset	—	ユーザズビットを設定します。(一桁ずつ設定) 表示 : AB CD EF 01 メモ : ● [TC Generator] 項目を “Regen” に設定した場合、“<Regen>” と表示され選択できません。
Drop Frame	Non Drop Drop	タイムコードジェネレーターのフレーミングモードを設定します。 Non Drop : 内部タイムコードジェネレーターがノンドロップフレームモードで歩進します。フレーム数を重視するとき、この設定にします。 Drop : 内部タイムコードジェネレーターがドロップフレームモードで歩進します。記録した時間を重視するとき、この設定にします。 メモ : ● [Record Set]⇒[Record Format]メニューの[Frame & Bit Rate]項目のフレームレートが“60p”、“30p”、“60i”の場合にのみ設定できます。フレームレートが“24p”の場合は、“Non Drop”に固定となり選択できません。フレームレートが“50p”、“25p”、“50i”の場合は、“---”と表示され選択できません。(☞ 63 ページ)

メニュー表示と詳細設定

LCD/VF メニュー

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Shooting Assist...		シューティングアシスト機能に関するメニューです。(P.70 ページ)
Marker Setting...		セーフティーゾーンや、センターマークなどの設定を行います。(P.71 ページ)
Status Display...		ステータス画面の表示に関する設定を行います。(P.71 ページ)
LCD Bright	10 to 6, 5 , 4 to 0	LCD モニター画面の明るさを設定します。
VF Bright	10 to 6, 5 , 4 to 0	ビューファインダー画面の明るさを設定します。
LCD Backlight	Auto Standard Brighter	LCD モニターのバックライトの明るさを設定します。 Auto : 自動で明るさが設定されます。 Standard : 標準的な明るさに設定します。 Brighter : Standard より明るい設定になります。
VF Slide SW	Disable Enable	ビューファインダー画面の表示 / 非表示を、ビューファインダー部を引き出す操作に連動させるかどうかを設定します。(P.22 ページ) Disable : ビューファインダーの状態に関係なく表示されます。 Enable : ビューファインダー部を引き出した場合にのみ表示されます。 メモ : ● LCD モニターに映像が表示されない場合、設定に関係なくビューファインダー画面は表示されます。 ● [HDMI] 端子、[COMPONENT OUT] 端子または [AV OUT] 端子を接続時、ビューファインダーに映像は表示されません。

Shooting Assist 項目

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Focus Assist	On Off	モノクロ画像にして、ピントのあっている部分の輪郭線に色をつけるかどうかを選択します。(フォーカスアシスト機能) (P.29 ページ) On : フォーカスアシスト機能が動作します。 Off : フォーカスアシスト機能が動作しません。
Color	Blue Green Red	フォーカスアシスト動作時の合焦部分の表示色を設定します。 Blue : 合焦部分を青色で表示します。 Green : 合焦部分を緑色で表示します。 Red : 合焦部分を赤色で表示します。
Zebra	On Off	被写体の明るい部分に表示するゼブラ表示の設定をします。(P.32 ページ) On : ゼブラパターンを表示します。 Off : ゼブラパターンを表示しません。
Top	Over, 100% to 85%, 80% , 75% to 5% (5 % 刻み)	ゼブラパターンを表示する輝度レベルの上限を設定します。 メモ : ● Top と Bottom の関係は必ず Top>Bottom であり、Top 設定中はこの関係を保つように Bottom 設定値は自動的に補正されます。
Bottom	100% to 75%, 70% , 65% to 0% (5 % 刻み)	ゼブラパターンを表示する輝度レベルの下限を設定します。 メモ : ● Top と Bottom の関係は必ず Top>Bottom であり、Bottom 設定中はこの関係を保つように Top 設定値は自動的に補正されます。

Marker Setting 項目

(87 ページ [マーカー表示およびセーフティゾーン表示])

* 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Aspect Ratio ※1	4:3, 13:9, 14:9, 1.66:1, 1.75:1, 16:9 , 1.85:1, 2.35:1	全体画角のうち、最終的に使用する画像のアスペクト比を選択します。 メモ : _____ ● [Record Format] メニューの [Aspect Ratio] 項目を “4:3” に設定している場合、“4:3” に固定され選択できません。(63 ページ)
Aspect Marker ※1	On Off	[Aspect Ratio] 項目で選択したアスペクト範囲外の画像部分について、範囲外を示す境界マーカーを表示するかどうかを設定します。 On : 境界を表示します。 Off : 境界を表示しません。
Safety Zone ※1	95%, 93%, 90%, 80%, Off	[Aspect Ratio] 項目で選択したアスペクト範囲内で有効としたいエリア (Safety Zone) を内側何 % にするかを設定します。
Center Mark ※1	On Off	[Aspect Ratio] 項目で選択したアスペクト比内の画面中央を示すマークを表示するかどうかを設定します。 On : センターマークを表示します。 Off : センターマークを表示しません。

※1 : クリップレビュー中、およびメディアモード時は、設定に関係なくマーカーは表示されません。

Status Display 項目

LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示に関する設定を行います。

項目	設定値	機能
Filter	On Off	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示に [ND FILTER] の状態を表示するかを設定します。 On : [ND FILTER] の状態を表示します。 Off : [ND FILTER] の状態を表示しません。
Video Format	On Off	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示に記録・再生時の映像フォーマットの表示をするかを設定します。 On : ビデオフォーマットモードを表示します。 Off : ビデオフォーマットモードを表示しません。
Media Remain	On Off	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示に記録 SDHC/SDXC カード残量の表示をするかを設定します。 On : SDHC/SDXC カード残量を表示します。 Off : SDHC/SDXC カード残量を表示しません。残量警告時は、設定に関係なく表示します。

LCD/VF メニュー (つづき)

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
TC/UB	TC UB Off	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示にタイムコード/ユーザーズビットの表示をするかを設定します。 TC : タイムコードを表示します。 UB : ユーザーズビットを表示します。 Off : タイムコードまたはユーザーズビットを表示しません。
Audio Meter	On Off	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示にオーディオレベルメーターの表示をするかを設定します。 On : オーディオレベルメーターを表示します。 Off : オーディオレベルメーターを表示しません。
Battery Info	Time Capacity%	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示のバッテリー残量表示について設定します。 カメラモードではステータス 1 画面のときのみ表示されます。(☞ 82 ページ) Time : バッテリー残量を分単位で表示します。“min” Capacity% : バッテリー残量をパーセントで表示します。“%” メモ: — ● 数値の前に表示される電池マークは、残容量によって変化します。  (赤) : 1%未満  (赤) : 1%~20%  (黄) : 21%~30%  (黄) : 31%~40%  (緑) : 41%~70%  (緑) : 71%~100% ● バッテリー残容量、残時間は撮影時間のめやすとしてご使用ください。
Time Display	HH:MM:SS HH:MM Off	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示の時間表示について設定します。 HH:MM:SS : 時:分:秒を表示します。 HH:MM : 時:分を表示します。 Off : 時間を表示しません。
Date Style	DMY MDY YMD	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示の日付表示順の設定をします。 DMY : 日/月/年 MDY : 月/日/年 YMD : 年/月/日
Time Style	24hour 12hour	LCD モニターやビューファインダー画面のステータス表示の時間表示スタイルを設定します。 24hour : 24 時間表示します。 12hour : 12 時間表示します。(AM/PM)

A/V Out メニュー

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Display On TV	On Off	外部モニターにオンスクリーン表示するかどうかを設定します。 On : 表示します。 Off : 表示しません。
Video Output	4:3 16:9	[A/V OUT] 端子に接続する外部モニターのタイプを設定します。接続するモニターにあわせて設定します。 4:3 : 従来型のモニター (4:3) に接続する場合に設定します。 16:9 : ワイドモニター (16:9) に接続する場合に設定します。 メモ : ● [Record Format] メニューの [System Definition] 項目が “SD (DV)” に設定されている場合、“---” と表示され選択できません。
Component Output	480i 576i 720p 1080i	[COMPONENT OUT] 端子から出力される映像の解像度を設定します。接続するモニターにあわせて設定します。 480i : 480i 対応のモニターに接続する場合に設定します。[Frame & Bit Rate] 項目の設定が “60i”、“60p”、“30p”、“24p” の場合に設定可能です。 576i : 576i 対応のモニターに接続する場合に設定します。[Frame & Bit Rate] 項目の設定が “50i”、“50p”、“25p” の場合に設定可能です。 720p : 720p 対応のモニターに接続する場合に設定します。 1080i : 1080i 対応のモニターに接続する場合に設定します。 メモ : ● [HDMI] 端子からの出力時は、“---” と表示され設定できません。
HDMI Output	480i 480p 576i 576p Auto	[HDMI] 端子から出力される映像の解像度を設定します。 接続するモニターにあわせて設定します。最大 1080i 出力対応のモニターで正常に表示されない場合に設定します。 480i : 480i 対応のモニターに接続する場合に設定します。[Frame & Bit Rate] 項目の設定が “60i”、“60p”、“30p”、“24p” の場合に設定可能です。 480p : 480p 対応のモニターに接続する場合に設定します。[Frame & Bit Rate] 項目の設定が “60i”、“60p”、“30p”、“24p” の場合に設定可能です。 576i : 576i 対応のモニターに接続する場合に設定します。[Frame & Bit Rate] 項目の設定が “50i”、“50p”、“25p” の場合に設定可能です。 576p : 576p 対応のモニターに接続する場合に設定します。[Frame & Bit Rate] 項目の設定が “50i”、“50p”、“25p” の場合に設定可能です。 Auto : 接続するモニターに応じて自動で解像度を設定します。通常この設定にします。
HDMI Color Setting	RGB Auto	HDMI 信号のカラー方式を設定します。 RGB : RGB 信号を出力します。 Auto : 接続するモニターに応じて、YCbCr/RGB を自動判別して出力します。
HDMI Enhance Setting	On Off	HDMI 信号の色レンジを設定します。パソコンモニターに接続する場合、“On” に設定します。 On : パソコンモニターに接続する場合に設定します。 Off : 通常のモニターに接続する場合に設定します。
Audio Monitor	Mix Stereo	ヘッドホンの音声を設定します。 Mix : ミックス音声を出力します。 Stereo : ステレオ音声を出力します。

Others メニュー

※ 工場出荷値は太字。

項目	設定値	機能
Auto Power Off	On Off	<p>バッテリー接続時、約 5 分以上操作、および動作しない場合、自動で電源を切るかどうかを設定します。バッテリー接続時のみ有効な機能です。</p> <p>On : 自動で電源を切ります。 Off : 自動で電源を切りません。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーと AC アダプター両方が接続されている場合は、AC アダプター接続が優先されます。そのため、本機能は有効になりません。
Tally	On Off	<p>本機タリーランプの点灯設定をします。</p> <p>On : タリーランプを点灯させます。 Off : タリーランプを点灯させません。</p>
Wireless Remote	On Off	<p>リモコンの操作を受け付けるかどうかを設定します。</p> <p>On : リモコンの操作を受け付けます。 Off : リモコンの操作を受け付けません。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤードリモコン接続時は設定にかかわらずリモコンの操作は受け付けません。
Reset All	—	<p>メニューの設定値をすべて初期化します。</p> <p>[Reset All] メニュー画面で “Reset” を選択し、セットレバーの中央を押すと、“Resetting...” と表示されます。[Cancel] を選択すると、リセットが実行されません。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Date/Time] (☞ 74 ページ)、[Time Zone] (☞ 74 ページ)、[Favorites Menu]、[Clip Number] 項目の設定はリセットされません。 ● カメラモードで記録中、クリップレビュー中、メディアモード時は選択できません。
Date/Time	—	<p>年 (Year)、月 (Month)、日 (Day)、時 (Hour)、分 (Minute) を設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年月日の表示順序は、[LCD/VF] メニュー → [Status Display] → [Date Style] 項目の設定に従います。ただし、時 (Hour) は [Time Style] 項目の設定に関係なく 24 時間入力となります。(☞ 72 ページ)
Time Zone	UTC+14:00 ~ UTC+00:30, UTC, UTC-00:30 ~ UTC-12:00 (30 分刻み)	<p>UTC からの時差を 30 分単位で設定します。</p> <p>[初期値: UTC+09:00(日本標準時間)]</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Date/Time] 項目を設定済みの状態で、[Time Zone] 項目を変更すると [Date/Time] 項目の値も補正されます。
System Information	システム情報を表示します。	
Version	ファームウェアのバージョン情報が表示されます。	

Media メニュー

項目	機能
Format Media	SDHC/SDXC カードをフォーマット（初期化）します。 スロットを選択し（スロット A またはスロット B）、[Cancel]/[Format] から [Format] を選択し、セットレバーの中央を押してフォーマット（初期化）します。 (☞ 21 ページ [SDHC/SDXC カードをフォーマット（初期化）する])
Restore Media	SDHC/SDXC カードを修復します。 スロットを選択し（スロット A またはスロット B）、[Cancel]/[Restore] から [Restore] を選択し、セットレバーの中央を押して SDHC/SDXC カードの修復をします。 (☞ 91 ページ [SDHC/SDXC カードを修復する]) メモ： ● 修復が必要な SDHC/SDXC カードがある場合のみ表示されます。ただし、カメラモードで記録中、クリップレビュー中は選択できません。

Setup File Manage メニュー

メニュー設定とボタン操作（[SHUTTER]、[AE LEVEL] など）を保存することができます。
撮影条件にあわせて、設定を保存しておくとう便利です。

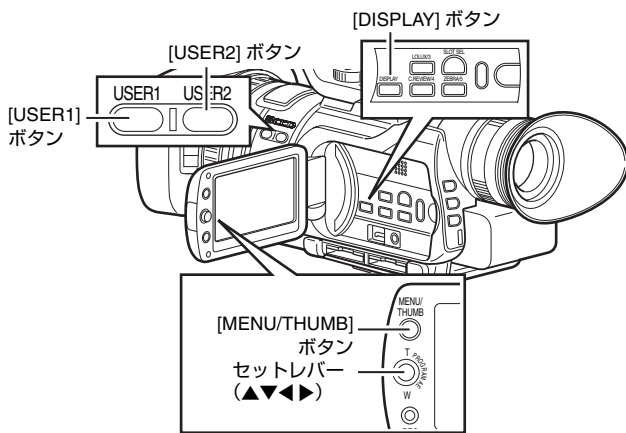
項目	設定値	機能
Load Scene File	—	設定を呼び出します。(☞ 88 ページ)
Store Scene File	—	設定を保存します。(☞ 88 ページ)

よく使うメニュー項目を登録・編集する (Favorites Menu)

よく使うメニュー項目を自由に選んで登録・編集し、オリジナルのメニュー画面 (Favorites Menu) を作成できます。

メモ： _____

- [Favorites Menu] はカメラモードのときのみ有効であり、記録フォーマットが変化しても [Favorites Menu] は共通です。
- 登録できるメニュー項目の数は 20 項目 (画面 2 ページ分) です。
- [Favorites Menu] の登録項目は、メインメニューの [Reset All] を実行しても初期化されません。



メニュー項目を Favorites Menu に登録する

- 1 [MENU/THUMB] ボタンを押し、[Main Menu] 画面をひらく
- 2 登録したいメニュー項目またはサブメニュー項目を選択する



メモ： _____

- 下記の場合、[Favorites Menu] への登録ができません。操作ガイドの [USER1 Add] がグレー表示となります。
 - すでに [Favorites Menu] に登録されている項目を選択した場合。
 - 登録できるメニュー項目の数 (20 項目) を超えている場合。

3 [USER1] ボタンを押す

追加確認画面が表示されます。

4 [Add] を選択し、セットレバーの中央を押す

選択したメニュー項目が [Favorites Menu] に追加されます。



メモ： _____

- [Favorites Menu] に表示されるメニュー項目の名称は、わかりやすいように長い名称で表示される場合があります。

Favorites Menu の編集

[Favorites Menu] に追加した項目の削除・メニューの順序の並び換えを行うことができます。

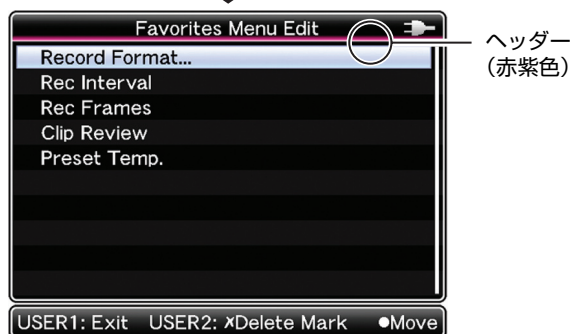
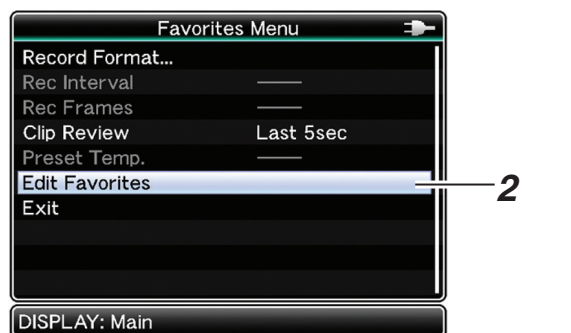
■ [Favorites Menu] に追加した項目の削除

1 [Favorites Menu] 画面をひらく

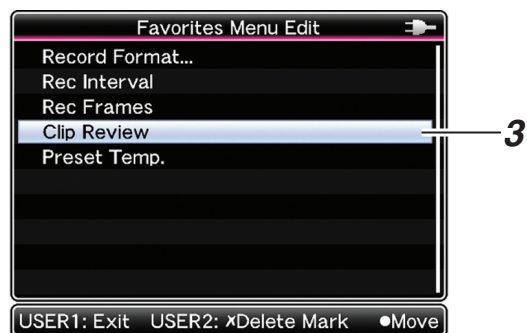
- ① [MENU/THUMB] ボタンを押し、[Main Menu] 画面をひらきます。
- ② [DISPLAY] ボタンを押し [Favorites Menu] 画面をひらきます。

2 [Edit Favorites] 項目を選択し、セットレバーの中央または、セットレバー (▶) を押す

ヘッダーが赤紫色になり、編集モードとなります。

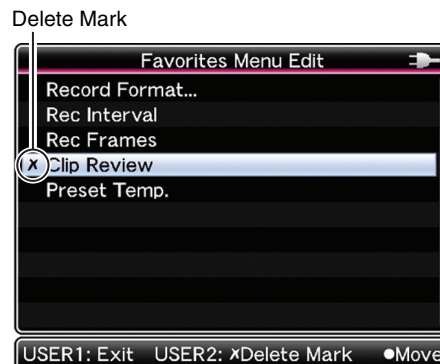


3 削除したいメニュー項目またはサブメニュー項目を選択する



4 [USER2] ボタンを押す

メニュー項目の先頭に [Delete Mark] (X) が表示されます。



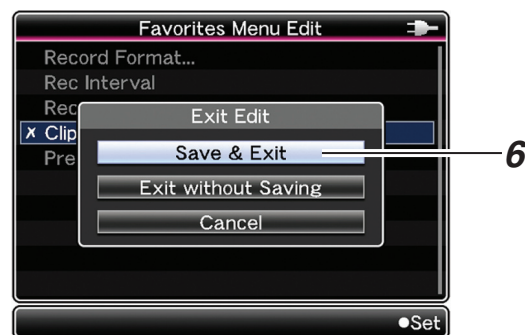
メモ :

- [Delete Mark] (X) が付いたメニュー項目が選択されているときに、再度 [USER2] ボタンを押すと削除候補からはずれ、[Delete Mark] (X) が消えます。

5 [USER1] ボタンを押す

[Favorites Menu] 編集モードの終了オプション画面が表示されます。

6 [Save & Exit] を選択し、セットレバーの中央を押す



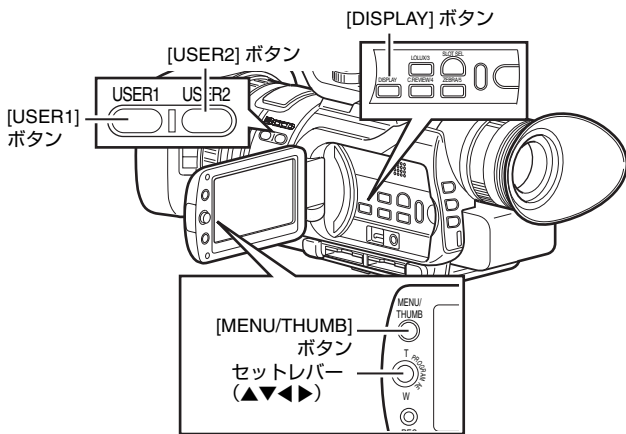
メモ :

- [Save & Exit] で変更を保存するまでは、削除は確定されません。
- 項目を削除せず、編集モードを終了する場合は、[Exit without Saving] を選択します。
- [Cancel] を選択すると、編集モードに戻ります。

よく使うメニュー項目を登録・編集する (Favorites Menu) (つづき)

Favorites Menu の編集 (つづき)

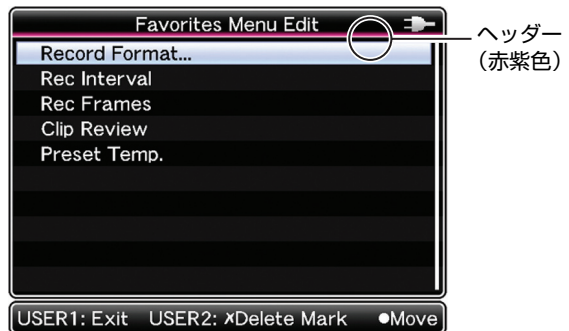
■ [Favorites Menu] 項目の並び換え



1 [Favorites Menu] 画面をひらく

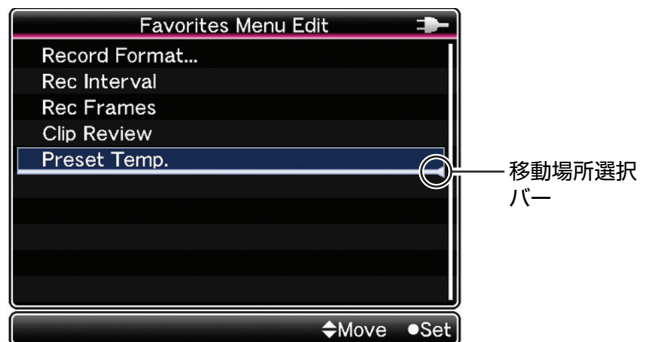
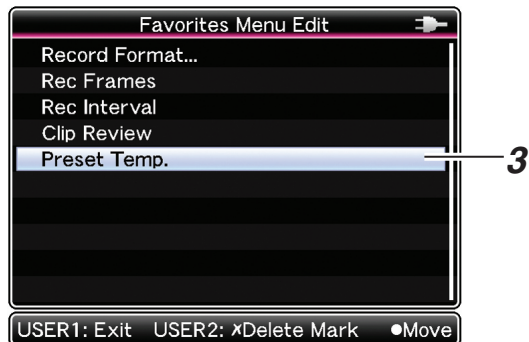
- ① [MENU/THUMB] ボタンを押し、[Main Menu] 画面をひらきます。
- ② [DISPLAY] ボタンを押し[Favorites Menu]画面をひらきます。

- 2 [Edit Favorites] 項目を選択し、セットレバーの中央または、セットレバー右 (▶) を押す
ヘッダーが赤紫色になり、編集モードとなります。



ヘッダー (赤紫色)

- 3 移動したいメニュー項目またはサブメニュー項目を選択し、セットレバーの中央を押す
移動モードとなり、移動場所の選択バーが表示されます。



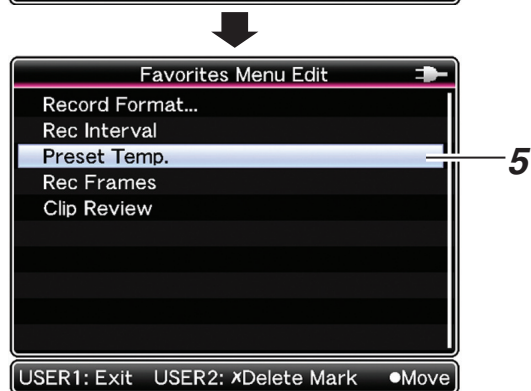
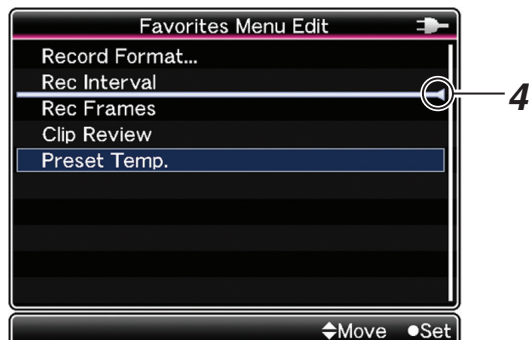
移動場所選択バー

4 セットレバー (▲▼) で移動先を選択する

セットレバー (▲▼) で移動場所の選択バーを動かし、移動先を選択します。

5 セットレバーの中央を押す

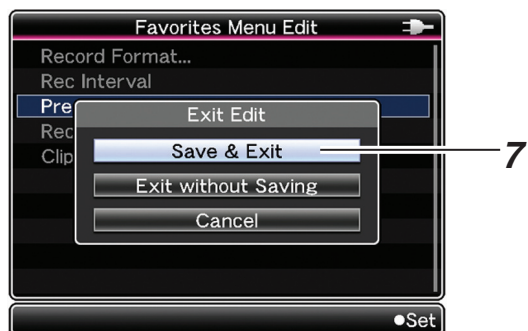
移動先に選択した項目が移動します。



6 [USER1] ボタンを押す

[Favorites Menu] 編集モードの終了オプション画面が表示されます。

7 [Save & Exit] を選択し、セットレバーの中央を押す

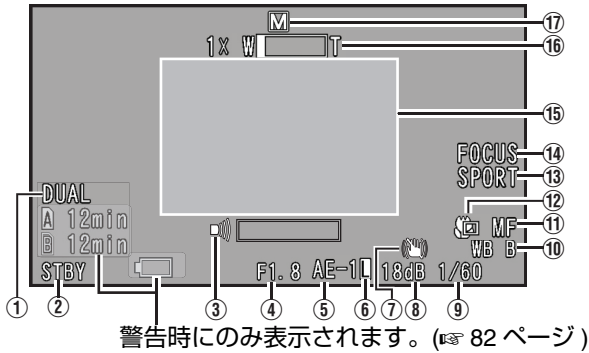


メモ:

- [Save & Exit] で変更を保存するまでは、移動は確定されません。
- 変更を保存せず、編集モードを終了する場合は、[Exit without Saving] を選択します。
- [Cancel] を選択すると、編集モードに戻ります。

カメラモード時のステータス画面

ステータス 0 画面

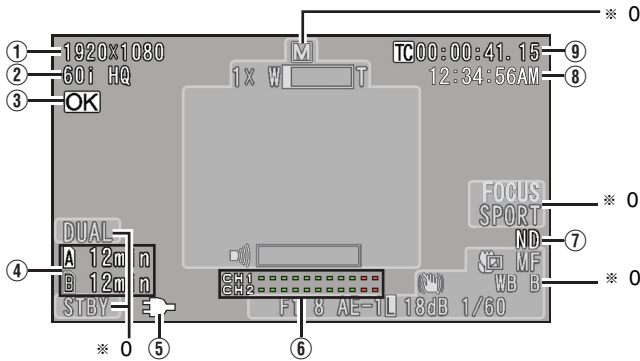


項目	説明
① カードスロット動作表示	[Record Set] メニューの [Rec Mode] → [Slot Mode] 項目で設定された、カードスロットの動作が表示されます。ただし、“Series” に設定時は表示されません。(☞ 64 ページ) DUAL : “Dual” に設定されている場合 BACKUP: “Backup” に設定されている場合 メモ: — ● [LCD/VF] メニューの [Status Display] → [Media Remain] 項目で表示 / 非表示を設定できます。(☞ 71 ページ)
② メディアの状態	---- : スロットにカードがない* STBY : 記録スタンバイ REC : 記録中 REVIEW: クリップレビュー動作中 (☞ 28 ページ) STBY P : プリレックススタンバイ (☞ 45 ページ) REC P : プリレック中 (☞ 45 ページ) STBY C : クリップコンティニュアスレックススタンバイ (☞ 45 ページ) REC C : クリップコンティニュアスレック中 (☞ 45 ページ) STBY C (黄色表示) : クリップコンティニュアスレック一時停止状態 (☞ 45 ページ) STBY I : インターバルレックススタンバイ (☞ 47 ページ) STBY I (赤色表示) : インターバルレック一時停止中 (☞ 47 ページ) REC I : インターバルレック中 (☞ 47 ページ) STBY F : フレームレックススタンバイ (☞ 46 ページ) REC F : フレームレック中 (☞ 46 ページ) STBY F (黄色表示) : フレームレック一時停止状態 (☞ 47 ページ) STOP : スロットにカードはあるが記録できない
③ スピーカー / ヘッドホン音量	音量調整時に表示されます。操作ボタンを押したあと 3 秒間表示。範囲は 0 ~ 15 です。
④ アイリス F 値	レンズのアイリス F 値を表示します。マニュアル設定時のみ表示されます。 (F1.8, F2.0, F2.2, F2.5, F2.8, F3.2, F3.5, F4.0, F4.5, F5.0, F5.6, F6.3, F7.1, F8.0)
⑤ AEレベル/スポット測光モード表示	明るさを手動調整中に表示されます。(☞ 31 ページ) マニュアル操作が禁止されている場合に操作すると“AE” が 5 秒間点滅表示されます。 (AE-6, AE-5, AE-4, AE-3, AE-2, AE-1, AE±0, AE+1, AE+2, AE+3, AE+4, AE+5, AE+6) 測光エリアの設定時、測光エリアを全体以外に設定すると顔アイコン (☞ 36 ページ) が表示されます。(☞ 36 ページ)
⑥ AE ロック / 測光ロック	AE ロック中またはスポット測光ロック中に表示されます。(☞ 31、36 ページ)
⑦ 手ぶれ補正 (OFF 時)	[OIS] が OFF のとき表示されます。
⑧ ゲイン	ゲイン値を表示します。マニュアル設定時のみ表示されます。 (0dB, 3dB, 6dB, 9dB, 12dB, 15dB, 18dB)
⑨ シャッター / Lolux	マニュアル撮影モード時、現在のシャッタースピードが表示されます。 Lolux モード時、“Lolux” と表示されます。(☞ 30 ページ) メモ: — ● シャッタースピードの可変範囲は、映像フォーマットの設定によって異なります。(☞ 35 ページ)

項目	説明	
⑩ ホワイトバランス状態	ホワイトバランスのモードを表示します。(☞ 33 ページ) P<3200K>, P<5600K> (“**00” は色温度) WB A, WB B : マニュアル撮影モード時に、オートホワイトバランス A およびオートホワイトバランス B のとき FAW : フルオートホワイトバランスモードが ON のとき	
⑪ フォーカス AF/MF	オートフォーカス“AF”かマニュアルフォーカス“MF”かを表示します。	
⑫ テレマクロ	[Camera Function] メニューの [Tele Macro] 項目が、“On” に設定されている場合にアイコンが表示されます。(☞ 65 ページ)	
⑬ プログラム AE	撮りたい被写体にあわせて露出やシャッタースピードを調整し最適な設定で撮影するプログラム AE の設定を表示します。(☞ 30 ページ) [PORT] : ポートレート [SPORT] : スポーツ [SNOW] : スノー [SPOT.L] : スポットライト [TWIL.] : 夜景	
⑭ フォーカスアシスト	フォーカスアシスト機能が ON のとき“FOCUS”と表示されます。(☞ 29 ページ)	
⑮ イベント/警告表示部	オートホワイトバランス調整をした場合など、約 3 秒間のみ設定状態を表示します。 ここに表記している以外のメッセージは、[エラー表示と対応] (☞ 93 ページ) をご覧ください。	
	表示内容	設定状態
	AUTO WHITE * OPERATION (* : A, B)	オートホワイト起動中。(☞ 33 ページ)
	AUTO WHITE * OK (* : A, B)	オートホワイトバランスの結果を表示。 (☞ 33 ページ)
	AUTO WHITE * NG:OBJECT (* : A, B)	オートホワイトの被写体不良のとき。 (☞ 33 ページ)
	AUTO WHITE * ERROR:LOW LIGHT (* : A, B)	オートホワイトの光量不足のとき。 (☞ 33 ページ)
	AUTO WHITE * ERROR:OVER LIGHT (* : A, B)	オートホワイトの光量過剰のとき。 (☞ 33 ページ)
	A AUTO	<ul style="list-style-type: none"> フルオート撮影時に [FULL AUTO] ボタンを押した場合。 マニュアル撮影時に [FULL AUTO] ボタンを 2 回押し、マニュアルからオートに切り換わった場合。([FULL AUTO] ボタンは 3 秒以内に 2 回押すとモードが切り換わります。)
	M MANUAL	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル撮影時に [FULL AUTO] ボタンを押した場合。 フルオート撮影時に [FULL AUTO] ボタンを 2 回押し、フルオートからマニュアルに切り換わった場合。([FULL AUTO] ボタンは 3 秒以内に 2 回押すとモードが切り換わります。)
	SLOT SWITCHED * (* : A, B)	カメラモードで、[SLOT SEL] ボタン (または自動) で動作 SDHC/SDXC スロットが切り換わったとき。
CLIP CUT	記録中にクリップカッター記録でクリップが分割されたとき。(☞ 41 ページ)	
OK MARK ADDED, OK MARK DELETED	OK マークの登録、削除が行われたとき (☞ 56 ページ)	
その他の表示 (☞ 93 ページ [エラー表示と対応])		
⑯ ズーム	ズーム操作時に表示されます。操作ボタンを押したあと 3 秒間表示。範囲は 1x ~ 10x です。	
⑰ 撮影モード	撮影モードを表示します。 A : フルオート撮影時 M : マニュアル撮影時	

カメラモード時のステータス画面 (つづき)

ステータス 1 画面



* 0 : ステータス 0 画面と同じ (☞ 80 ページ)

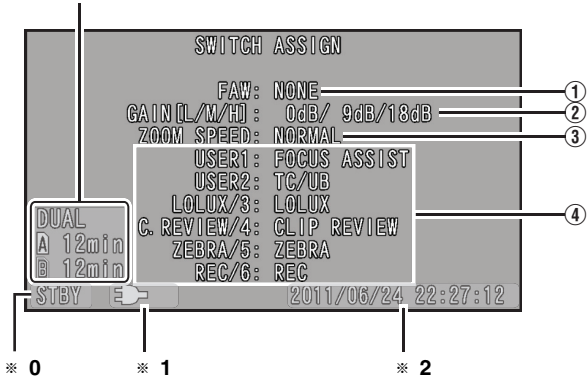
項目	説明					
① 解像度	映像の解像度が表示されます。 (1920×1080, 1440×1080, 1280×720, 720×480)					
② フレームレート/ビットレート	フレームレートとビットレートの組み合わせが表示されます。 (60p HQ, 30p HQ, 60i HQ, 60p SP, 30p SP, 60i SP, 50p HQ, 25p HQ, 50i HQ, 50p SP, 25p SP, 50i SP, 24p HQ, 24p SP, 60i)					
③ OK マーク	OK マークが付加されているとき。(☞ 56 ページ)					
④ メディア残量	A スロット、B スロットの SDHC/SDXC カードごとにカードの残り記録時間を表示します。残量が 3 分未満時は残量時間を黄色表示します。 メモ： <ul style="list-style-type: none"> ステータス 0、ステータス 4 画面では警告時のみ表示されます。(残り記録時間が 3 分未満の場合やカードが警告対象 [! 表示] の場合) <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div> : 現在選択されているスロットです。(白いカード)</div> <div> : 選択されていないスロットです。</div> <div> : 選択されていて、かつ、記録中のスロットです。(赤いカード)</div> <div> : デュアルレックやバックアップレック時の選択されていない記録中スロットです。(赤いカード)</div> <div> : 修復またはフォーマットが必要な SDHC/SDXC カード、未対応 (Class6/10 以外) の SDHC/SDXC カードです。(残量時間表示欄に "INVALID MEDIA" など警告内容が表示されます。 ☞ 93 ページ [エラー表示と対応])</div> <div> : 書き込み禁止スイッチがセットされている SDHC/SDXC カードです。</div> </div>					
⑤ 電圧・バッテリー残量	現在使用している電源の状態を表示します。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>AC アダプターで駆動しています。</td> </tr> <tr> <td> (赤) : 1%未満 (赤) : 1%~ 20% (黄) : 21%~ 30% (黄) : 31%~ 40% (緑) : 41%~ 70% (緑) : 71%~ 100%</td> <td> バッテリーで駆動しています。 メモ： ● 表示は、[LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Battery Info] 項目で、表示項目を設定できます。(☞ 72 ページ) </td> </tr> </tbody> </table>	表示	説明		AC アダプターで駆動しています。	(赤) : 1%未満 (赤) : 1%~ 20% (黄) : 21%~ 30% (黄) : 31%~ 40% (緑) : 41%~ 70% (緑) : 71%~ 100%
表示	説明					
	AC アダプターで駆動しています。					
(赤) : 1%未満 (赤) : 1%~ 20% (黄) : 21%~ 30% (黄) : 31%~ 40% (緑) : 41%~ 70% (緑) : 71%~ 100%	バッテリーで駆動しています。 メモ： ● 表示は、[LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Battery Info] 項目で、表示項目を設定できます。(☞ 72 ページ)					
⑥ オーディオレベルメーター	CH-1、CH-2 のオーディオレベルが表示されます。音声記録ができないモードおよび、サポート外のオーディオの場合、⊙ マークが表示されます。 メモ： <ul style="list-style-type: none"> [LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Audio Meter] 項目で、表示の ON/OFF を設定できます。(☞ 72 ページ) 					

カメラモード時のステータス画面（つづき）

ステータス 3 画面

スイッチへの機能割付状態を一覧で表示します。

※ 1: (警告時にのみ表示)

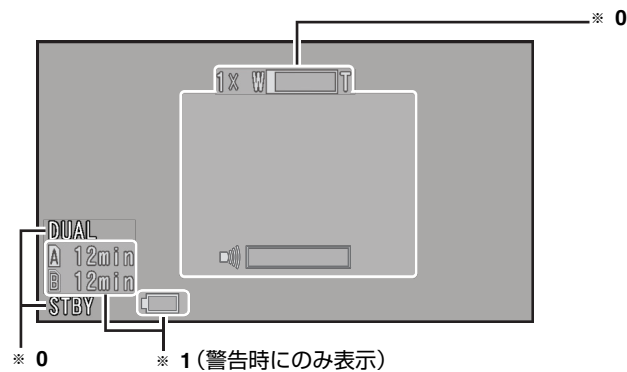


- ※ 0: ステータス 0 画面と同じ (☞ 80 ページ)
- ※ 1: ステータス 1 画面と同じ (☞ 82 ページ)
- ※ 2: ステータス 2 画面と同じ (☞ 83 ページ)

項目	説明
① [FAW] 機能割り付け	FAW 機能が [WHT.BAL] スイッチのどのポジションに割り付けられているかが表示されます。(NONE, A, B, PRESET)
② [GAIN] 切換スイッチ設定	[GAIN] スイッチ [L]/[M]/[H] それぞれのポジションの設定値が表示されます。(0dB, 3dB, 6dB, 9dB, 12dB, 15dB, 18dB, AGC)
③ [Zoom Speed] 切換設定	セットレバーおよびリモコンによるズーム操作の速度設定値が表示されます。(-2, -1, Normal, 1)
④ ユーザーボタン機能設定	[USER1] ボタン、[USER2] ボタン、[LOLUX/3] ボタン、[C.REVIEW/4] ボタン、[ZEBRA/5] ボタン、[REC/6] ボタンの設定状態が表示されます。(☞ 66 ページ) (NONE, REC*, LOAD FILE, OK MARK, CLIP CUTTER TRIG, BACKUP TRIG, AE AREA, CLIP REVIEW, REC STOP, ZEBRA, LOLUX, TELE MACRO, TC/UB, BARS, FOCUS ASSIST) ※ “REC” は [REC/6] にのみ割り付け可能

ステータス 4 画面

イベント表示またはワーニング表示のみ表示します。



- ※ 0: ステータス 0 画面と同じ (☞ 80 ページ)
- ※ 1: ステータス 1 画面と同じ (☞ 82 ページ)

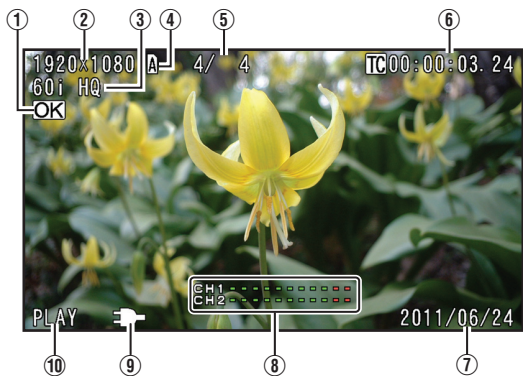
メディアモード時のステータス画面

メディアモード時のステータス画面の表示です。

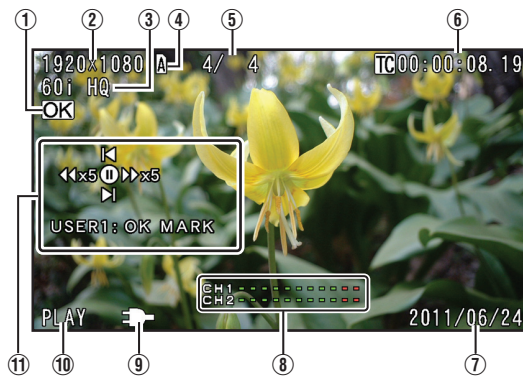
ステータス 0 画面

メディアの状態やイベント表示またはワーニング表示のみ表示します。

ステータス 1、2 画面



ステータス 1 画面

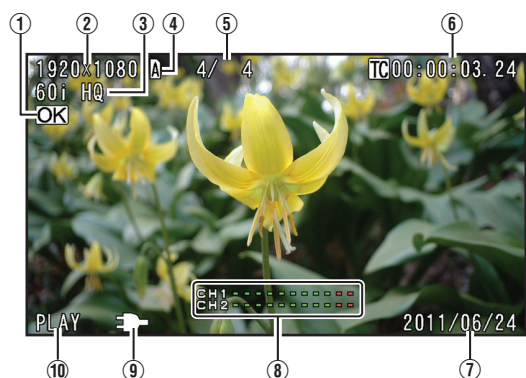


ステータス 2 画面

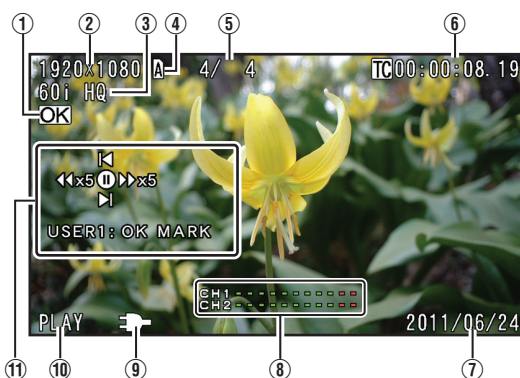
項目	説明
① OK マーク	OK マークが付加されているとき。(☞ 56 ページ)
② 解像度	映像の解像度が表示されます。 (1920×1080, 1440×1080, 1280×720, 720×480)
③ フレームレート/ビットレート	フレームレートとビットレートの組み合わせが表示されます。 (60p HQ, 30p HQ, 60i HQ, 60p SP, 30p SP, 60i SP, 50p HQ, 25p HQ, 50i HQ, 50p SP, 25p SP, 50i SP, 24p HQ, 24p SP, 60i)
④ メディア	再生中のクリップが入っているメディアスロット (A か B) を表示します。 SDHC/SDXC カードが書き込み禁止になっている場合、鍵マークが表示されます。
⑤ クリップ情報	現在のクリップ番号 / 全クリップ数。
⑥ タイムコード (TC) / ユーザーズビット (UB)	タイムコード (時 : 分 : 秒 : フレーム) またはユーザーズビットデータを表示します。 TC : タイムコード UB : ユーザーズビット タイムコードのフレーミングモード表示は、下記をご覧ください。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> 00:00:00:00 </div> <div> ノンドロップフレームはコロン (:) ↳ ドロップフレームはドット (.) </div> </div> メモ : ● [LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [TC/UB] 項目で、表示の ON/OFF を設定できます。 (☞ 72 ページ)
⑦ 日付・時刻	再生している SDHC/SDXC カードに記録されている日付・時刻が表示されます。 ご注意 : ● 日付・時刻の表示スタイルは、[LCD/VF] メニュー → [Status Display] → [Date Style]/[Time Style] 項目で設定できます。(☞ 72 ページ)

メディアモード時のステータス画面 (つづき)

ステータス 1、2 画面 (つづき)



ステータス 1 画面



ステータス 2 画面

項目	説明	
⑧ オーディオレベルメーター		CH-1、CH-2 のオーディオレベルが表示されます。 メモ： ● [LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Audio Meter] 項目で、表示の ON/OFF を設定できます。(P. 72 ページ)
⑨ 電圧・バッテリー残量	現在使用している電源の状態を表示します。	
	表示	説明
	 (赤) : 1%未満 (赤) : 1%~ 20% (黄) : 21%~ 30% (黄) : 31%~ 40% (緑) : 41%~ 70% (緑) : 71%~ 100%	AC アダプターで駆動しています。 バッテリーで駆動しています。 メモ： ● 表示は、[LCD/VF] メニュー画面 [Status Display] の [Battery Info] 項目で、表示項目を設定できます。(P. 72 ページ)
⑩ メディアの状態	PLAY : 再生中 STILL : 一時停止中 FWD : フォワードサーチ中 REV : リバースサーチ中 POFF : 電源 OFF 移行時	
⑪ 操作ガイド	現在操作できるボタンの操作ガイドが表示されます。	

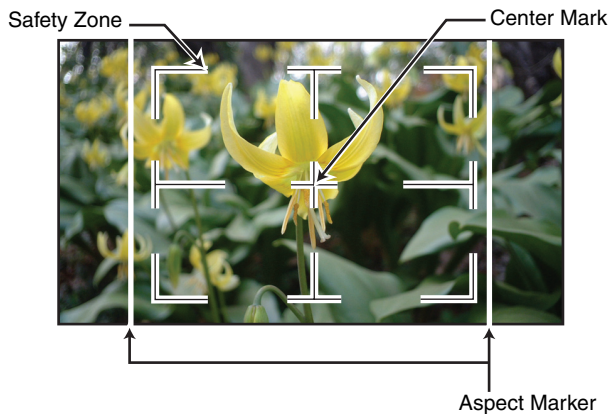
マーカー表示およびセーフティゾーン表示

適用：カメラモード

撮影の目的に応じて映像の画角を決めるとき、マーカーやセーフティゾーンを表示すると便利です。

[LCD/VF]メニュー画面 [Marker Setting] の [Aspect Ratio]、[Safety Zone] および [Center Mark] 項目で設定します。(☞ 71 ページ)

■ [Aspect Ratio] = “4:3”、[Aspect Marker]=“On”、[Center Mark]=“On” の場合の表示例



セットアップファイルの設定方法

適用：カメラモード

本機では、メニューの設定値をセットアップファイルとして SDHC/SDXC カードに保存しておくことができます。(本機には保存できません。)

保存したセットアップファイルを呼び出すことによって適切なセットアップ状態をすばやく再現することができます。

■ シーンファイル：

ビデオフォーマットの設定から、機器設定、撮影条件などにあわせた画作り設定まで、メニューの設定データおよび [Favorites Menu] の登録内容を対象とするファイル。

セットアップファイルの保存や呼び出しは、[Setup File Manage] メニューにて行います。

[Setup File Manage] メニューでは下記操作が行えます。

- セットアップファイルの保存 (☞ 87 ページ)
- セットアップファイルの呼び出し (☞ 88 ページ)

■ 扱い可能なファイル数

スロット A、B それぞれの SDHC/SDXC カードに 8 つずつ保存できます。

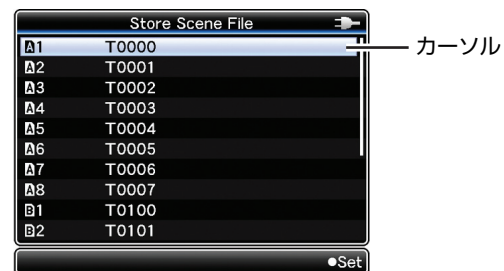
セットアップファイルの保存

1 [Setup File Manage] メニューを表示させる

[Main Menu] 画面で、[Setup File Manage] メニューを選択しセットレバーの中央を押します。(☞ 75 ページ)

2 [Store Scene File] 項目を選択しセットレバーの中央を押す
設定されているファイルが表示されます。

3 セットレバー (▲▼) で新規保存 (または上書き保存) するファイルを選択しセットレバーの中央を押す



[Store Scene File] メニュー画面

メモ：

- 下記の場合、書き込みできません。(グレー表示、選択不可)
 - 挿入されている SDHC/SDXC カードが未対応 (SDHC/SDXC Class 6/10 以外、または未フォーマット) のとき。(サブネームが “---” と表示される。)
 - 書き込み禁止スイッチがセットされている SDHC/SDXC カードが挿入されているとき (SDHC/SDXC カードアイコンのとなりに 🔒 マークが表示。)

セットアップファイルの設定方法 (つづき)

4 ファイルに名前をつける

ソフトウェアキーボードでサブネームを入力します。

■ ソフトウェアキーボードの操作説明 (P. 59 ページ)



メモ:

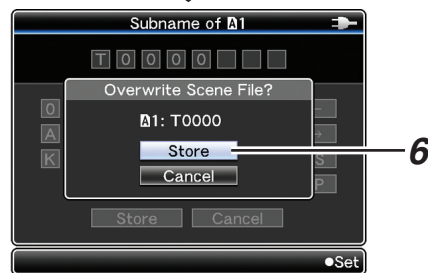
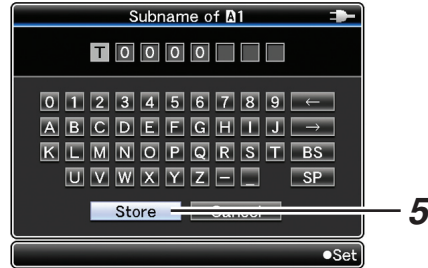
- ファイルに上書きする場合、ファイルのサブネームが入力済みの状態で表示されます。
- [Cancel] を選択しセットレバーの中央を押すと前画面に戻ります。

名称	説明
① 文字入力枠	タイトル入力枠です。 [Scene File] のサブネームは 8 文字まで入力できます。
② 文字カーソル	ボタンカーソル ④ を移動して文字を選択し、セットレバーの中央を押すと文字カーソルがある位置に文字が入力され、文字カーソルが右に移動します。 文字カーソル移動ボタン ⑥ でカーソルの位置を移動できます。
③ 文字ボタン	セットレバー (▲▼◀▶) でボタンカーソル ④ を移動させ、入力する文字を選択します。
④ ボタンカーソル	選択されている文字・項目です。 セットレバー (▲▼◀▶) で移動します。
⑤ 動作決定ボタン	[Store] を選択しセットレバーの中央を押すとタイトルが決定されます。 [Cancel] を選択しセットレバーの中央を押すと文字入力が破棄され、前の画面に戻ります。
⑥ 文字カーソル移動ボタン	文字カーソル ② の位置を移動します。
⑦ [BS] バックスペースボタン	[BS] を選択し、セットレバーの中央を押すと、文字カーソル ② の左にある文字が削除されます。
⑧ [SP] スペースボタン	[SP] を選択し、セットレバーの中央を押すと、文字カーソル ② にスペースが入力されます。

5 動作決定ボタン⑤の[Store]を選択しセットレバーの中央を押す

確認画面が表示されます。

6 確認画面で [Store] を選択し、セットレバーの中央を押す
保存が開始され、画面に“Storing...”と表示されます。



メモ:

- ファイルを保存しない場合は [Cancel] を選択しセットレバーの中央を押すと前画面に戻ります。
- ファイルの保存に失敗した場合、“Store Error!” (赤枠) と数秒表示され、前画面に戻ります。

7 保存完了

ファイルの保存が完了したら、画面に“Complete”と表示され、自動的にメニュー画面がとじます。

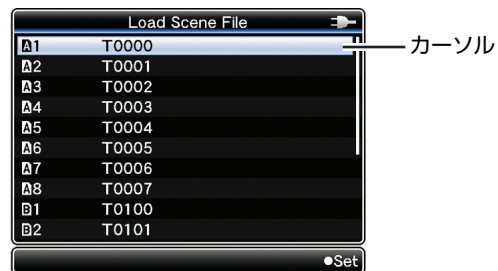
セットアップファイルの呼び出し

1 [Setup File Manage] メニューを表示させる

[Main Menu] 画面で、[Setup File Manage] メニューを選択しセットレバーの中央を押します。(P. 75 ページ)


2 [Load Scene File] 項目を選択しセットレバーの中央を押す
設定されているファイルが表示されます。

3 セットレバー (▲▼) で呼び出すファイルを選択しセットレバーの中央を押す

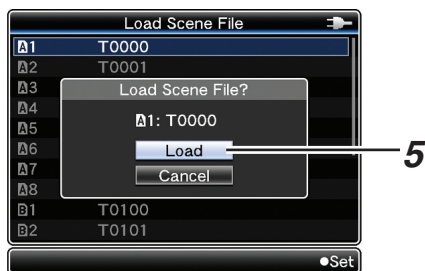


[Load Scene File] メニュー画面

メモ:

- 書き込み禁止スイッチがセットされている SDHC/SDXC カードが挿入されている場合、SDHC/SDXC カードアイコンのとなりに  マークが表示されます。書き込み禁止スイッチがセットされている SDHC/SDXC カードでも、ファイルの呼び出しはできます。
- まったく互換性のないセットアップファイルは表示されません。

4 確認画面で [Load] を選択し、セットレバーの中央を押す呼び出しが開始され、画面に “Loading...” と表示されます。



メモ:

- ファイルを呼び出さない場合は [Cancel] を選択すると前画面に戻ります。
- ファイルの呼び出しが失敗した場合、“Load Error!” (赤枠) と数秒表示され、前画面に戻ります。

5 取り込みの終了

- ファイルの呼び出しが完了したら、画面に “Please Wait” と表示され、自動的にメニュー画面がとじます。
- その後、再起動します。

パソコンでクリップを管理・編集する

パソコンにクリップを取り込む (USB モード)

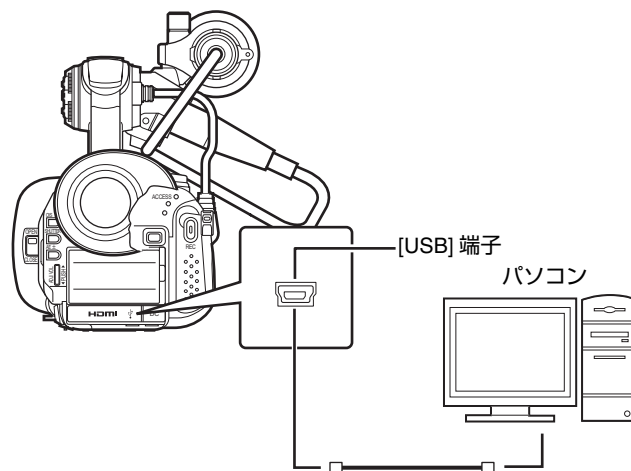
SDHC/SDXC カードに収録されているクリップをパソコンで管理・編集するために、本機とパソコンを USB で接続し、パソコンにクリップを取り込むことができます。このモードは、パソコンなどからその周辺機器のドライブとして認識される USB マスストレージクラスのみであり、接続パソコンから SDHC/SDXC カード上のファイルの操作を行うことができます。

メモ:

- SDHC/SDXC カードへの書き込みはできません。
- MP4ファイルフォーマットで記録されたファイルの操作は、必ず添付の CD-ROM に収録されているパソコン用アプリケーションソフトウェア (JVC ProHD Clip Manager) で行ってください。
- アプリケーションソフトインストールの方法は、付属の CD-ROM に収録されている [JVC ProHD Clip Manager] の [User's Guide] をご覧ください。

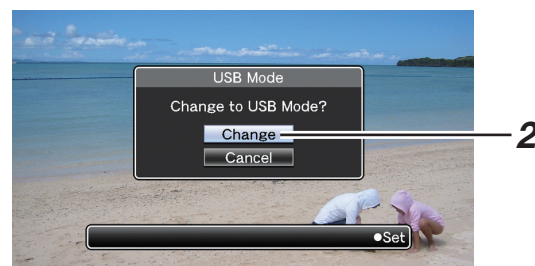
1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続する

USB 接続を有効にするかどうかを確認するメッセージ “Change to USB Mode” が表示されます。



2 セットレバー (▲▼) で [Change] を選択し、セットレバーの中央を押す

USB モードに切り換わります。



メモ:

- 記録中の場合、記録停止した段階で “Change to USB Mode” のメッセージが表示されます。
- 再生中であれば再生停止など、ファイルを自動的にとじてから移行します。

■接続の解除

接続パソコン上で、接続解除の操作を行い、USB ケーブルを本体から抜きます。

USB モードが解除され、カメラモードに切り換わります。

メモ:

- 接続解除の方法は、お使いのパソコンによって異なります。パソコンの [取扱説明書] をご覧ください。

パソコンでクリップを管理・編集する (つづき)

パソコンが SDXC カードを認識しないとき
パソコンの OS (基本ソフト) をアップデートしてください。

Windows XP/ Windows XP SP1	SP2 以上にアップデートが必要です。
Windows XP SP2/ Windows XP SP3	更新されたバージョンのダウンロードが必要です。(KB955704) http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=1CBE3906-DDD1-4CA2-B727-C2DFF5E30F61&displaylang=ja
Windows Vista	SP1 以上にアップデートが必要です。
Windows Vista SP1/ Windows Vista	更新されたバージョンのダウンロードが必要です。(KB975823) <ul style="list-style-type: none"> ● 32bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=2d1abe01-0942-4f8aabb2-2ad529de00a1 ● 64bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=7d54c53f-017c-4ea5-ae08-34c3452ba315
Windows 7	更新されたバージョンのダウンロードが必要です。(KB976422) <ul style="list-style-type: none"> ● 32bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=3e91fc2-a9bc-4ee1-aca3-2a9aff5915ea ● 64bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=73f766dd-7127-4445-b860-47084587155f

モニターで映像を見る

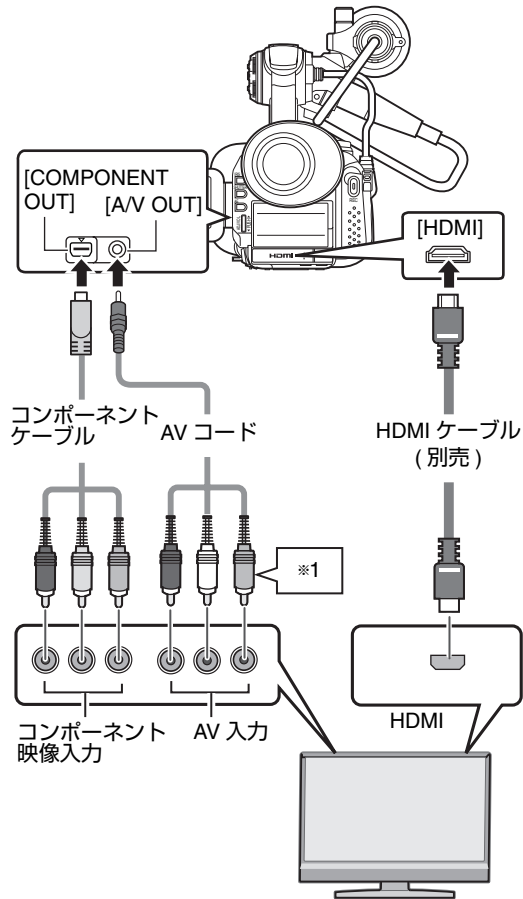
適用：カメラモード、メディアモード

本機は、映像出力端子が 3 つあります。
ご使用のモニターに最適な端子をお使いください。

[AV OUT] 端子：コンポジットビデオ信号と音声信号を出力します。

[COMPONENT OUT] 端子：コンポーネントビデオ信号を出力します。音声は出力しません。[A/V Out] メニューの [Component Output] 項目で解像度を設定します。(☞ 73 ページ)

[HDMI] 端子：HDMI 信号を出力します。
[A/V Out] メニューで接続するモニターにあわせるための設定を行います。[HDMI Output]、[HDMI Color Setting]、[HDMI Enhance Setting](☞ 73 ページ)



※1：コンポーネント端子使用時、AV コードのビデオ端子は使用しません。

■ 出力端子を同時に接続した場合、下記ようになります。

- [HDMI] 端子は、常に映像と音声を出力します。
- [COMPONENT OUT] 端子と [A/V OUT] 端子を接続した場合、[COMPONENT OUT] 端子から映像を出力し、[A/V OUT] 端子から音声を出力します。
- [HDMI] 端子と [COMPONENT OUT] 端子を接続した場合、[COMPONENT OUT] 端子からは、メニューで設定したアナログコンポーネント信号よりも [HDMI Output] メニューで選択した信号が優先して出力されます。
- [HDMI] 端子と [A/V OUT] 端子を接続した場合、[HDMI] 端子から映像を出力します。音声は両方の端子から出力されます。

メモ：

- コンポーネントケーブルは、必ず付属のコンポーネントケーブルを使用してください。
- [A/V Out] メニューで以下の項目を設定できます。
[Video Output]：モニターに表示するサイズを合わせる。(4:3 または 16:9)
[Display On TV]：オンスクリーン表示するかどうかを設定します。
- [HDMI] 端子、[COMPONENT OUT] 端子または [A/V OUT] 端子を接続時、ビューファインダーに映像は表示されません。
- [HDMI] 端子、[COMPONENT OUT] 端子または [A/V OUT] 端子のケーブルを抜き差しすると、LCD モニターやビューファインダーにノイズが出ることがありますが故障ではありません。また、記録される映像には影響ありません。

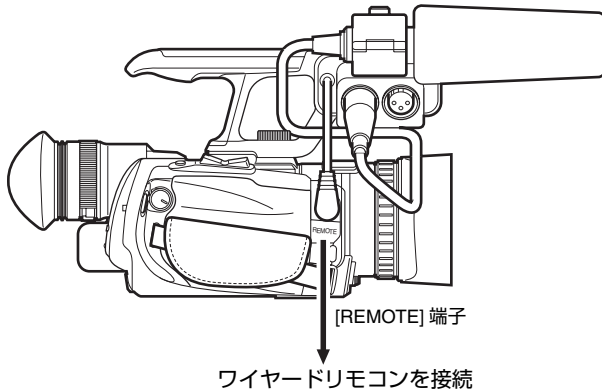
ワイヤードリモコンの接続

適用：カメラモード

本機の機能をワイヤードリモコンを使用して操作します。

1 本機にワイヤードリモコンを接続する

本機 [REMOTE] 端子にワイヤードリモコン（別売）を接続します。



ご注意：

- ワイヤードリモコンを接続するときは、本機の電源を切ってください。

2 本機の電源を ON にする

SDHC/SDXC カードを修復する

適用：カメラモード

SDHC/SDXC カードを修復する

何らかの原因で SDHC/SDXC カード内のデータに異常が発生した場合、SDHC/SDXC カードの修復が必要になります。修復が必要な SDHC/SDXC カードを挿入すると、メディア残量表示部に “! RESTORE” と表示されます。

メモ：

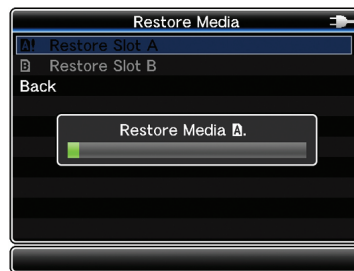
- サムネイル画面時、修復が必要な SDHC/SDXC カードを挿入すると、“Restore Media” のメッセージが LCD モニター/ビューファインダー画面に表示されます。メッセージ表示を解除するには、セットレバーの中央を押します。

1 [Media] メニューの [Restore Media] を選択する
(☞ 75 ページ)

2 修復する SDHC/SDXC カードを選択し、セットレバーの中央を押す



3 修復が開始される



4 修復完了

- 修復が完了すると“Complete”と表示され [Restore Media] 画面に戻ります。
- 修復可能なメディアがスロット内に存在しなくなった場合、[Media] メニュー画面に戻ります。



ご注意：

- [Restore Media] は、カメラモード以外では選択できません。また、カメラモードにおいても記録中は選択できません。修復する場合は、カメラモードで記録を行っていない状態で [Restore Media] を選択してください。
- [Restore Media] はすべての状態を復旧するものではありません。修復が失敗した場合は SDHC/SDXC カードを交換するかフォーマットを実行してください。ただし、フォーマットするとカード内のすべての情報が削除されます。

メモ：

- 下記の場合は修復できません。
 - ・ カードが挿入されていない。
 - ・ 書き込み禁止スイッチがセット (🔒 が表示) されている SDHC/SDXC カード。
 - ・ 修復の必要がない。

SDHC/SDXC カードに記録されるクリップについて

SDHC/SDXC カード内のフォルダー

撮影画像は SDHC/SDXC カード内の [PRIVATE]→[JVC] フォルダに記録されます。

下記のメニュー設定によってそのフォルダの下にフォルダ分けされ、記録されます。

System Definition 設定	File Format 設定	記録フォルダー
HD (MPEG2)	MOV	CQAV
HD (MPEG2)	MP4	BPAV
SD (DV)	MOV	CQDV
SD (DV)	AVI	CADV

メモ:

- 本機の [Format Media] メニューから SDHC/SDXC カードをフォーマット (初期化) することで、現在の [System Definition] 設定および [File Format] 設定での記録に必要なフォルダが生成されます。
- [System Definition] 設定および [File Format] 設定を変更した場合、その設定での記録に必要なフォルダは自動的に生成されます。

ご注意:

- Explorer (Windows 環境) や Finder (Mac 環境) を使用してフォルダ内のクリップを移動や削除した場合、その SDHC/SDXC カードはフォーマット (初期化) を実行しないと記録できなくなる場合があります。

クリップ (記録データ) とクリップ名

記録を停止すると、開始から停止までの画像、音声および付随データがひとつの「クリップ」として SDHC/SDXC カードに記録されます。

本機で記録されるクリップには、自動的に 8 文字のクリップ名が生成されます。(Clip Name Prefix + Clip Number)

例)

ABCG0001

Clip Number

記録順につけられる番号で自動的にカウントアップします。

メニューでクリップ番号をリセットすることが可能です。

※ [Main Menu]→[Record Set]→[Clip Set]→[Reset Clip Number] (☞ 64 ページ)

Clip Name Prefix (任意の 4 桁英数字)

工場出荷時は、“xxxG” (“xxx” はシリアル番号の下 3 桁) に設定されています。

メモ:

- [Main Menu]→[Record Set]→[Clip Set]→[Clip Name Prefix] 項目で記録開始前に任意の文字列に設定することが可能です。(☞ 64 ページ)
- 記録後に変更することはできません。

記録されるクリップについて

本機では、ファイルサイズの関係で、記録された素材が複数のファイルに分割されることがありますが、本機では連続した再生が可能です。クリップの記録時間によっては、カードスロット A とカードスロット B に挿入した 2 枚の SDHC/SDXC カードにまたがって記録されることがあります。パソコンを使用して HDD などにコピーする場合は、連続性を保つため、付属の CD-ROM に収録されている [JVC Clip Manager Software] を使用することをおすすめします。

ご注意:

- 複数のカードにまたがって記録されたクリップは連続再生できません。1 カード内でのみ連続再生が可能です。

エラー表示と対応

アラーム状況に応じて、LCD モニター画面 / ビューファインダー画面のアラーム表示、タリーランプは表のように表示または出力されます。

メモ：――

- 本機はマイクロコンピュータを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズによって、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源を入れなおしてください。

エラー表示		状況	処置
ステータス画面	メニュー画面 サムネイル画面		
INCORRECT MEDIA [***]	Incorrect Media [***]	サポート外の SDHC/SDXC カード (Class6/10 以外) です。 (*** : A、B、A/B)	Class6/10 対応の SDHC/SDXC カードを挿入してください。 (☞ 7 ページ)
INVALID MEDIA [***]	Invalid Media [***]	<ul style="list-style-type: none"> ● 修復が困難なエラーを検出した場合。 ● SDHC/SDXC カードの読み込み・書き込み時のエラーです。 (SDHC/SDXC カードの問題) (***) : A、B、A/B	別の SDHC/SDXC カードに取り換えてください。
FORMATTING REQUIRED [***]	Formatting Required [***]	本機でフォーマットされた SDHC/SDXC カードではありません。 (*** : A、B、A/B)	本機でフォーマットしてください。 (☞ 21 ページ)
RESTORE MEDIA [***]	Restore Media [***]	<ul style="list-style-type: none"> ● SDHC/SDXC カードの修復が必要です。 ● 記録が正常終了しませんでした。(瞬断 / カード抜き) (***) : A、B、A/B	本機で修復してください。 (☞ 91 ページ)
CHECK LENS COVER NO MEDIA	---	<ul style="list-style-type: none"> ● レンズカバーがとじている可能性があります。(起動時のみ確認) 	レンズカバーをあけてください。
---	---	<ul style="list-style-type: none"> ● SDHC/SDXC カードを挿入していないのに [REC] ボタンを押した場合。 ● バックアップレックモード時、記録しようとしたスロットに SDHC/SDXC カードがない場合。 	SDHC/SDXC カードを挿入してください。 (☞ 20、43 ページ)
---	No Media	メディアモード時または、サムネイル画面で SDHC/SDXC カードが未挿入の場合。	SDHC/SDXC カードを挿入してください。 (☞ 20 ページ)
---	No Clips	メディアモード時または、サムネイル画面で挿入した SDHC/SDXC カードに CLIP が入っていない場合。	再生可能なクリップの入っている SDHC/SDXC カードを入れてください。 (☞ 20、48 ページ)
NO CLIP	---	クリップレビューしようとしたカードにレビュー可能なクリップがない場合。	レビュー可能なクリップの入っている SDHC/SDXC カードを入れてください。 (☞ 20、48 ページ)
REC INHIBITED	---	書き込み禁止スイッチがセットされた SDHC/SDXC カードで [REC] ボタンを押した場合。	SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチを解除するか、記録可能な SDHC/SDXC カードを挿入してください。 (☞ 21 ページ)
LOST MEDIA INFO [*]	Lost Media Info [*]	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録中のカードが抜かれた場合。 ● フォーマット中のカードが抜かれた場合。 ● 修復中のカードが抜かれた場合。 ● OK マーク書き込み中のカードが抜かれた場合。 ● セットアップファイル書き込み中のカードが抜かれた場合。 ● クリップ削除中のカードが抜かれた場合。 (** : A、B)	本機で修復してください。 (☞ 91 ページ)

エラー表示と対応（つづき）

エラー表示		状況	処置
ステータス画面	メニュー画面 サムネイル画面		
VIDEO FORMAT INCORRECT	—	<ul style="list-style-type: none"> クリップレビューしようとしたファイルのビデオフォーマットが、カメラの [Frame & Bit Rate] の設定と異なる場合。 	[Camera Resolution] および [Frame & Bit Rate] を正しく設定してください。 (☞ 63 ページ)
MEDIA FULL	—	<ul style="list-style-type: none"> 記録容量がないのに、[REC] ボタンを押した場合。 記録中に残量がなくなった場合。 メモ： <ul style="list-style-type: none"> パソコンなどの空き領域表示で容量が残っている場合でも表示される場合があります。(☞ 20 ページ) 	別の SDHC/SDXC カードに取り換えてください。
READING MEDIA INFO	—	<ul style="list-style-type: none"> 挿入したカードをチェック中に記録操作した場合。 	カード挿入後、カードスロット状態表示ランプが点灯してから記録ボタンを押してください。
GETTING OVERHEATED PLEASE TURN P.OFF	PLEASE TURN P.OFF	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー温度が上昇した場合。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切ってしばらく時間をあけてから使用してください。 別のバッテリーに交換してください。
BATTERY COM. ERROR	---	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー通信エラーの場合。 	<ul style="list-style-type: none"> 別のバッテリーに交換してください。

タリーランプについて

記録時に SDHC/SDXC カードの残量が少なくなったり、バッテリーの残量が少なくなると点滅します。

点滅状況	バッテリー /SDHC/SDXC カード残量
ゆっくり点滅 (1 秒間に 1 回)	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー残量が少ない場合 SDHC/SDXC カード残量が 3 分未満の場合
早く点滅 (1 秒間に 2 回)	<ul style="list-style-type: none"> SDHC/SDXC カード容量が一杯になった場合 本機に異常が発生した場合

こんなときは

修理を依頼される前に、もう一度以下の表にしたがってご確認ください。
それでも不具合があるときは、お近くのご相談窓口にお問い合わせください。

症状	処置
SDHC/SDXC カードが入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● SDHC/SDXC カードの向きを確認してください。
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● AC アダプターが正しく接続されていますか？ ● バッテリーは充電されていますか？ ● 電源を切ったあと、すぐに電源を入れなかったですか？電源の再立ち上げは 5 秒以上時間をあけてから行ってください。
記録ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチがセットされていませんか？セットされている場合は、解除してください。(☞ 21 ページ) ● カメラモードになっていますか？[CAM] 表示灯が赤色に点灯していない場合は、カメラ画を出力しません。[CAM/MEDIA] スイッチを [CAM] 側に押し、カメラモードに切り換えてください。(☞ 13 ページ)
LCD モニター画面やビューファインダー画面にカメラ画が出力されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラモードになっていますか？[CAM] 表示灯が赤色に点灯していない場合は、カメラ画を出力しません。[CAM/MEDIA] スイッチを [CAM] 側に押し、カメラモードに切り換えてください。(☞ 13 ページ) ● [LCD/VF] メニューの [VF Slide SW] の項目が “Enable” に設定されており、ビューファインダーを引き出さずにビューファインダーを使用していませんか？本設定時でビューファインダーを使用するときは引き出して使用してください。(☞ 70 ページ) ● [HDMI] 端子、[COMPONENT OUT] 端子または [AV OUT] 端子を接続時、ビューファインダーに映像は表示されません。ケーブルをはずしてください。
勝手に撮影が停止した。	<ul style="list-style-type: none"> ● SDHC/SDXC カード要因で記録が途中で停止することがあります。 ⇒ 推奨の Class6 以上のカードかどうかを確認する。(☞ 7 ページ) ⇒ SDHC/SDXC カードの中身を消す (削除、フォーマット)。(☞ 21 ページ)
LCD モニター画面やビューファインダー画面の画像が暗い、ぼやけている。	<ul style="list-style-type: none"> ● LCD モニター画面やビューファインダーの明るさを調整しなおしてください。(☞ 20 ページ) ● [ND FILTER] が “ON” になっていませんか？ ● アイリスがとじていませんか？ ● シャッター速度が速すぎる設定になっていませんか？
被写体が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> ● Lolux モードで撮影してください。(☞ 30 ページ) ● 明るさ補正を [+] 側に設定してください。(☞ 31 ページ) ● マニュアル撮影モードにして [GAIN] スイッチで感度を上げてください。(☞ 25 ページ) ● [GAIN] スイッチを “AGC” に設定してください。(☞ 66 ページ) ● 絞りを開放側に設定してください。(☞ 36 ページ)
被写体の色が不自然。 (赤っぽい、青っぽいなど)	<ul style="list-style-type: none"> ● 照明や背後にいろいろな光源があるときは、マニュアル撮影モードにしてオートホワイトバランス調整を行なってください。(☞ 33 ページ) ● ホワイトポイント調整で赤味および青味を調整してください。(☞ 34 ページ)
自動でピントがあわない。	<ul style="list-style-type: none"> ● レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭いてください。 ● 暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスを使用してください。
ホワイトバランスを設定できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● プログラム AE の [Twilight] モードになっていませんか？[Twilight] モード時はホワイトバランスを設定できません。
画面が暗い、または白くなる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面の角度や明るさを調整してください。(☞ 22 ページ) ● 寒いところでは多少暗くなります。 ● 寿命が短くなっている可能性があります。お近くのご相談窓口へお問い合わせください。
画面が見えにくい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 直射日光下など周囲が明るいと、見えにくくなります。
バッテリー残量が正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電してください。(☞ 16 ページ) ● 高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していたりすると、正しく表示できないことがあります。
画面の表示にムラがでる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく待ってください。(圧迫すると、映像ムラが生じます。)

こんなときは (つづき)

症状	処置
モニターテレビに表示がでない。	● [AV Out] メニューの [Display On TV] 項目を “On” に設定してください。(☞ 73 ページ)
サムネイルでクリップを選択してセットレバーの中央を押しても、再生されない。	● 選択したクリップは、再生可能なクリップですか？ ビデオフォーマット設定が異なっていると再生できません。
実際の記録時間がめやすとされている時間より短い。	● 動きの速い被写体を撮影したときなど、環境によっては記録時間が短くなります。
[AUDIO LEVEL CH-1/CH-2] 調整つまみが効かない。	● [CH1/CH2 AUDIO SELECT] スイッチが “AUTO” になっていませんか？
SDHC/SDXC カードが初期化 (フォーマット) できない。	● SDHC/SDXC カードの書き込み禁止スイッチがセットされていませんか？ セットされている場合は、解除してください。(☞ 21 ページ)
充電したバッテリーを装着しても、バッテリーアラームが表示される。	● 新しいバッテリーと交換してください。
レンズのフォーカスリングがきかない。	● [FOCUS/ZOOM] リング切換スイッチを “FOCUS” に設定してください。(☞ 29 ページ)
レンズのズームリングがきかない。	● [FOCUS/ZOOM] リング切換スイッチを “ZOOM” に設定してください。(☞ 28 ページ)
内蔵マイクがきかない。	● オーディオユニットのケーブルを本体の [AUDIO IN] 端子からはずしてください。(☞ 38 ページ)
内蔵マイクで録音音量つまみがきかない。	● 内蔵マイクにはききません。 録音音量つまみは、[INPUT1/INPUT2] 端子に対して有効です。内蔵マイクの音量は、 [Audio Set] メニューの [Internal Mic Level] 項目で設定します。(☞ 65 ページ)
タイムコードやユーザーズビットが表示されない。	● カメラモードやメディアモードでも、STATUS 表示の種類によっては表示されない場合があります。(☞ 80 ページ) ● [LCD/VF] メニュー [Status Display] の [TC/UB] 項目が “Off” になっていませんか？ 表示する場合は、“Off” 以外に設定してください。(☞ 72 ページ)
日付・時刻が表示されない。	● カメラモード (撮影中) 時は、ステータス 2 またはステータス 3 画面にのみ日付と時刻が表示されます。 ● ステータス 1 画面に時刻を表示するには [LCD/VF] メニュー [Status Display] の [Time Display] 項目を “Off” 以外に設定してください。(☞ 83、84 ページ)
カメラモードからメディアモードに切り換わらない。	● 記録中 (モード表示が赤) や記録一時停止中 ([STBY] などの黄色表示) は メディアモードへの切り換えができません。メディアモードにするには記録一時停止を 解除し停止モード (白色表示) にしてください。
音や映像が途切れる。	● シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。
モニターテレビの画面の一部が揺れて見える。	● [AV Out] メニューの [HDMI Output] 項目を “Auto” に設定してください。(☞ 73 ページ)
モニターテレビの画面が不自然に見える。 (たて長など)	● [AV Out] メニューの [Video Output] 項目をお使いのモニターテレビにあわせて設定してください。(☞ 73 ページ)
撮影したはずのクリップがサムネイル画面にない。	● ファイル形式や映像フォーマットを確認してください。 ● [Record Format] メニューの [System Definition]、[File Format]、[Camera Resolution]、 [Frame & Bit Rate] 項目の設定を再生する映像フォーマットにあわせませす。 (☞ 48、63 ページ)
本機が熱くなる。	● 長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。故障ではありません。
電源の入/切が遅い。	● SDHC/SDXC カードに動画ファイルなどが多数あると、処理に時間がかかります。SDHC/ SDXC カード内のファイルをパソコンへコピーし、SDHC/SDXC カードから削除してく ださい。
リモコンがきかない。	● 電池を交換してください。(☞ 15 ページ) ● 野外や強い光が当たるところでは動作しないことがあります。 ● [Others] メニューの [Wireless Remote] 項目を “On” に設定してください。(☞ 74 ページ) ● ワイヤードリモコンを接続している場合ははずしてください。

■ 次の場合は故障ではありません。

- 太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。
- 画面に黒い点、赤、青、緑の光る点ができる。
LCD 画面には 99.99%以上の有効画素数がありますが、
0.01%以下の小さな点ができることがあります。

■ 正常に動作しないときは本機をリセットしてください。

1 電源を切る

2 本体からバッテリーやACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから電源を入れる

3 [Others] メニューの [Reset All] を実行する (☞ 74 ページ)

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡しますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙ご相談窓口案内をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはご相談窓口に必要なことをお知らせください。

品名	: HD メモリーカードカメラレコーダー
型名	: GY-HM150
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

カメラレコーダー

■ 一般

- 電源 : AC アダプター使用時 DC11 V
バッテリー使用時 DC7.2 V
- 消費電力 : 約 8.3 W
(LCD モニターおよびビューファインダー使用時、バックライト【標準】の場合)
- 外形寸法 : 366 mm(幅) x 179 mm(高さ) x 138 mm(奥行き)
- 質量 : 本体 約 1190 g
撮影時 約 1320 g (バッテリー BN-VF823、SD カード、マイク含む)
- 許容動作温度 : 0 °C ~ 40 °C
- 許容動作湿度 : 35 %RH ~ 80 %RH
- 許容保存温度 : -20 °C ~ 50 °C
- 映像素子 : 1/4 型プログレッシブ CCD x 3
- レンズ : F1.8 ~ 2.8
f=3.7 mm ~ 37 mm
- フィルター径 : フードをはずした状態時
46 mm(ネジピッチ 0.75 mm)
フィルター(外径 50 mm 以下)、
テレコンバータ、ワイドコンバータ対応
フード装着時
72 mm(ネジピッチ 0.75 mm)
フィルター(外径 75 mm 以下)のみ装着可
* フィルター着脱の際、フードの上下を押さ
えると着脱しにくい上にフードの内側が傷
つく場合があります。
- ズーム : 光学ズーム 10 倍まで
- LCD 画面 : 2.7 型、16 : 9、23 万画素
- ビューファインダー : 0.24 型、16 : 9、26 万画素

■ 映像 / 音声

- 記録時間 : 約 25 分 (8 GB SDHC/SDXC カード、
35 Mbps VBR モード)
- 映像記録ファイル形式 : QuickTime File Format
(For Final Cut Pro)
MP4 File Format (HD のみ)
AVI File Format (SD のみ)
- : 映像信号
 - HD (HQ モード) : MPEG-2 Long GOP
VBR, 35 Mbps (Max) MPEG-2
 - HD (SP モード) : MPEG-2 Long GOP
CBR, 25 Mbps (1440x1080i) /
19 Mbps (1280x720p) MPEG-2
 - SD : DV
CBR, 25 Mbps (720x480i)
- : 音声信号 : LPCM 2ch, 48 kHz/16 Bit

映像フォーマット

- : NTSC 設定
 - HD (HQ モード) : 1920x1080/59.94i, 29.97p, 23.98p,
1440x1080/59.94i, 1280x720/59.94p,
29.97p, 23.98p
 - HD (SP モード) : 1440x1080/59.94i, 1280x720/59.94p,
29.97p, 23.98p
 - SD : 720x480/59.94i
- : PAL 設定
 - HD (HQ モード) : 1920x1080/50i, 25p, 1440x1080/50i,
1280x720/50p, 25p
 - HD (SP モード) : 1440x1080/50i, 1280x720/50p, 25p

■ 端子

- AV 端子 : 映像 アナログ出力 1.0 V(p-p), 75 Ω
音声 アナログ出力 (ステレオ)
-8 dBu, 1 kΩ(基準レベル -12 dB 選択時)
-16 dBu, 1 kΩ(基準レベル -20 dB 選択時)
- コンポーネント端子 : Y, Pb, Pr コンポーネント出力
Y : 1.0 V(p-p), 75 Ω
Pb, Pr : 700 mV(p-p), 75 Ω
- HDMI 端子 : HDMI™ Connector
- USB 端子 : ミニ USB-B タイプ、USB2.0
- ヘッドホン端子 : φ3.5 mm ミニジャック (ステレオ)
- Remote 端子 : φ3.5 mm ミニジャック (4 極)
- 音声 INPUT1/INPUT2 端子
 - MIC : - 60 dBu, 3 kΩ, XLR (平衡)、
+48 V 出力 (ファンタム電源供給)
 - LINE : +4 dBu, 10 kΩ, XLR (平衡)

付属品

- AC アダプター.....1
- 電源コード.....1
- バッテリー.....1
- バッテリーチャージャー.....1
- リモコン.....1
- オーディオユニット.....1
- マイク.....1
- AV コード.....1
- 専用コンポーネントケーブル.....1
- CD-ROM.....1
- 取扱説明書.....1
- 保証書.....1
- ご相談窓口案内.....1
- 安全上のご注意.....1

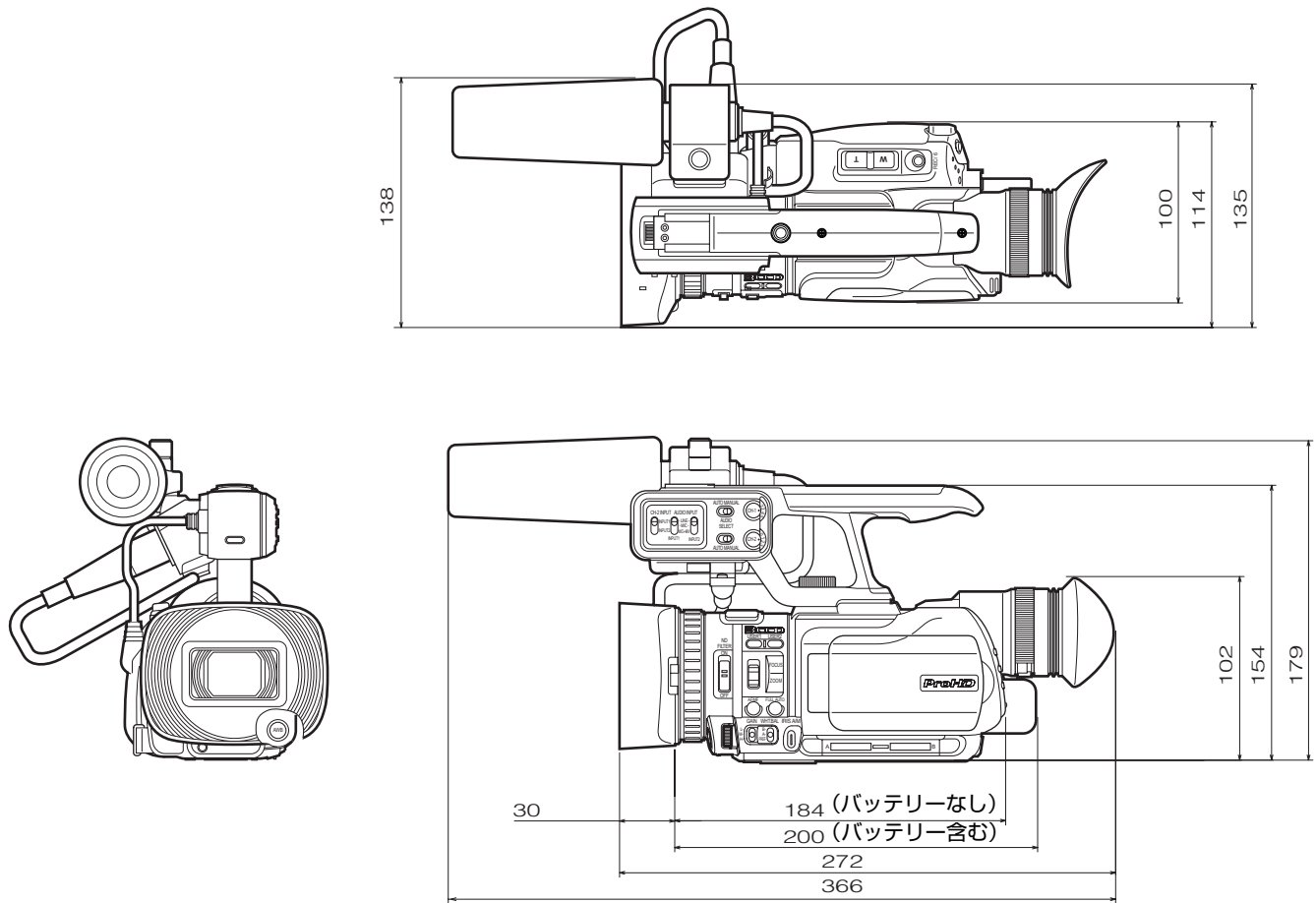
AC アダプター

- 電源 : AC100 V ~ 240 V, 50 Hz/60 Hz
- 出力 : DC11 V =, 1 A
- 許容動作温度 : 0 °C ~ 40 °C
- 外形寸法 : 49 mm(幅) x 26 mm(高さ) x 64 mm(奥行き)
(コードと AC プラグを含まず)
- 質量 : 約 86 g

リモコン


種類	: DC3 V (ボタン電池 CR2025)
電池寿命	: 約 1 年 (使用頻度によって変わる)
動作距離	: 約 5 m (正面軸上)
許容動作温度	: 0 °C ~ 40 °C
外形寸法	: 42 mm (幅) x 14.5 mm (高さ) x 91 mm (奥行き)
質量	: 約 30 g (ボタン電池を含む)

外形寸法図 (単位 : mm)



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

 0120-2727-87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950 [代表]

FAX(045)450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www.jvc.jp/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12